

地区報
2008～2009

奉仕の理想

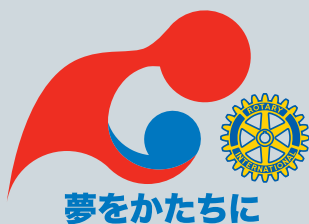
家族月間

特集：地区大会



【片山主水ガバナーと小泉純一郎元総理】

特別講演：「日本の進路」終了後固い握手を交わした。（講演内容は36～44ページをご覧ください）



2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区ガバナー 片山 主水

ガバナー月信 No.6

12月

2008年12月1日発行



目次

地区日程 2008年12月・2009年1月	2	ロータリー愛知81 会員数および出席率表	61
ガバナーメッセージ		文庫通信(254号)	63
片山主水「ロータリーの姿かたち」	3	インターネット速報(No.354)	63
ガバナー公式訪問		ガバナー事務局だより	64
名古屋北RC・名古屋名北RC・名古屋錦RC・名古屋葵RC	5	地区報「奉仕の理想」編集局	64
名古屋名南RC	5		
豊橋東RC	5	お寄せ頂いた原稿は原文のまま掲載しております。	
名古屋西RC・名古屋名駅RC・名古屋丸の内RC	5	なお、報告については一部要約しております。	
特集 地区大会		【11月号 お詫びと訂正】	
プログラム	7	4ページ ガバナー公式訪問 名古屋栄RC	
第1日目 11月15日(土)	9	写真下説明	
第2日目 11月16日(日)	29	誤:福本豊彦 名古屋中RC会長	
記念講演		正:福本豊彦 名古屋栄RC会長	
衆議院議員 元内閣総理大臣 小泉純一郎氏			
「日本の進路」	36	たて10ページ 短歌	
地区大会を終えて 大会実行委員長 中込清周	45	誤:新城RC(東三河中分区) 石川通男	
		正:新城RC(東三河分区) 鳥居栄一	
地区副幹事メッセージ 水野恒平	47		
ガバナー補佐メッセージ			
村上茂登(南尾張分区ガバナー補佐)	48		
安藤公爾(東尾張分区ガバナー補佐)	48		
近藤雄亮(西名古屋分区ガバナー補佐)	49		
地区委員会			
ポリオプラス委員会 委員長 成田幸太郎	50		
地区補助金委員会 委員長 高山光雄	50		
記念式典			
名古屋大須RC 創立25周年	51		
名古屋東RC 創立50周年	52		
碧南RC 創立50周年	53		
分区のページ			
西尾張分区 一宮北RC 大河合圭一			
「『一宮モーニング博覧会』と名利 妙興寺」	54		
西名古屋分区 名古屋大須RC 横井 衛			
「我がクラブのDNA」	54		
西名古屋分区 名古屋栄RC 上坂 寛			
「ランの館と栄ロータリー」	55		
話題の会員	57		
ロータリー愛知81 地区報新会員掲載人数	58		
全国地区会員数ベスト10	58		
新会員紹介	59		



【新雪の竹林】

撮影 東尾張分区 尾張旭RC 小柳和之

森林公園の植物園に竹林があり、待っていた初雪が降ったので、早速現地へ行き、重みに耐えていた竹を見つけて撮った1枚です。



地区日程 2008年12月 2009年 1月

※年度内日程すべてについては2008年7月号をご覧ください。

●地区主要日程

開催日	曜日	時間	会合名	場所
2008年 12月 1日	月	16:00～19:30	第2回ガバナー補佐会議・懇親会	名鉄グランドホテル
2009年 1月18日 ～25日	日～日		国際協議会	アメリカ・サンディエゴ
1月31日	土	10:20～10:40	第3回地区指名委員会	名鉄グランドホテル
		11:00～13:00	第4回地区諮問委員会	

●地区委員会

開催日	曜日	時間	会合名	場所
2008年 12月上旬		夕刻	第1回財団奨学委員会	未定
12月 3日	水	15:00～16:30	第5回ロータリー未来委員会	ガバナー事務所分室
12月 9日	火	17:30～19:00	第3回RCC委員会	未定(名古屋市内)
12月13日	土	17:00～20:00	第10回GSE委員会	神戸屋
12月19日	金	17:00～18:00	地区会員増強委員会	桜ヒルズ1F
2009年 1月 8日	木	15:30～17:00	第4回社会奉仕委員会	ガバナー事務所分室
1月10日	土	17:00～20:00	第11回GSE委員会	ガバナー事務所分室
1月13日	火	16:00～17:30	第3回広報委員会	ガバナー事務所分室
1月15日	木	15:00～16:30	第6回ロータリー未来委員会	豊島ビル会議室
1月16日	金	14:30～16:30	第2回地区インター・アクト委員会	ガバナー事務所分室
1月22日	木	17:00～18:30	第3回環境保全委員会	クレストンホテル
1月23日	金	15:00～	第5回恒久基金委員会	ガバナー事務所分室
		18:00～	第4回年次寄付委員会	未定

●委員会主要行事

開催日	曜日	時間	会合名	場所
2008年 12月 4日	木	16:00～17:30	2009年度米山奨学生 第1次選考会(書類選考)	ガバナー事務所分室
12月 7日	日	13:30～15:30	国際RYLAセミナー受講生オリエンテーション	岡崎ニューグランドホテル
		16:00～18:00	国際RYLA委員会	岡崎ニューグランドホテル
12月14日 ～16日	日～火		第2回交流会 受入留学生の集い	東京・千葉
12月20日	土	16:00～19:00	米山奨学生・学友忘年会 第2次米山学友役員会	キャスルプラザ
2009年 1月15日	木	16:00～17:30	2009年度米山奨学生 第2次選考会(面接試験準備)	ガバナー事務所分室
1月18日	日	13:30～16:00(予定)	第4回RAC会長・幹事会	未定
1月24日	土	9:00～16:30	2009年度米山奨学生 第3次選考会(面接試験)	名古屋国際センター

●式典

開催日	曜日	時間	会合名	場所
2008年 12月13日	土	17:30～20:30	尾張中央RC 創立25周年記念式典	名鉄グランドホテル

●ロータリーおよび地区特別月間・週間・日

2008年 12月	家族月間	2009年 1月	ロータリー理解推進月間
		1月27日を含む1週間	追悼記念週間



ガバナーメッセージ

ロータリーの

〈家族月間〉



1995年11月14日 ゴルフコンペにて 片山主水ガバナーと長女 恵理さん

クラブ会長 各位 クラブ幹事 各位 ロータリアン 各位

紅葉の季節とともに、年度恒例の二大行事の41回の公式訪問と地区大会を終えて、本当にほっとしています。ご協力有り難うございました。しかし、地区大会も公式訪問と同様、いろいろと改善点の多い反省すべき大会でした。またの機会にお話することがあると思います。

さて、営利に結びつかないロータリーという組織が、百年も存続していることに驚嘆するばかりですが、また、ロータリーの姿かたち・目的などが曖昧のままで百年であることにも驚嘆します。しかし、これからの百年はこ

れまでの百年とは諸条件が大きく異なっていると思われます。そのような観点から、このロータリーの姿かたち・目的などをはっきり描いてみて心を整理したいと思います。

～ 家族月間 ～

まず、今月は家族強調月間です。この家族は配偶者を筆頭とする文字通りの家族のことです。ロータリー家族のことではありません。勿論、広げることは構いませんが、まず正真の家族のことです。

会員が亡くなり49日を待ってその息子さんの入会を勧めたところ、奥さんから息子本人がどうもはっきりしないという返事。後日、本人に直接説得に面談したところ、大の反対は奥さんであったという悲しい実話がありました。

あなたのクラブはその懸念はありませんか。会員の皆さん、ご自身には反省するところはありませんか。私にも大いに反省するところがあって、現在、手立ての進行中です。



三我の奉仕 超我の奉仕 彼我の奉仕 唯我の奉仕

さて、今年度のRIテーマは「夢をかたちに」ですが、我々ロータリーの夢を実現するためにはロータリーを永遠に存続させなければなりません。それには、絶えず前進をしなければなりません。絶えず「持続可能な前進!!」をしなければなりません。しかし、その前に、どのようなロータリーを存続させようと考えているのか、ロータリーの夢とはどのような夢なのか、ロータリーの姿かたちと姿勢を明らかにしなければなりません。

ロータリー愛知81のロータリーが描く究極の理想の夢も世界万人の平和ですが、それに至る当面の目的が、ロータリーの綱領の記載にかかわらず、超我の奉仕の理念に基づく他利専一の社会奉仕(クラブ奉仕、職業奉仕・自己奉仕を除くすべての奉仕)と「最良奉仕の最多果報」の実践原理による両利調和の「彼我の奉仕」の職業奉仕と、修身齊家の大原則による人間向上・人格修養の専ら自利専一の「唯我の奉仕」とも呼ぶべき自己奉仕の三



姿かたち

国際ロータリー第2760地区 ガバナー

11月

つの「三我の奉仕」であることは、用語は別にして、明確曖昧の程度の差はあっても大多数の会員の共通認識とするところです。



ロータリーの基本性格 内向的クラブ組織

そして、それらの目的を実現するロータリークラブの組織的な性格を見落としがちですが、その特質は、第1に、基本的に内向的なものであり、各構成員の個性に重きを置くものであって仲間うちの心の繋がりが親睦が基礎であり、そのためには例会出席を不可欠の条件とする組織であり、第2に一定の水準以上の異種職業人の会員制であって、ロータリーのそとに奉仕の為の資金も労力も求めない、すべて会員のみの労力・出捐によることを原則とする組織であるということです。



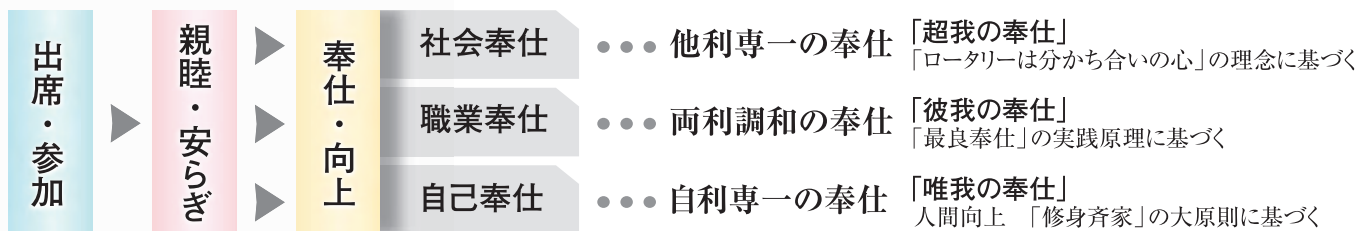
三段奉仕 奉仕と親睦と出席と

ロータリーの奉仕の活力は、上記のクラブの例会出席を通して育まれる親睦の中から自然に醸成され、無理のない奉仕の意欲となって生まれるものであり、奉仕と親睦と出席とはロータリーの三大必須要素と言わなければなりません。

ロータリーの目的は奉仕であり 奉仕は親睦から生まれ それは出席・参加より始まる と言うことができます。ロータリーの奉仕は、例会出席・親睦の段階を経てなされる三段奉仕です。また、奉仕はロータリーの対外的な社会的存在価値に関連するものであり、親睦はロータリーの存立基盤として内側から支えるものであり、例会の出席はそのまた必須のロータリーの基礎岩盤です。それぞれ密接に関連しながら、別個の役割を担っています。どれを失っても、健全で円満な調和のとれたロータリーではなくなります。

そして、ロータリーの2つの基本的性格から、ロータリーとして奉仕の中心に職業奉仕を据え、その課題を職業上の高度な技術水準と高度な倫理水準を伴った最良の奉仕をなすこととし、また会員の各自の人間向上・人格修養をロータリーの奉仕の1つに加えるのも、両者ともロータリーとして最適の役どころではないかと考えられるのです。

次のように、ご参考までに、私見によるロータリーを図と描いてみました。



今日も、最後までお読み下さいまして、有り難うございました。



ガバナー公式訪問

公式訪問日順に掲載してあります。

2008年9月12日

名古屋北RC
名古屋名北RC
名古屋錦RC
名古屋葵RC

(東名古屋分区)

会長 江崎 武人
幹事 水野 吉紹
会長 西脇 良一
幹事 加藤 昌之
会長 前田 元弘
幹事 北村 隆子
会長 高山 光平
幹事 丹羽 敬三

名古屋東急ホテルにて、名古屋北ロータリークラブがホストとなり、4クラブ合同でガバナー公式訪問が開催されました。

例会前に開催された「会長幹事懇談会」では、各クラブ会長幹事が出席し、今年度のクラブ計画を報告後、ガバナー及び地区幹事より大変熱心な御指導を賜りました。

例会では、各クラブ会長挨拶の後、片山ガバナーより、「超我の奉仕」や「ロータリーの綱領」、ロータリーソング「我らの生業」の説明を交え、ロータリーについて哲学的にお話頂き、大変感銘をうけました。同時に、片山ガバナーのロータリーに対する情熱にも心をうたれ、大変充実した例会となりました。

幹事 水野 吉紹

会長幹事
懇談会

2008年9月16日

名古屋名南RC

(西名古屋分区)

会長 川辺 清次
幹事 鈴木 清詞

会長幹事懇談会においては、最初に今回が合同訪問から単独訪問になった理由の説明があり、ポリオチャレンジ各クラブ一人1000円×3年とする、地区大会への参加依頼、世界大会イギリス・バーミンガムへの参加等についても話し合いがされました。クラブアッセンブリーでは会長方針から始まりクラブ計画書にそって各委員会より今年度の事業計画が発表されました。ガバナーからそれぞれの委員会運営での留意点と助言がありました。特に世界的にロータリアンが増えている中で日本だけが減少している現状をふまえ会員増強の重要性について熱く語られました。最後にCLPに対する当地区の現状を踏まえた考え方の説明があり大変有意義に会議は終了しました。例会で今年の地区ならびにガバナーの方針についての卓話がありました。

幹事 鈴木 清詞

クラブ
アッセンブリー

2008年9月17日

豊橋東RC

(東三河分区)

会長 杉原 好洋
幹事 平野 正博

会長幹事懇談会、ガバナー公式訪問例会、クラブ協議会が開催されました。懇談会では、当クラブの現状報告、CLPの活用によるクラブ運営の効率化等を説明させていただき、貴重なアドバイスを頂戴いたしました。

例会卓話では、RIテーマ、地区方針「持続可能な前進」、そしてロータリーソング「我等の生業」に表現されているロータリーの心についてわかりやすく説明していただき、出席者一同深い感銘を受けました。例会終了後、クラブ協議会では、理事・委員長が、活動報告を行い、ガバナーより懇切丁寧に解説していただきました。片山ガバナーと会員が直接お話をさせていただき、ガバナーのお人柄にふれることができ、単独訪問の良さが実感される公式訪問でした。

会長 杉原 好洋



例会風景

2008年9月18日

名古屋西RC
名古屋名駅RC
名古屋丸の内RC

(西名古屋分区)

会長 足立 邦彦
幹事 加藤 憲司
会長 大川 宏
幹事 清水 順二
会長 吉田 光一
幹事 西川 博

西名古屋分区としては5回目のガバナー訪問例会を、名古屋西ロータリークラブが幹事となり合同例会の形で行われました。当日は、3クラブ併せて200名弱の出席者が一堂に会し、和気藹藹の中、片山ガバナーより力強いご講話頂きました。講話の最初に5項目のお願い事項として(1)ポリオチャレンジ (2)会員増強 (3)地区大会への参加 (4)地区史の購入 (5)バーミンガム世界大会への参加のお話を頂き、その後本年度のRIテーマ、強調事項、その後地区方針、重点事項につきお話頂き、多くの時間をガバナーの重点事項としての「調和の奉仕」としての「超我の奉仕」、「彼我の奉仕」、「唯我の奉仕」のお話を頂き、最後に「奉仕と親睦」と言う講和で締めくくられました。片山ガバナーのロータリーへの熱い思いと見識の深さに改めて感銘を受けた大変有意義な例会でありました。

幹事 加藤 憲司



3RC 会長 (左から、名古屋丸の内、名古屋名駅、名古屋西)



奉仕の理想

2008～2009 年度
国際ロータリー第2760 地区

ガバナー 片山圭水



夢をかたちに

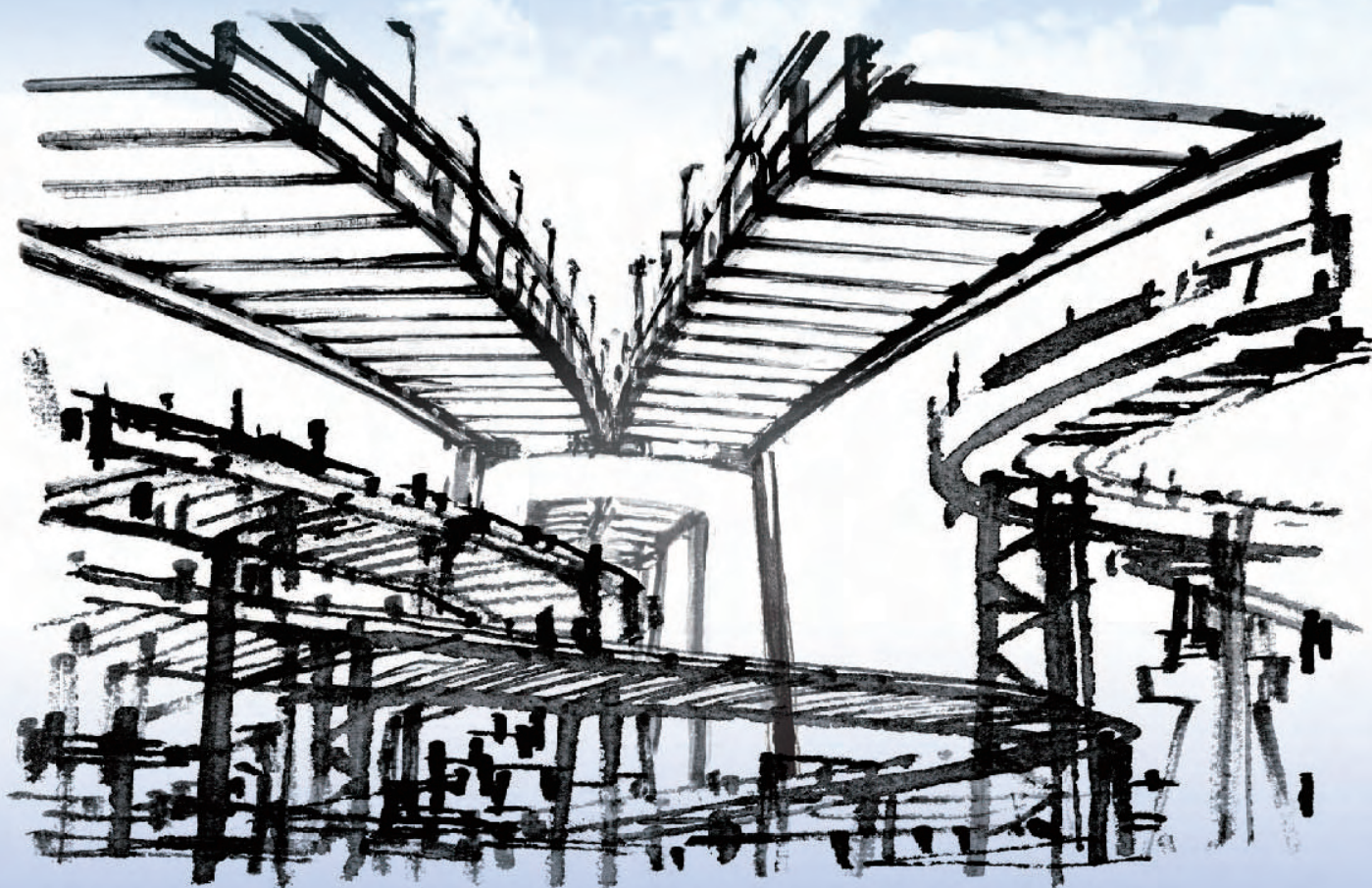
Make Dreams Real

特集

地区大会

持続可能な前進!!

組織運営で・奉仕活動で・会員増強で・・・



名東区東部には、名古屋インターチェンジがあり愛知の産業発展の心臓部となる

2008年11月15日(土)／16日(日) ウェスティンナゴヤキャッスル

ホストクラブ：名古屋名東ロータリークラブ

大会実行委員長 中込 清周 会長 松永 辰男



プログラム

第1日目 11月15日(土) ウェスティンナゴヤキャッスル

9:00	地区指導者育成セミナー受付開始(2F ロビー)	
9:30	地区指導者育成セミナー(天守 北)	9
10:30	地区諮問委員会受付開始(2F ロビー)	
11:00	地区諮問委員会(2F ル・パレ)	9
11:00	地区大会関連委員会	9
	◆大会登録委員会	
	◆大会信任状委員会	
	◆大会決議委員会	
12:00	RI 会長代理を囲む昼食会(1F シャンボール)	10
	司会者 星野 有美	
	開会のことば 地区幹事 宮崎 薫	
	歓迎のことば ガバナー 片山 主水	
	RI 会長代理挨拶(会食) RI 会長代理 作左部 貢	
	閉会のことば ホストクラブ会長 松永 辰男	
	諸事お知らせ 地区幹事 宮崎 薫	
13:00	本会議登録受付開始(2F ロビー)	11
13:30	本会議第一日目開会(天守 南) 司会者 尾関 開	11
	金管楽器によるファンファーレ Brass Ensemble 燦 7名	
	RI 会長代理ご夫妻入場	11
	<アトラクション>	11
	コールロータリー名古屋合唱 コールロータリー名古屋 72名	11
	愛知県立芸術大学 Brass Ensemble 燦(さん)	
	Brass Ensemble 燦 7名	
14:15	点鐘 ガバナー 片山 主水	
	国歌「君が代」 コールロータリー名古屋及び全員	
	ロータリーソング「我等の生業」	
	コールロータリー名古屋及び全員	
	開会のことば 大会実行委員長 中込 清周	12
	RI 会長代理ご夫妻紹介 ガバナー 片山 主水	12
	特別出席者紹介 ガバナー 片山 主水	13
	出席クラブ紹介 司会者 尾関 開	15
14:35	主催者挨拶 ガバナー 片山 主水	15
14:45	RI 会長代理挨拶 RI 会長代理 作左部 貢	15
15:10	大会議事	
	報告	16
	大会関連委員会報告	
	◆大会登録委員会 大会実行委員長 中込 清周	
	◆大会信任状委員会 委員長 福田 清成	
	◆大会決議委員会 委員長 石川 和昌	
	地区指名委員会報告 委員長 高橋 治郎	
	審議	16
	2007 年度地区決算の承認に関する件	
	◆決算報告 前年度地区会計長 舟橋 弘	
	◆監査報告 前年度地区幹事 長谷川 弘	
	◆採決 ガバナー 片山 主水	
	ガバナーノミニ選任方法の	
	採択等に関する件	
	2010 年度規定審議会に対する	
	制定案提出に関する件	
	ロータリー財団「未来の夢計画」	
	パイロット地区の申請に関する件	
	◆採決 ガバナー 片山 主水	

15:30	休憩(15 分)	
15:45	委員会活動報告	17
	◆研究グループ交換委員会(GSE)	
	委員長 矢形委員長	
16:15	ロータリーミーティング(2F 天守 南)	18
	講師代理：作左部 貢氏(東京東 RC)	
	『他人(ひと)の金で奉仕をするという虚構』(75 分)	
	講師紹介 片山ガバナー	
17:30	謝辞(5 分) ガバナー 片山 主水	
17:35	閉会・点鐘 ガバナー 片山 主水	26
17:36	諸事お知らせ	
	RI 会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会(2F 天守 北)	26
17:30	受付開始	
	<BGM>	
18:00	・オープニング 司会者 西村 綾子	
	・開会のことば ホストクラブ会長 松永 辰男	
	・歓迎の挨拶 ガバナー 片山 主水	
	・RI 会長代理挨拶 RI 会長代理 作左部 貢	
	・友好クラブ挨拶 第 2830 地区ガバナー 山崎 淳一	
18:15	乾杯 バストガバナー 江崎 柳節	
	会食・歓談	
18:40	<アトラクション>	
	愛知県立芸術大学 弦楽四重奏団 雅(が)	
	弦楽四重奏団 雅 4名	
	中締 大会副実行委員長 津川 聖子	
	諸事お知らせ 司会者 西村 綾子	
20:00	終了	

第2日目 11月16日(日) ウェスティンナゴヤキャッスル

9:00	本会議登録受付(2F ロビー)	
9:30	本会議第二日目開会(2F 天守の間)	
	司会者 松原 敬生	
	RI 会長代理ご夫妻入場	29
9:35	<アトラクション>	
	愛知県立芸術大学 弦楽八重奏団 輝(き)	29
	弦楽八重奏団 輝 8名	
9:50	点鐘 ガバナー 片山 主水	29
	国歌「君が代」	29
	ロータリーソング「奉仕の理想」	29
10:00	物故会員黙祷 司会者 松原 敬生	29
10:05	開会のことば 大会実行委員長 中込 清周	30
	RI 会長代理ご夫妻紹介 ガバナー 片山 主水	
10:15	来賓・特別出席者紹介 ガバナー 片山 主水	30
	出席クラブ紹介 司会者 松原 敬生	
	新会員紹介 司会者 松原 敬生	
	GSE、ロータリー財団奨学生、	
	青少年交換学生、米山奨学生、米山学友会	
	インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ	30
10:30	ガバナー挨拶並びに現況報告(20 分)	31
	ガバナー 片山 主水	



10:50 RI 会長メッセージ並びに現況報告(20分) 31

RI 会長代理 作左部 貢

11:10 大会決議委員会報告 ガバナー 片山 主水

- ◆李東建 RI 会長による
本年度 RI テーマ推進の件
- ◆会員増強推進の件
- ◆ロータリー財団及び米山奨学事業の
各プログラム推進の件
- ◆地区大会記念行事の採択の件
- ◆2008 年度国際大会参加協力の件
- ◆次年度地区大会開催の件
- ◆RI 会長代理 佐藤千壽氏に対する感謝の件
- ◆2007 年度江崎柳節ガバナーに対する感謝の件
- ◆地区大会ホストクラブに対する感謝の意
- ◆採決 ガバナー 片山 主水

11:15 委員会活動報告

- ◆ローターアクト委員会 委員長 富田委員長
- ◆RYLA 委員会 委員長 牧野委員長 32
- ◆WCS 委員会 委員長 籠橋委員長
- ◆青少年交換委員会 委員長 安藤委員長 32

11:35 記念事業発表・目録贈呈・感謝状拝受 33

ガバナー 片山 主水

来賓祝辞 愛知県知事代理 愛知県副知事 稲垣 隆司 33
名古屋市長 松原 武久 33

11:50 前年度地区大会ホストクラブへの感謝状 33

ガバナー 片山 主水

本地区大会に関する表彰 33

- ◆最多人数登録クラブ
- ◆最高登録率 100%クラブ

11:55 2007-2008 年度に関する表彰(午前の部) 33

- ◆RI 意義ある業績賞 RI 会長代理 作左部 貢
- ◆RI 広報賞 RI 会長代理 作左部 貢
- ◆RI 対外広報協同プロジェクト最高賞
RI 会長代理 作左部 貢
- ◆RI 会長賞 RI 会長代理 作左部 貢
- ◆RI 会員増強推進計画 RI 会長代理 作左部 貢
- ◆RI 会員増強・拡大賞 RI 会長代理 作左部 貢
全般的な増加
勧誘
退会防止
- ◆ガバナー推進クラブ賞 ガバナー 片山 主水
- ◆ガバナー推進特別賞 ガバナー 片山 主水
- ◆ガバナー賞 ガバナー 片山 主水
- ◆地区特別功労賞 ガバナー 片山 主水
- ◆チャレンジング・クラブ賞 ガバナー 片山 主水

諸事お知らせ

12:05 昼食 34

友愛の広場(1F ブローニュ・シャンボール・
2F 青雲・金・銀・3F 松・竹)

RI 会長代理主催顕彰昼食会(11F クラウン)

司会者 星野 有美

開会のことば・ガバナー挨拶 ガバナー 片山 主水

RI 会長代理挨拶 RI 会長代理 作左部 貢

諸事お知らせ 司会者 星野 有美

13:00 本会議第二日目午後の部開会(2F 天守の間)

13:15 <アトラクション>

愛知県立芸術大学 サキソフオーン四重奏団 歓(かん)

サキソフオーン四重奏団 歓 4名

ガバナーエレクト紹介 ガバナー 片山 主水 34

ガバナーエレクト挨拶 ガバナーエレクト 大澤 輝秀 34

ガバナーノミニ紹介 ガバナー 片山 主水 34

次年度地区大会ホストクラブ紹介

ガバナー 片山 主水

次年度地区大会ホストクラブ代表挨拶

豊橋ロータリークラブ会長 花田 邦司

13:45 活動報告(地域) 35

- ◆名古屋地域 RCC 活動について
- ◆三河地域 ブラジルを知ろう

13:55 感謝状及び記念品贈呈 ガバナー 片山 主水

RI 会長代理 感謝状及び記念品贈呈 35

RI 会長代理 作左部 貢

【ガバナーから RI 会長代理へ贈呈】

2007-2008 年度ガバナー 感謝状及び記念品贈呈 35

パストガバナー 江崎 柳節

【ガバナーからパストガバナーへ贈呈】

2007-2008 年度に関する表彰(午後の部) 35

◆RI 財団功労賞 RI 会長代理 作左部 貢

◆ロータリー財団大口寄付者

ガバナー 片山 主水

◆ロータリー財団年次寄付優秀クラブ(総額 上位 5RC)

ガバナー 片山 主水

◆ロータリー財団年次寄付優秀クラブ
(会員一人当たり 上位 5RC)

ガバナー 片山 主水

◆米山寄付優秀クラブ

(米山普通+特別寄付、総額上位 5RC)

ガバナー 片山 主水

◆米山寄付優秀クラブ(米山普通+特別寄付、
会員一人当たり上位 5RC)

ガバナー 片山 主水

◆米山寄付達成クラブ

(米山普通+特別寄付、合計累計額)

ガバナー 片山 主水

◆クラブ創立記念 米山記念奨学会特別寄付

ガバナー 片山 主水

2008-2009 年度に関する表彰 35

ガバナー 片山 主水

◆ロータリークラブ創立 50 周年表彰

(対象期間: 200871 ~ 2009630)

◆ロータリー 50 年在籍表彰

(対象期間: 2007111 ~ 2009630)

14:10 記念講演(2F 天守の間) 36

講師:

衆議院議員 元内閣総理大臣 小泉 純一郎 氏

演題 『日本の進路』

講師紹介 奥 佳澄

15:35 謝辞 ガバナー 片山 主水 44

15:40 講評 RI 会長代理 作左部 貢

閉会・点鐘 ガバナー 片山 主水



地区大会 第1日目

第1日目 11月15日(土)



セミナー風景

9:30 地区指導者育成セミナー(天守 北)



ガバナー挨拶 片山 主水

次年度のための研修が以下のごとくある。

- ①ガバナー補佐研修
- ②地区チーム研修
- ③PETS: PRESIDENT ELECT TRAINING SEMINAR
- ④地区協議会

これらと共に分区大会にて各クラブの研修を行ってほしい。研修の住み分けである。



「ロータリーとは？」
～ロータリアンであることの意義～

RI第2640地区 パストガバナー
成川守彦

〈ロータリーの精神〉

ロータリーでいう「奉仕の理想」とは、他の人への思いやりと他の人を助けること。即ち、「慈愛」である。

「ロータリーの歴史」100年の軌跡を映像で紹介。

ロータリーは社会改良運動であり、人類に対する愛情である。

自己研鑽の場である。

思いやりと、助け合いの精神を、お互いに楽しく磨き合い、それを実行に移していこうとする団体である。

奉仕のこころをもって、地域に密着した明るい社会を創るため、志を同じくする者が集まる団体である。

(2640 地区クラブ情報委員長)

「ロータリーの変遷と発展」

- | | | |
|--------|--------|-----------------|
| 1907 年 | 軌道修正 1 | 社会奉仕の概念の導入 |
| 1910 年 | 軌道修正 2 | 奉仕理念の追求・クラブ拡大 |
| 1915 年 | 軌道修正 3 | 職業奉仕基準の確率 |
| 1917 年 | 軌道修正 4 | ロータリー財団の始まり |
| 1923 年 | 軌道修正 5 | 奉仕活動の原則の確立 |
| 1962 年 | 軌道修正 6 | 世界社会奉仕活動開始 |
| 2001 年 | 軌道修正 7 | 地区リーダーシッププラン採用 |
| 2004 年 | 軌道修正 8 | クラブリーダーシッププラン導入 |

〈ロータリーとは何か〉

「ロータリーの知識を深める努力」「ロータリーを理解する努力」

- 1 自分で勉強をすること
- 2 先輩に聞くこと
- 3 多くの会合やプロジェクトに参加すること

自分が他の人の役に立つことが出来る、自分の存在が他の人の喜びに繋がる、ということを知ること。

これは、人間にとって最高の榮譽ある喜びである。

ロータリアンは人様のお役に立つ機会に恵まれている。

ロータリーで修行を積んで、「I serve」が出来る。それがロータリーである。

11:00 地区諮問委員会・大会関連委員会 (2F ル・パレ)



諮問委員会 片山 主水ガバナー(左)、
作左部 貢 RI会長代理(右)



諮問委員会



大会決議委員会
石川和昌パストガバナー(左)
神戸政治パストガバナー(右)



大会信任状委員会
福田清成パストガバナー



地区大会登録委員会
中込清周大会実行委員長、
佐久間貞介筆頭副幹事(左)
2773名の参加があったことを
報告、承認された

出席者	松本 宏 PDG	江崎柳節 PDG
片山主水 DG	野村重彦 PDG	大澤輝秀 DGE
作左部 貢 RI会長代理	福田清成 PDG	オブザーバー
福田和昭 PDG	豊島徳三 PDG	宮崎 薫 地区幹事
加納 泉 PDG	大島宏彦 PDG	岩瀬淳一郎 次期地区幹事
神戸政治 PDG	高橋治朗 PDG	佐久間貞介 地区筆頭副幹事
石川和昌 PDG	斎藤直美 PDG	中込清周 地区大会実行委員長

12:00 RI会長代理を囲む昼食会 (1F シャンボール)



名古屋名東RC 左から 牧野恭一委員、野々部英夫委員、
松永辰男会長



左から 野村重彦夫人、成川守彦PDG、野村重彦PDG



左から 作左部 貢 RI会長代理夫妻、片山主水ガバナー夫妻



手前右より 作左部 貢 RI会長代理、作左部 RI会長代理夫人、
豊島パストガバナー夫人
奥右より 津川聖子大会副実行委員長、豊島徳三パストガバナー

昼食会 招待者 「ロータリー愛知81」にちなんで81歳以上の会員を招待

半田南RC	清水 良三 間瀬 辰夫		加藤 富三 成田 博	名古屋RC	近藤 幸一 中部 政次郎	名古屋北RC	浦野 三男
一宮RC	星野 充 松本 和徳		早川 雅男 水野 鉄夫	名古屋西RC	藤野 弘二	名古屋東RC	古川 博三郎
津島RC	山田 忠右エ門		後藤 一郎	名古屋南RC	山口 貞雄	名古屋守山RC	山田 静夫
一宮北RC	佐分 博明	瀬戸RC	加藤 政良	名古屋東南RC	伊藤 和夫		山田 健雄
	山本 基		杉本 釦一		久野 博淳		富松 宗富
稲沢RC	竹内 正憲		清谷 正夫		堀田 一郎	名古屋和合RC	滑 尚眞
	田口 茂利平		石川 惣輔		吉田 尚美		長谷川 通雄
あまRC	渡辺 一弘	犬山RC	谷津 義雄	名古屋中RC	谷口 次郎	名古屋千種RC	木本 三夫
	大竹 和美	江南RC	栗本 務		林 郁二	豊橋RC	西川 豊長
	北林 弘道		稲波 八良	名古屋瑞穂RC	森 真佐雄	豊川RC	石原 吉三郎
	水野 眞		丹羽 雄三	名古屋栄RC	川合 健司	岡崎RC	寺部 元
名古屋清須RC	大久保 審也	名古屋空港RC	小出 幸郎	名古屋名駅RC	小崎 誠三	岡崎東RC	清水 芳美
					大塚 芳雄	刈谷RC	鈴木 郁雄
							池田 憲司



前列左から 最高齢95歳の谷口次郎さん(名古屋中RC)、
盛田和昭バストガバナー
後列左から 作左部 貢 RI会長代理夫妻、片山主水ガバナー夫妻



左 伊藤和夫さん(名古屋東南RC)
右 久野博淳さん(名古屋東南RC)



地区大会 第1日目

13:00 本会議登録受付開始(2F ロビー)



受付風景

13:30 本会議第一日目開会(天守 南)

◆R.I.会長代理ご夫妻入場



◆コールロータリー名古屋 合唱

曲 目

- 『逢えてよかったね』 作詞・作曲：小原孝
- 『煌めきの未来へ』 作詞・作曲：ボブ佐久間 他
- 『イエスタデー』 作詞・作曲：ジョンレノン／
ポールマッカートニー
編曲：山田文雄

右端 國分孝雄 筆頭ガバナー補佐



指揮 加藤典子さん



開会のことば

大会実行委員長 中込 清周

国際ロータリー第2760地区2008～2009年地区大会が本日ここに81クラブ5026名の会員の方々の心強いご支援と、熱い友情によって盛大に開催できますことは誠に喜ばしく、心より感謝申し上げます。

RI会長代理佐左部貢様をはじめとして、来賓の方々、特別出席者の皆様にはご都合を繰り合せてご臨席を頂き誠にありがとうございます。

私共名古屋東ロータリークラブは昨年、本席にてホストクラブのご指名を頂きました時は、戸惑いをあらわにしましたが、全会員が心をひとつにし準備を進め、本日の開催に手探りで辿り着きました。

愛知県民の風土であります堅実を旨として、RIテーマ「夢をかたちに」片山ガバナーが掲げます地区方針「持続可能な前進」が心に深く伝わりますように、楽しく学び、ロータリアンとしての誇りと、喜びが分かち合える、力強い地区大会を目指して企画いたしました。

只今は、コールロータリー名古屋の皆様合唱、愛知県立芸術大学の学生が奏でる、華やかな若人の熱演を充分にお楽しみ頂けたことと存じます。

記念講演には日本を代表する国民話題性の高い、小泉純一郎様

に「日本の進路」と題してご講演をお願いしております。まだ私達の耳に届いていない新しい胸中のお話も伺えるのではないかと、心が鼓動いたします。

最後になりましたが関係各位の長期間に渡る心温かいご指導とご支援に感謝申し上げ、いつまでも脳裏に残る、実り多い地区大会でありますように祈念いたしまして、開会の挨拶といたします。ありがとうございます。



R.I.会長代理ご夫妻紹介 ガバナー 片山 主水

略歴

国際ロータリー会長代理 佐左部 貢

1930年4月21日生まれ 本荘ロータリークラブ

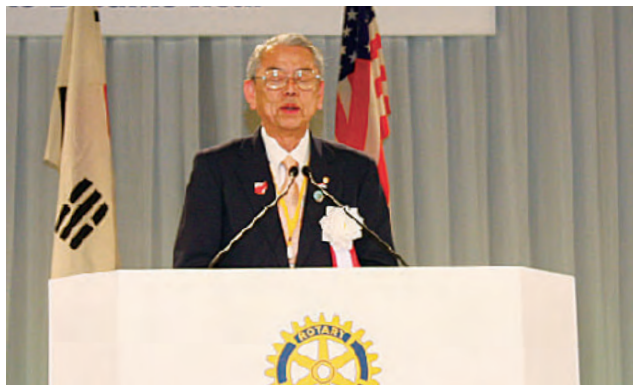
●ロータリー歴

1967年 本荘ロータリークラブ入会
1983～84年度 本荘ロータリークラブ会長
1984～85年度 ガバナー分区代理
1997～98年度 RIロータリー第2540地区ガバナー
1998～99年度 RIメンバーシップタクスフォース
2000～01年度 RI緊急災害支援第一ゾーンコーディネータ
シンガポール国際大会・日本語フォーラム
2003～04年度 RIロータリー第2540地区ガバナー
2008～09年度 年次寄付アドバイザー（第一ゾーン）担当

ポール・ハリス・フェロー（メジャードナー）

ポール・ハリス・ソサエティー

米山功労者（マルチ）ベネファクター



●学歴

1956年 日本医科大学卒業
1957年 順天堂大学入局
1964年 医学博士号授与
整形外科医専門医

●団体歴

1971～81年度 本荘市由利郡医師会副会長
1974～76年度 秋田県医師会常任理事
整形外科専門医
スポーツ認定医
リュウマチ認定医

●現在

労働衛生コンサルタント
産業医・学校医
介護認定委員
独立行政法人秋田病院嘱託医





地区大会 第1日目

来賓・特別出席者紹介 ガバナー 片山 主水

来 賓

- 愛知県知事代理 副知事 稲垣 隆司 第2日目
- 名古屋市市長 松原 武久 第2日目
- 愛知県公立学校法人理事長 清水 哲太 第2日目

特別出席者

- RI会長代理 作左部 貢(本荘RC)
- RI会長代理夫人 作左部 聖子

地 区 外

- 第2530地区ガバナー 味戸 道雄・孝子(須賀川RC)
- 第2550地区パストガバナー夫人 佐野 康子(佐野RC)
- 第2580地区パストガバナー 戸田 一誠(東京練馬西RC)
- 第2600地区パストガバナー 堀川 浩(塩尻RC)
- 第2610地区パストガバナー 中谷 純三・冷子(小松シティRC)
- 第2640地区パストガバナー 成川 守彦(有田RC)

- 第2650地区パストガバナー
 - 第2690地区ガバナー
 - 第2710地区パストガバナー
 - 第2790地区パストガバナー
- 友好地区

- 第2830地区ガバナー
- 第2830地区パストガバナー

地 区 内

- 第2760地区ガバナー
- パストガバナー

- 福井 正典・初美(京都山城RC)
- 鳥居 滋・弘子(岡山東RC)
- 新田 薫(山口南RC)
- 土谷 亮平(松戸RC)

- 山崎 淳一・田鶴子(五所川原RC)
- 小林 孝雄(青森東RC)

- 片山 主水・か乃恵(名古屋東南RC)
- 豊島 徳三・喜世子(一宮北RC)
- 福田 浩三(名古屋空港RC)
- 盛田 和昭・純子(名古屋RC)
- 加納 泉・三代子(名古屋中RC)
- 神戸 政治・一子(あまRC)
- 石川 和昌(豊橋RC)
- 松本 宏・萬里子(半田RC)
- 野村 重彦・弘子(刈谷RC)
- 福田 清成・良子(江南RC)
- 大島 宏彦・貴美代(名古屋RC)
- 高橋 治朗(名古屋西RC)
- 斎藤 直美・雅子(豊田RC)
- 江崎 柳節・多喜子(小牧RC)



豊島徳三パストガバナーエイド夫妻



福田浩三パストガバナー



第2830地区(青森)山崎淳一ガバナー夫妻



第2790地区(千葉)土屋亮平パストガバナー



神戸政治パストガバナー夫妻



第2710地区(広島・山口)新田 薫 パストガバナー



第2830地区(青森)小林孝雄パストガバナー



盛田和昭パストガバナー



加納 泉 パストガバナー夫妻



石川和昌パストガバナー



大島宏彦パストガバナー



●ガバナーエレクト	大澤 輝秀・淑子(豊川RC)	会員増強委員会	委員長 伊藤 秀雄(名古屋東南RC)
●ガバナーノミニ	田嶋 好博(名古屋北RC)	広報委員会	委員長 青木 勇作(岡崎RC)
●地区幹事	宮崎 薫(名古屋東南RC)	職業奉仕委員会	委員長 成田 洋之(名古屋みなとRC)
●筆頭副幹事	佐久間 貞介(名古屋東南RC)	社会奉仕委員会	委員長 西脇 良一(名古屋名北RC)
●地区副幹事	成瀬 和男(名古屋東南RC)	RCC委員会	委員長 縣 政行(豊橋RC)
	山口 剛男(名古屋東南RC)	国際奉仕委員会	委員長 鈴木 吉男(津島RC)
	山本 誠一(名古屋名南RC)	青少年交換委員会	委員長 安藤 隆利(名古屋名駅RC)
	大島 浩嗣(名古屋瑞穂RC)	世界社会奉仕委員会	委員長 籠橋 美久(名古屋中RC)
	下郷 卓弥(名古屋東南RC)	新世代委員会	委員長 遠山 堯郎(名古屋瑞穂RC)
	近藤 信之(名古屋東南RC)	インターアクト委員会	委員長 服部 英男(岡崎南RC)
	水野 恒平(名古屋東南RC)	ローターアクト委員会	委員長 富田 雅則(田原RC)
	白木 良彦(名古屋東南RC)	RYLA委員会	委員長 牧野 正高(岡崎城南RC)
	伴 慎夫(名古屋東南RC)	環境保全委員会	委員長 長瀬 論(名古屋栄RC)
	鈴木 輝彦(名古屋南RC)	ロータリー財団委員会	委員長 深谷 友尋(名古屋みなとRC)
●地区会計長		年次寄付委員会	委員長 吉川 正敏(岡崎RC)
●地区会計監事		恒久基金委員会	委員長 久野 博淳(名古屋東南RC)
●会計副監事		ポリオプラス委員会	委員長 成田 幸太郎(稲沢RC)
(ロータリー財団・米山担当)	光岡 朗(あまRC)	補助金委員会	委員長 高山 光雄(名古屋空港RC)
●ガバナー補佐(南尾張分区担当)	村上 茂登(知多RC)	財団奨学委員会	委員長 ミカエル カルマノ(名古屋東RC)
(西尾張分区担当)	安藤 銃悟(尾張中央RC)	財団学友委員会	委員長 大嶽 岩雄(安城RC)
(東尾張分区担当)	安藤 公爾(尾張旭RC)	研究グループ交換委員会	委員長 矢形 修己(名古屋北RC)
(西名古屋分区担当)	近藤 雄亮(名古屋瑞穂RC)	ロータリー世界平和フェロシップ	委員長 深谷 友尋(名古屋みなとRC)
(東名古屋区担当)	國分 孝雄(名古屋和合RC)	米山奨学委員会	委員長 大西 弘高(名古屋東南RC)
(東三河分区担当)	松井 章悟(豊橋RC)	地区史編纂委員会	委員長 江崎 柳節(小牧RC)
(西三河中分区担当)	福岡 輝夫(豊田中RC)	ロータリーの友地区委員	委員長 藤井 伸三(豊田RC) 第2日目
(西三河区担当)	辻村 和美(西尾KIRARA RC) 第2日目	RI青少年奉仕支援グループ第3ゾーンコーディネーター	神田 憲(名古屋大須RC) 第2日目
●次期地区幹事	岩瀬 淳一郎(豊川RC)		
地区指名委員会	委員長 高橋 治朗(名古屋西RC)		
会員増強リーダー	山内 登		
ロータリー未来委員会	委員長 杉浦 壽康(岡崎RC)		
拡大委員会	委員長 松尾 隆徳(春日井RC)		
地区規則細則委員会	委員長 草野 勝彦(名古屋大須RC)		
地区総務委員会	委員長 馬場 研治(名古屋南RC)		
青少年安全保護委員会	委員長 國分 孝雄(名古屋和合RC)		
地区大会企画委員会	委員長 片山 主水(名古屋東南RC)		
クラブ奉仕委員会	委員長 藤原 研一(名古屋名北RC)		
研修委員会	委員長 鈴木 孝則(あまRC)		



國分孝雄筆頭ガバナー補佐



村上茂登ガバナー補佐



安藤銃悟ガバナー補佐



安藤公爾ガバナー補佐



近藤雄亮ガバナー補佐



松井章吾ガバナー補佐



福岡輝夫ガバナー補佐



地区大会 第1日目

●出席クラブ紹介

◆地区外クラブ

岡山東ロータリークラブ(第2690地区)	塩尻ロータリークラブ(第2600地区)	山口南ロータリークラブ(第2710地区)
五所川原ロータリークラブ(第2830地区)	小松シティロータリークラブ(第2610地区)	松戸ロータリークラブ(第2790地区)
佐野ロータリークラブ(第2550地区)	有田ロータリークラブ(第2640地区)	青森東ロータリークラブ(第2830地区)
東京練馬西ロータリークラブ(第2580地区)	京都山城ロータリークラブ(第2650地区)	

◆地区内クラブ

●南尾張分区

半田ロータリークラブ
常滑ロータリークラブ
東海ロータリークラブ
東知多ロータリークラブ
半田南ロータリークラブ
知多ロータリークラブ
大府ロータリークラブ

●西尾張分区

一宮ロータリークラブ
津島ロータリークラブ
尾西ロータリークラブ
一宮北ロータリークラブ
稲沢ロータリークラブ
あまロータリークラブ
名古屋清須ロータリークラブ
尾張中央ロータリークラブ
一宮中央ロータリークラブ

●東尾張分区

瀬戸ロータリークラブ
犬山ロータリークラブ
江南ロータリークラブ
小牧ロータリークラブ

春日井ロータリークラブ
尾張旭ロータリークラブ
名古屋空港ロータリークラブ
瀬戸北ロータリークラブ
岩倉ロータリークラブ
名古屋城北ロータリークラブ
愛知長久手ロータリークラブ

●西名古屋分区

名古屋ロータリークラブ
名古屋西ロータリークラブ
名古屋南ロータリークラブ
名古屋みなとロータリークラブ
名古屋東南ロータリークラブ
名古屋中ロータリークラブ
名古屋瑞穂ロータリークラブ
名古屋大須ロータリークラブ
名古屋栄ロータリークラブ
名古屋名南ロータリークラブ
名古屋名駅ロータリークラブ
名古屋丸の内ロータリークラブ

●東名古屋分区

名古屋北ロータリークラブ
名古屋東ロータリークラブ

名古屋守山ロータリークラブ
名古屋和合ロータリークラブ
名古屋名東ロータリークラブ
名古屋名北ロータリークラブ
名古屋千種ロータリークラブ
名古屋昭和ロータリークラブ
名古屋錦ロータリークラブ
名古屋東山ロータリークラブ
名古屋葵ロータリークラブ

●東三河分区

豊橋ロータリークラブ
蒲郡ロータリークラブ
豊橋北ロータリークラブ
豊川ロータリークラブ
田原ロータリークラブ
豊橋南ロータリークラブ
新城ロータリークラブ
渥美ロータリークラブ
奥三河ロータリークラブ
豊川宝飯ロータリークラブ
豊橋ゴールデンロータリークラブ
田原パシフィックロータリークラブ
豊橋東ロータリークラブ

●西三河分区

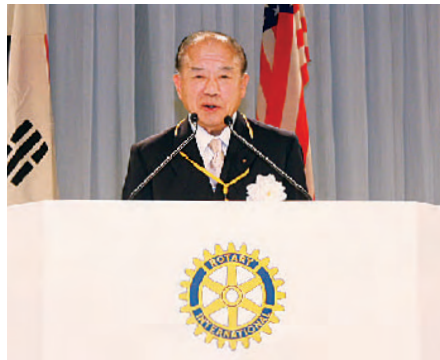
岡崎ロータリークラブ
豊田ロータリークラブ
岡崎南ロータリークラブ
豊田西ロータリークラブ
岡崎東ロータリークラブ
豊田東ロータリークラブ
岡崎城南ロータリークラブ
豊田三好ロータリークラブ
豊田中ロータリークラブ
刈谷ロータリークラブ
安城ロータリークラブ
西尾ロータリークラブ
碧南ロータリークラブ
一色ロータリークラブ
高浜ロータリークラブ
知立ロータリークラブ
西尾KIRARAロータリークラブ
三河安城ロータリークラブ

14:35 主催者挨拶 ガバナー 片山 主水



ガバナー公式訪問の際、単独訪問17回、合同訪問24回させていただいた。卓話が多分でなかった、意思疎通が多分でなかった分、公式訪問と地区大会は、補完し合うものであり、地区にとって重要な行事である。我々は持続可能な前進、調和を計り、世の中潤いの減る現在、ロータリーの助け合いをすすめる又それに感謝しなければいけない。

14:45 R.I.会長代理挨拶 R.I.会長代理 作左部 貢



私は、2540地区(秋田県)より来た。実は当地区の大会に訪問するのは二度目である。一度目は、97-98年度2760地区は犬飼栄輝ガバナー、片山主水地区幹事であった。当時今井RI会長代理に伴って私はやって来た。その時の会場は飛鳥船上であった。まだ鮮明に覚えている。

このたびは当時地区幹事であった片山主水氏が「主水」とあるように一国一城の主、ガバナーになられ、二度目の訪問となった。何か深いつながりを感じる。

私の弟は小児麻痺を患い、亡くなるまで片足が麻痺していた。身体障害者を抱える家族がどのような思いをするか身をもって知っている。ロータリーはポリオプラスにてポリオ全滅寸前まで追い込んでいる。ポリオプラスに協力しよう。

世界金融不安の中、ロータリー愛知81は、トヨタ、リニアなど堅実さが目立つ。こういう時こそ、我々は地下へ根を延ばす時期であろう。



15:10 大会議事

報告

大会関連委員会報告

◆大会登録委員会

大会実行委員長
中込 清周

2773名の参加を得た。



◆大会信任状委員会

委員長 福田 清成

選挙人200名(各クラブ会長指名)である。会員25名ごとに一名の選挙人を得る。端数は13名にてもう一名選挙人を得る。この選挙人は、①2007年度地区決算の承認に関する件 ②ガバナーノミニ選任方法の採択等に関する件 ③2010年度規定審議会に関する制提案の提出に関する件 ④ロータリー財団「未来の夢計画」パイロット地区の申請に関する件を審議することを決定した。



◆地域指名委員会

委員長
高橋 治朗

田嶋 好博君(名古屋北RC)をガバナーノミニとする。2008年4月2日RIに報告した。



◆大会決議委員会

委員長
石川 和昌



【第1号】決議案

李東建R.I.会長による本年度R.I.テーマ推進の件
李東建R.I.会長は、本年度ロータリーのテーマとして、“Make Dreams Real (夢をかたちに)”を掲げられ、全世界のロータリアンに対する行動指針を示されました。

当地区のロータリアンは奉仕に一層力をいれ、情熱を持ってこのテーマを推進することを決議する。

【第2号】決議案

会員増強推進の件

地区内各クラブは、会員増強のため、クラブ主体の増強目標設定及びその達成に努力し、地区はそれらの推進を支援することを決議する。

【第3号】決議案

ロータリー財団及び米山奨学事業の各プログラム推進の件

ロータリー財団活動及び米山奨学事業活動の意義を考え、それぞれに誇りを持って寄付協力すると共にそれらのプログラム推進することを決議する。

【第4号】決議案

地区大会記念行事の採択の件

本大会と名古屋名東ロータリークラブは、本大会を記念して、「愛知県に愛知県芸術大学の学術資金として金100万円を、名古屋市には文化事業として本丸御殿建設基金 金100万円」を寄贈することを決議する。

【第5号】決議案

2008年度国際大会参加協力の件

「夢をかたちに」のテーマのもと、本年度国際ロータリー年次大会は、2009年6月21日から24日までの4日間、イギリス・バーミンガムで、李東建R.I.会長

主催のもとに開催されます。本年度のテーマを具現化するものとして、当地区ロータリアンは、こぞで協力することを決議する。

【第6号】決議案

次年度地区大会開催の件

2009～2010年度地区大会は、豊橋ロータリークラブをホストとして、2009年11月に開催することを決議する。

【第7号】決議案

李東建R.I.会長代理 作左部 貢氏に対する感謝の件

李東建R.I.会長は、本年度の当地区大会に際し、会長代理として作左部貢氏を派遣されました。同氏は、本年度R.I.会長計画及び現況につき、会長メッセージと共に報告され、参加者一同に深い感銘を与えられました。

本大会は、李東建R.I.会長のご高配と、会長代理 作左部 貢氏のご苦勞に対し、深い感謝の意を表することを決議する。

【第8号】決議案

2007年度江崎柳節ガバナーに対する感謝の件

地区ガバナー在任中の江崎柳節君は、豊かな経験と卓越した見識を持って、地区発展に多大な貢献をされました。

よって、ここにその功績を称え、深い感謝の意を表することを決議する。

【第9号】決議案

地区大会ホストクラブに対する感謝の意

本大会の成功は、ホストクラブである名古屋名東ロータリークラブの会員とその家族の一方ならぬご尽力の賜物であります。

ここに心からの感謝の意を表することを決議する。

大会2日目に採決する

大会信任状委員会審議及び採決

ガバナー
片山 主水



(1) 2007年度地区決算の承認に関する件

(2) ガバナーノミニ選任方法の採択等に関する件

RI細則13.020.1.の規定によるガバナーノミニの選出方法につき指名委員会の手続方式を採用するものとし、指名委員会委員は、任期1年(ロータリー年度7月1日～翌年6月末)、5名以内とし、バスターガバナーをもって充てるものとし、毎年ガバナーが委嘱する。

この決議は次の規定審議会の開催される年度の地区大会開始の日の前日まで効力を有する。

(3) 2010年度規定審議会に対する制提案提出に関する件

クラブ定款第10条第5節—出席の記録を次の通り改正する。

(下線部分追加)

本条第3節(b)または第4節の下に出席規定の適用を免除された会員の欠席は、本クラブの出席率の算出に使う会員数に含まれない。



地区大会 第1日目



(4) ロータリー財団「未来の夢計画」 片山ガバナー、深谷財団委員長

DDF (地区基本資金)を50%とし、25%を新補助金、25%をグローバル資金とする。
2010～2013年度パイロット地区とする申請の件

選挙人200名中の出席者過半数の起立をもって、採決可決される。

15:45 委員会活動報告

◆研究グループ交換委員会 (G.S.E.) 委員長 矢形 修己

・研究グループ交換(派遣)



チームリーダー
小早川 慶光
(名古屋東山R.C.)



チームメンバー
小林 玲奈
(豊橋南R.C.)
豊橋市役所勤務



チームメンバー
伊藤 一豊
(豊川R.C.)
設計家



チームメンバー
松岡 美代子
(豊田西R.C.)
栄養師



チームメンバー
高柳 安佐子
(名古屋北R.C.)
音楽家(コントラバス)

・研究グループ交換(受入) 第6600地区(アメリカ オハイオ州)

ロータリー6600地区はオハイオ州北西に位置しています。67クラブがあり、人数は約4,100名です。最大の都市はトレド、人口は約150万人です。



チームリーダー
ロン・ストナー
ボーリンググリーン州立大学の物理学教授を9年前に退職。



チームメンバー
ケヴィン・A・ランタネン
トレド地区公共輸送機関の管理部門メンバー。ローンケア(芝生の栽培と販売)会社所有。



チームメンバー
サマー・レイ・バーテル
オハイオ州バーミリオン公立学校教師。



チームメンバー
ステファニー・マックギア・ワイズ
公立精神介護機関行政官。

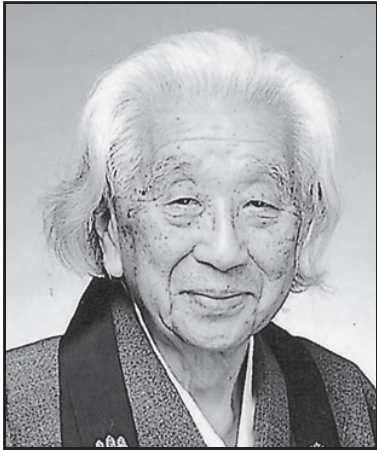


チームメンバー
クリストファー・フレイ
ボーリンググリーン大学教育学准教授。





16:15 ロータリーミーティング(2F 天守 南) 『^{ひと}他人の金で奉仕をするという虚構』(佐藤 千壽 氏 遺稿)



佐藤 千壽 氏(東京東RC)

講演をお願いしていた佐藤千壽氏は、10月23日に急性肺炎のため、ドイツ・フランクフルトでご逝去されました。

今回の講演のために佐藤氏が準備された原稿を、松戸RCの土屋亮平パストガバナーが代読しました。

土屋パストガバナーは、佐藤氏の弟子であり、
万一のときにはこれを読むようにと渡されたのが、
今回の講演原稿でした。



片山主水ガバナー(左)、土屋亮平パストガバナー(右)



講師 土屋亮平パストガバナー(松戸RC)

【奉仕の意味】「報酬無しでプロの仕事をしてもらうことは期待出来ない」とビル・ゲイツは言ったそうだが、Professionalとは本来そういうものである。プロとは自分の技倆を金で売れる専門職のことだから当然報酬を払わなければならぬ—本人が金を受取るか受取らぬかは別問題として—。然し社会生活に於て我々が現実的にWork=働く=のは何も報酬が得られる仕事ばかりではない。家事労働などその代表的なもので、本来それ自体が生活の一部なのだ。生き甲斐というのは金を得ることだけではあるまい。金は単なる生活のための手段であって、一家の生活を支える必要経費に過ぎない。生き甲斐は、社会が自分を必要としている、自分の存在が社会的に高く評価される、という充足感だろう。だから一応生活が出来る限り、報酬の多寡を度外視して一所懸命働く人が沢山居る。その極まるところがボランティア Volunteer で

あって、無償どころか、逆に自分の金を注ぎこんだりもする。典型的な社会還元である。それだから社会的に一層高く評価され尊敬もされる。これが真の意味の奉仕だろう。

奉仕(サービス)という言葉は商売上屢々値引きや安売の意味に使われるが、本来 Service というのは「お務めを果たす」ということで、別に安売などではない。然し辞書を引いて Service という語句がどんな使われ方をしているか、その使用例の数々を追ってゆくと、同じ務めを果たすにしても、それは単なる Work という労務提供ではない、かなり高次の精神的意味合を含んでいると解る。試みに研究社の英和大辞典を繰ってみよう。—(1) 務め、奉公、とあり、次に(2) 神に仕えること、礼拝、(3) 礼拝式文中に歌われる部分の楽曲、とあって、それから勤務、任務、軍務、志願兵役……などと続き、(6) 貢献、奉仕……と出ている。



地区大会 第1日目

そこで次にServantの方を見ると、(1) 召使い、(2) 家来、一身を捧げた人、(3) 公務員、公僕、官吏……と出てくる。

英語のServiceの語源が何処にあるのか、まだそこまでは調べていないが、これで一応日本人が英語のServiceをどう解釈すべきか解って頂けると思う。ロータリーで奉仕という訳語が良いか悪いか議論する人も居るけれど私はやはり奉仕が適語だと思う。つまり「仕え奉る」のであって、「献身=自己犠牲」に通ずる。そうだとすれば、ロータリーに於ける奉仕が何を意味するか自ずから分かってくる。先ずロータリークラブの会員は会員個人個人であって自分が勤務する会社やまたその業界ではない。次に会員になるということはあくまでもその本人自身の人間形成が目的で、謂わば学校に入る様なものである。だからロータリーは職業人の為の成人教室とも言われている。会費は授業料なのだ。従って例会や色々の行事に出席する為の時間も費用もすべて自己負担すべき道理である。ただその人のロータリー活動が、巡り巡って会社の為にもなるという判断でこれに要する費用を会社が補填してくれるかも知れないが、それは別の次元の問題で、ロータリーという組織の関与する問題ではない。それぞれ国によって税制も違うし、またそれぞれの会社の取締役会が独自に判断する問題でもある。日本の税制では会社の規模にもよるが一定限度までは交際費として経費処理が認められている。然しロータリーとしてはそれはあくまでも会員個人の出費であって、会社が負担すべきものとは考えていない。入会後の活動費についても同様である。

ところでロータリーという組織の単位はクラブであり、またガバナーが統括する適正なクラブ数をまとめて地区が編成されているので、それぞれその組織として事務処理に要する経費が発生する。それがクラブ会費であり地区費である。然しそれはあくまでも事務費であって、奉仕活動に要する費用はそれに献身奉仕出来る人が、それぞれの力量に応じて自分で負担すべきものだろう。ロータリーが「奉仕する会員個人の集まり」という鉄則に照らして考えれば当然そういうことになる。そうするとクラブなり、地区なり、団体として必要なのは事務処理の費用だけだからたいしたことはない。ところがロータリーの奉仕が個人奉仕ではなく団体奉仕に傾斜してくるに従ってどんどん必要資金が増加してゆく。そうすると、今

度は民主主義だからと言って、全会員に均等に負荷がかかってくる。地区資金で言えばクラブ単位で均等に割当てられる。そうして遂にはそれぞれの活動に従事する役職者の労に酬いる費用というまで発生する様になった。要するに顔の見えない他人の金で奉仕するということだ。その結果、安易に役職者の数が増やされてゆく、ということになるのである。役職という格好をつけた肩書のばら撒きである。ロータリーでは会員が減少しても逆に地区の役職者とその労に酬いる補助金が増えてゆく。民間の会社では考えられないことだ。然しR・Iという本山がリーダーシッププランとか称してこれを奨励しているのだから、決してガバナーの罪ではない。R・Iはこれで会員増強が出来ると考えているのだろうが、寧ろ事態は逆の方向に行くのではないかと思われる。

“Keep Rotary Simple”=ロータリーは簡素に=というテーマを掲げたのは1956~57年度R・I会長イタリア出身のジャン・ラング=Gian Paolo Lang=であった。それから18年後に私は358地区のガバナーに就任するのだが、その直前の地区年次大会ではまた改めて「〈ロータリーを簡素にする件〉」という決議が採択された。それを受けてガバナーに就任した私は一挙に地区委員の数を3分の2に減らした。それにも拘わらずその年度に会員は大巾に増加した。然し役職者の数はまた年度が変わるたびに増えてゆくのだから始末が悪い。そして会員は減ってゆく……

その後1993~94年度R・I会長に就任したスイス出身のロバート・バース=Robert R.Barth=は「私は本年にも新しいプロジェクトは提唱しない」前置して「今やロータリーはあまりにも情報が多すぎる。言論也多すぎる。活動のプロジェクト也多すぎる……それでいて逆に成果はあまりにも少なすぎる……」と破天荒なメッセージを送ってきた。—ラング会長とバース会長、二人は何れもヨーロッパ人で、このあたりに米欧その精神風土の違いが見えて大変興味深い。

然し経済大国アメリカの笠の下に居る日本では、ロータリーもまたエバンストン総本山の笠の下で安易な道を選びたがるだろう。

「船頭多くして舟山へ登る」

自分の地区のことでまことに申訳ないが、ロータリーを愛するが故に敢えて私がガバナーになった年から今年までの地区

国際ロータリー第2580地区 2008-2009年度 地区組織図(左)、
国際ロータリー第2580地区 (元358地区) 逐年概況(右)

組織概況をここに披露する—これはやはり天下の大勢で日本中何れの地区でも同じ様な悩みを抱えているのではないか。

後段で改めて効率的管理が可能な人数のことを述べるつもりだが、だいいち一人のガバナーが178人も地区委員と円滑なコミュニケーションが出来るものだろうか。独裁君主ならいざ知れず輩下の委員だって皆それぞれ一国一城の主である。委員会が二重三重の構造になっていたら何処に責任の所在があるのか分からなくなる。船頭多くして舟山へ登るだけで逆に情勢が混乱する……。そして経費の方だけが多くなってゆく—

話の糸口として50年も関与してきた身近なロータリーの話題を採り上げたが、これは単にロータリーだけの問題ではない。二十世紀民主主義、資本主義成熟の過程に於ける壮大な虚構の一つが、—〈他人(ひと)の金を集め、これを運用して儲けると共に、その罪滅ばし奉仕もまた他人の金によってやる〉—という大芝居が見えてきたのである。これは単に金だけの問題ではない。その負の反面として道徳の崩壊、人間不信の社会不安が発生した—

【民主主義の落とし穴】二十世紀は資本主義経済興隆爛熟の百年であった。それは同時に米国34代大統領アイゼンハワー=Eisenhower=が慨嘆した様に、軍産複合による戦争動乱の世紀でもある。

言うまでもなく近代資本主義の起動力になったのが産業革命だが、これによって経済成長をはかることこそ経国済民の王道だという考えが国際的に広く受け容れられて、何れの国も競ってGNP、GDPの拡大に鎬を削って来たし、それはなおこれからも続いてゆくだろう。またこれを認知させる基本理念が万人平等の民主主義思想にあることは言うまでもない。チャーチル=Winston Churchill=は「民主主義は最悪の政治だ。然し今のところこれに代る更に良い方法が見つからないからこれに従うだけだ」と言ったが、自由民主主義には

大きな楯の両面がある。

万人平等という理念に基づく行動規範は、当然言論の自由、起業の自由、競争の自由である。ところが、自由競争は優勝劣敗で、結果としてその本人の生活自体にも、またそれに基く競争力それ自体にも格差を生ずる。更にその格差がまた格差を増幅してゆくのである。何故なら百万円の金は一万円の金の百倍以上の力を発揮するからだ—(深川純一P・Gの指摘は慧眼)。一方、この格差があまりに大きくなると社会不安を招くので、ここに福利厚生という美名を冠した福祉政策が導入されるのである。だから二十世紀は自由開放市場主義経済と公的私的慈善事業の世紀だったと言ってもよい。

慈善事業は言うまでも無く、資本主義以前古くから社会的に賞讃すべき善行として存在している。然しそれはあくまでも個人個人の善意によるもので、階層社会の基盤の上でそれぞれが分に応じて喜捨することによって成立っていた。ところが万人平等の自由競争、市場経済が想像を絶する様な巨大なものになり、それが国際的な格差増幅にまでなってくると、通常の市民による個人的善意などでは手が及ばなくなってしまう。そこに生まれた鬼子が他人の金を集めて善行をする、という虚構である。然もこの虚構は公的国家的なものはもとより、民間組織であっても、一見建前はまことに立派であって申し分ない—だから虚構というのだが……

【巨大組織の危うさ】ミルトン・フリードマン=Milton Friedman=は、「近代福祉社会の虚構のひとつは善行が他人の金で出来るということだ」と前置して四つの金の使い方について次の様に述べている。時折私はこれを引用させて貰っているが、ミルトンの指摘は経済的側面からの論評で、ここでは心の問題について触れていないので、これを補足して各項目ごとに私見を述べてみたい—

(1) 自分の金を自分のために使う時

(フリードマン…節約と効率の原理が働く)

(佐藤…使い道については多少恥ずかしいことがあっても良心にそむかぬ行動なら許される)

(2) 自分の金を他人のために使う時

(フリードマン…節約の原理は働くが、効率への配慮は薄くなる)



地大会 第1日目

(佐藤…相手が犯罪人でない限り全く良心に痛みはないし、寧ろ誇りにして良い)

(3) 他人の金を自分のために使う時

(フリードマン…専ら効率を考えるが、節約への配慮は無い)

(佐藤…通常の人なら恥ずかしいし良心的にも痛みを覚える)

(4) 他人の金を他人のために使う時

(フリードマン…節約も効率も考えない)

(佐藤…虚栄心を増長させ、それにつれて良心も麻痺する)

以上の様な次第だが、この他人(ひと)の金を使う時の精神状態に於て(3)と(4)が連動すると自己顕示欲のみ肥大して結局犯罪行為にまで及ぶ危険がある。

但し、「他人(ひと)の金を他人(ひと)のために使う」にしても、少数の個人が金を集めて、これを誰かお互自分達の知っている人に託して使う、という場合には、金の出し手と受益者と受託者との関係が濃密である。お互に顔が見えている。だから何も問題は起こらない。

問題が発生するのは、そういう善行を志す人々の組織が大きくなり、顔の見えない仲間が主体性を持つ様になった時である。

組織が大きくなって金の流れが見えにくくなる程不祥事の発生も多くなるし、その規模も大きくなる。勿論そういう大組織ではそれなりに規則も作り情報も公開している。然し今度は情報という虚構も発生する—昔から三つの大嘘の一つとして「統計の嘘」が挙げられていることは皆さん御承知だろう。そしてこの情報統制の虚構は金のお出し手と受け手とその運用組織との個人的関係が稀薄になるほど大きくなってゆくものである。

そもそも人間はお互に顔の見える相手との関係で初めて人間らしくあるという存在で、顔が見えなくなる程自己中心的になる。血液検査をすると、よく「善玉コレステロール」・「悪玉コレステロール」という話を聞かされるだろう。それと同じで、人間の心にも善玉と悪玉が存在する。もう皆さん健康診断で十分経験しているだろうが、この悪玉コレステロールは生活が豊かになればなる程増えてゆく。だから始末が悪い。そこに経済先進国の繁栄に潜む壮大な虚構がある。

さて組織とは言うまでもなく人間の集団である。そしてこの集団組織を指揮統率する首領が居るが、その首領が独裁君主として終身君臨すると弊害が計り知れなくなるので、民

主主義制度のもとでは選挙による交替制を採用している。然し一方、組織が大きければ大きいほど首領としての栄光も大きく輝くから、その当人にすれば当然の人情として自分の任期中更に一層組織を拡大したい。虚構であろうとなかろうと、体裁のいい立派な組織を作り、臭いものには蓋をして、立派な決算報告書を作りたい。どうせ限られた任期なのだからそういう花道を作って退任したい、ということになるだろう。然もこの大きな組織を維持運営するための必要経費は自分が払うわけではない。みんな自分の腹が痛まぬ他人(ひと)の金である。それどころか、大きく膨らませた経費の中には餘裕も出来る……こうして他人(ひと)の金で仕事をする者の落ち入り易い、善行—奉仕という虚構が発生するのである。

その虚構の最大のものが国連を頂点に戴く多くの国際組織だが、これはあまりに遠くて見えにくいので、また話をもとに戻して、今我々に一番身近な問題を少し拾ってみよう—

【経済至上主義の功罪】人は食べなければ生きてゆけない。そして生きてゆくために必要なカロリーは、年齢による差はあっても、万人平等である。そこで政治の第一目標は先ず国民の腹を満たすことだ—だから敗戦日本の戦後政府はあれこれ措置をこらして経済再建を計った。国民も乏しさを分かち合いながら必死に働いた。そして働けば働くに従って生活も豊かになってくるから青少年にも明日への希望があった。国政を担う政治家、官僚にもそれなりの使命感があったし、またそういう経済成長に伴って自身の生活も楽になり、その上統治者としての権威も栄誉も増幅して行った。だからそういう意味に於て経済至上主義は十分理に適うことだったのだ—但しその経済成長志向の根底に、統治者は無論のこと、国民にも道義を重しとする志があった。肝腎なのはこの志：精神の極性軸である。

ところがこうして経済的に豊かになって、安楽椅子に眠るようになってくると精神的極性軸が次第に摩耗してきて、官も民もただこの安楽椅子の保全—それを支える自分達の城の強化拡大に志が傾いてくる……殊に権力を伴う政府組織では、必要経費のすべてが、強権を行使して安易に取立て出来る税金やその他諸々の賦課金によって賄われる。国民福祉のためと言っても、それは全く他人(ひと)の金です



善行=奉仕であって、「自分のために使う」という虚構から逃れられない。だから何れの官庁でも国益より省益優先で権限争奪戦、政治家にしても国益より党益、いや党益より派閥益なのだ。その上、これまた民主政治の善悪両面で致し方ないけれど、それぞれの担当者は任期も限られている。定年制もある。従って自分の任期中だけ大過なく格好良く過ごせば良いのだ。だから役人天国で何処の国でも役人の数は増えてゆくばかりで減らない。結局迷惑というより尻拭いの被害を受けるのは国民である。

今この日本で一番話題になっている問題は、なんと言っても10万人を超す大世帯厚生労働省だろう。源流は戦時下国家総動員法によって生まれた厚生省で、そこから引継がれた公的年金—これを管理する社会保険庁のコンピューターに厚生年金記録の入力ミスが推計560万件もあって、それが未だに宙に浮いたままだという。一方日本敗戦後も国民の汗と油で経済復興、高度成長を遂げる過程で国民の醸出する年金も膨れ上って行った。然し年金は社会保障として国民の老後に備える預り金である。これを管理する者は将来の少子、高齢、人口減、成長鈍化ということまで想定して十分備えをすべき責任がある。ところが、預り金は他人(ひと)の金、その頃まで自分はこの椅子に座って居ない。そこでこの膨大な金を使って安易に厚生年金会館とか、そのほか各地に民間施設と競合する様な宿泊施設を作ったりした。福祉施設という美名を冠しているが結局自分達の為ではないか。それが今度はバブル経済が崩壊して重荷になっている。この厚生労働行政には、ほかにも薬害肝炎とか後期高齢者医療問題とか数々不祥事が山積している。

本来国民に奉仕する為の役所なのに、巨大化するに従って責任感が薄れて自己保身に傾く……だから厚生労働省ばかりではない、ほかにも事例に事欠かぬが、今一番話題になっているのが汚染米不正転売事件—その責任の大本(おおもと)は米輸入のノルマ優先で、輸入検査時点で殺虫剤に汚染されたり黴が生えていたりして食用に適さぬと判明している汚染米を適切に処理しなかった農林水産省にある、消費者のことは眼中にない。あるのは省益だけだ。大本(おおもと)の役所がこんな調子だから、この汚染米を引き受けた会社でも、経済市場主義で、消費者のことなど考えていない。

これは当面一番話題になっている例を挙げてみただけで、今や日本中、いや世界中何処でもそうなのかも知れぬけれど、官民を問わず巨大組織の道徳は崩壊している。無力な一般市民はもう誰を信用していいのかわからない。信用不安の世の中である。そこに無差別殺人の様な凶悪犯罪も発生する。

【人間集団の適正規模】 福澤諭吉がこう言うことを言っている—<……政府の公務にても民間の事業にても、単に事物の数理に従って正味の要用を達するは誠に容易なることにて、差したる人数を要するものにあらず。したがって費用も少なくして速やかに弁ずる筈なれども、実際は然らずして万般の施設その面倒なること筆紙に尽し難し。……これが為に余儀なく人数を増やせば又その人数を始末するが為に更に人数を増やさざるべからず。大家に多勢の人を雇ふて、為に数人の飯炊を置けば、飯炊もまた飯を食うが故に、今度は飯炊の飯炊を雇ふの必要に迫るが如し。彼の政府又は諸会社等にて、検査、調査、取締、参座、立会などいふは、いずれも右の要用に生じたることにして、その煩雑浪費推して知るべし。されば人民一個の事業においてもやはり同様の始末にして、正味の事業その事よりも、実は万般の取締向きに忙しき次第なれば、事業上に最も第一の要は信用すべき人物を得て取締の手を省くの一事にあるのみ。……世間の事業家を見るに、親子兄弟睦くして互いに隔意なく思うままに働く者に限りて大抵皆上首尾なるは、他なし。取締の面倒を免れて無益の手数と費用を省くが故なり……>

—『福翁百話』—

さて福澤諭吉がここに述べている様に、無益の手数費用を省いた効率的な運営をするには、事業を担当する組織構成員の全員が互いに情報を共有し、相互コミュニケーションが円滑に行われなければならない。そうすると円滑なコミュニケーションが可能な集団にはやはり人数の限界があるはずだ。そんなことを考えていたら、日本経済新聞連載の「経済教室」欄で大変興味のある論説を読んだのでこれを援用させて貰う—東京大学教授西垣通氏の執筆で、英国の人類学者ロビン・ダンバー= Robin Ian MacDonald Dunbar =が唱える「百五十名が群れの上限值」という仮



地大会 第1日目

説である—<霊長類は哺乳類のなかでも大脳新皮質がよく発達した動物だが、ダンバーはさまざまな霊長類について調査し、大脳新皮質のサイズと群れのサイズとのあいだに明確な相関関係があることをつきとめた。群れが大きくなると、個体どうしの相互コミュニケーションが複雑化し、その処理の負荷が一挙に増大するので、大脳も大きくならざるをえない。ヒトの場合、大脳新皮質のサイズから計算すると、群れのサイズは百五十名が限界になるというのだ。言いかえると、われわれヒトとは、せいぜい百名程度の共同体をつくり、そのなかでコミュニケートしあいながら生きる生物なのである。何千何万、何億の人々と一緒に共同体をつくるほどの脳は、残念ながら遺伝的に持っていないのである>—

—日本経済新聞・2008・3・11—

そうだとすれば世界国家などというのは夢のまた夢だろう—国際連盟は第一次大戦後戦争の惨禍を無くそうとして結成されたはずだが、逆に二十世紀はこの大戦を上廻る戦争と動乱の世紀となった。そして第二次大戦を経て勝者同士の国際連合で平和を維持しようとしたが、その勝者同士の東西冷戦になった。それからグローバル経済の拡大に押されて冷戦が融け、世界の人的交流が自由になったと思ったら、今度はニューヨーク9・11テロ—これでまた世界は動乱とテロの乱世になってしまった。そして国民は皆基本的人権としての自由、プライバシーも放棄しなければならぬ無差別監視網に絡めとられることになってしまったのである。戦争を防ぐ為の戦争、自由を守る為の自由放棄……「みんな仲良く……」などというが、本当に仲良く平和に暮らすにはやはり群れに限界がある……

私の実際の体験に照らしても、この「150人上限値」というのが実証できる。—会社の経営でもそうだが、ロータリーの会員にしても100名を超えると必ず名前の分からぬ人が増えてくる。我が地区で最大のクラブは東京クラブだが、同じクラブの会員なのに、たまたま他のクラブから来た会員によって紹介されたりすることさえある。私の所属する東京東クラブも1984年の155名が上限で、それから年々減少し始め、今では70人台である。

私のガバナー年度、1975年7月の世界の会員数は151カ

国16,489クラブで774,500人、1クラブ平均56人。日本の会員数は1,276クラブ、1クラブ平均53人で、顧みてこの頃がロータリーとして一番活気があったと思われる。

現在はどうか一月ごとの細かい数字はさて置き、概略世界の会員数32,700クラブ121万人で、1クラブ平均36人。R・I・B・Iは1,840クラブ55,000人で1クラブ平均30人。日本は現在2,300クラブ、95,000人で1クラブ平均42人である。

ずっと昔、1960年代、直木・柏原両パストガバナーが会員増強問題で論争した時の日本の会員数は371クラブ15,000人で1クラブ平均40人だった。こうしてみると親密な群れの限界はやはり4～50人になるらしい。

会社経営となればなお更のことで、情報の共有とコミュニケーションの円滑化を計る為には、部署ごとに小集団に分けて管理しなければならぬ。

ロータリーについて言えば、やはり1クラブの適正規模は7～80名、100名以下を限界と考えるべきだろう。だから子クラブ、孫クラブを作ってクラブ数を増やして行ったことはいい。然しその際注意しなければならぬことは職業分類の原則を守ることである。ところが国際ロータリーはただやみくもに会員を増やすことばかりを考えて、職業奉仕の根幹になるこの原則を殆ど有名無実にしてしまった。そこからロータリーの衰退が始まったのである。

なんで職業分類の原則が大事かというと、生物の有性生殖を考えてみればいい—卵子などの生殖細胞は自分の染色体数を半分に減らすという減数分裂の仕組みで子孫を増やしてゆく。だから一卵性双生児以外は兄弟姉妹それぞれ違う遺伝情報を持って生まれるし、これがまた次の世代で違った組合せが出来てここに多様性が出来る。これが将来の環境変化に順応して種の滅亡を防ぐ知恵なのである。

これをロータリークラブに当てはめて考えれば、何故多様性のある会員構成でなければならぬか分かるだろう。職業分類の原則を守らなければ必ずロータリーは衰退する。

それはさて置き、福澤諭吉が言う様な財政の効率化は民間企業ならすぐ納得して改善に取り組むだろうが、やはり他人の金を集めて仕事をする組織ではこれがなかなか出来ない。ひたすら組織の増殖だけを考え、役職者を増やしてゆく…



【変質するロータリー】前段で、国民に奉仕する為の政府が奉仕よりも自己増殖に走るという矛盾について話したが、政府自体の目的はそうであっても、それを運営する政治家や官僚はそれを職業として生活するプロである。だから当然それなりの俸給を払わなければいけない。然し職務の目的が国民に奉仕することであるからには、当然それなりの使命感・倫理観を持たねばいけないのだけれど、やはり生身の人間で生活がかかっているのだからどうしても自己保身に傾きがちである。国家危急の時には、自分自身の生活さえ脅かされるのだから、その使命感が自然に蘇るだろうが、国が豊かになって生活が安穏なら使命感など忘れられてしまう。

然し自由結社であるロータリーはどうか。ロータリーは本来職業人個人個人の社交クラブであって、ロータリーの会員という身分それ自体が職業なわけではない。ロータリーの仕事が職業として認められるのは事務職員だけである。ここまでのことは皆さん誰でも承知していることなのだが、ロータリーという組織が国際的に広がって国際ロータリーそれ自体が先頭に立って福祉活動を始める様になってから、段々話がおかしくなっていく……官僚化が進行して自由結社の楽しみが失われていく……

私がロータリーに参加した頃には、「ロータリーは奉仕団体ではない、奉仕する人の団体である」とくどい様に説かれていたし、それがまたロータリーを他の同種団体と区別する鉄則であった。私自身もこれを金科玉条として50年のロータリー生活を楽しんできた。

ところがなんと、この頃はR・Iの理事自体が「ロータリーは世界最大の奉仕団体です」などと公言する様になってしまった。どんな仕事も時代と共に変わっていくのだから、それはまたそれで致し方ないとしても、このあたりからロータリーもまた「他人の金で奉仕するという虚構」になり、つれて金集めの為の商業化にも傾斜していく……（例えば国際大会・旅費支弁旅行会社指定……）挙句の果てには「人類が私たちの仕事」などと広言して公私混同の公金濫費をするR・I会長まで出てきた……こうして綱紀がたるんでくるとその毒素は地区レベルにまで浸潤して時に理事やガバナーまで感染する様になる——>大木は頭から腐る——

商業化というのはアメリカ資本主義の特質だから、ロータリーの主導力がアメリカにある限り、R・I本部の方策がそちらに傾いていくのは防ぎようがない。功罪両面あるので一概には否定できないが、私などの化石人類にはなじまない。

例えば／ゴルフはイギリスで生まれ、アメリカに渡って悪くなり、日本がこれを最悪にした／ということを耳にしたが、アメリカで悪くなったのは本来紳士の遊びであったゴルフで、プロゴルファーを作ってこれを職業化したこと、日本がこれを最悪にしたのは法人会員を作って社用族を育て、会員権を利殖手段にしたことだという。

運動競技の世界で最大のものは国際オリンピックで、これも商業化することによって国際的に最も華やかな祭典になったのだが、国威発揚という本来の目的と全く離れた行事になったり、スポンサーの金儲け手段になったりする。開催地のいかがわしい金の流れや、参加選手の薬物汚染が潜行して毎回問題になっている。最も極端なのは1904年アメリカセントルイスで開催されたオリンピックのマラソン選手が途中通りがかりの車に乗ってキセルをやった、という事件までである。

日本の国技とされる相撲だって本来一種の神事だったものが、国際化商業化と共にもう皆さん御承知の様にひどいものである。

そもそも祭典とか文化の伝承とかいうものは少数の恵まれた篤志家によって支えられてきたものだが、自由民主主義・市場資本主義・経済至上主義の負の面として篤志家の存在が無くなった。そのあたりからこういう悪事が噴出して来たのである。更に悪いことに、戦後日本では一方でアメリカ流民主主義経済を進めながら、一方税制では共産主義政策を採った。国民もまた金持ちを嫉妬する様になった。だからなお更高貴の義務= Noblesse oblige =などという観念は何処にも無くなってしまったのだと思われる。

1894年、教育家のクーベルタン男爵が国際オリンピック委員会を組織した頃の委員諸侯は開催候補地を視察する為の旅行でも全部旅費は自弁だったという。今はもう全く逆転して相当いかがわしい金が動く……

然らば「奉仕する人の団体」であるべきロータリーではど



地区大会 第1日目

うなのか。R・Iでは会長以下役員の出張に際してはR・I支払のクレジットカードを渡されるが、旅費規定で交通機関のファーストクラスを利用出来るのは会長、会長エレクト、元会長、財団管理委員長、現任の理事管理委員、事務総長とそれぞれの配偶者となっていて、その他はビジネスクラスかエコノミークラスである。

ここでも事務局職員に対する支弁は当然のこととして、その他の方々についてはやはりこういう区別が気にかかる—とは言うもののクーベルタン時代とは違うのだから、それでもよからう。しかし私が一つ疑問に思っていることだが、毎年一回ゾーン研究会があって、日本の場合殆ど毎回会長夫妻(時に家族共々)と財団管理委員長夫妻が派遣されるが、その宿泊滞在費はすべて現地側負担になっていると聞く。この人に来て頂きたい、とこちらが頼んだ場合には当然頼んだ方がその費用を払わなければいけない。然し先方が指名して派遣したなら、指名した本部又は指名された本人が支払うべきである。付けを相手に回すのでは他人(ひと)の金で奉仕する、ということになる。

これを地区レベルまで下げて考えると、私達前後のガバナーは、その行動に要する費用をすべて自弁するか、さもなくば自分の会社で支払った。それが出来ないけれど是非ガバナーになって貰いたいと思って懇願した人が出た場合には、その所属クラブが名誉としてこれを負担した。だからガバナーというのは「やりたがらない人にやらせるもので、やりたい人にやらせるものではない」というのが常識だったのである。つまり、ガバナーにはそれなりの権威があったし、卓越した指導力があったからである。ところが今や自分の懷を傷めず、実力もないのに安易にこんな栄誉が得られるのだからあれこれ問題が発生してくる。

R・I理事にしても会長にしても同様に、国際ロータリーは選挙運動を厳しく規制しているけれど、それ程厳しく規制しなければならぬ程ロータリーが歪んできているということではなかろうか。あるいは人材が不足しているということかも知れぬ。奉仕という虚構である。ロータリーが個人奉仕から団体奉仕へと変質してゆくのはこういう点にも原因がある。時代の推移に伴う宿命かも知れない。

私達日本のロータリアンにとって、最も胸の琴線に触れるロータリーの哲学は「決議23~34」だけれど、団体奉仕へと変質してゆく国際ロータリーにとってはこれが一番大きな障害になっている。だから手続要覧から削除されたり、また日本側からの抗議で復活したりしてきているが、ついに2007年11月の理事会で事務総長及びビル・サージェント元R・I副会長の連名提案として／(1)社会奉仕に関する1923年の声明が、もはや社会奉仕の理念ならびに国際ロータリーとそのクラブの原理を正確に記すものではないと判断する／(2)今後の「ロータリー章典」および「手続要覧」の改訂版からこの声明を削除するよう、事務総長に要請する／という決議案が出されることになった。日本から出ている小沢、渡辺両理事がこれを見て驚き、必死に抵抗したその経過については『ロータリーの友』2008年9月号に英文原典と共に縷々詳細に出ているのでこれを御覧頂きたい。両理事の尽力に謝意を表すが、今後『手続要覧』に掲載されるとしても、もはやHistorical Document=歴史的文書=としてその痕跡を留めるに過ぎなくなるだろう。民主主義は多数決の原理だから衆寡敵せず、こればかりはなんともならない。

ともかく「決議23~34」は現在の国際ロータリー執行部には否定されたけれど、ロータリーは権力構造ではない。まして自由結社であるから会員の思想統制まで出来るはずもない。我々日本のロータリアンは己れの信条に基づいて我が道を行けばよいのである。

ただそう言うものの、団体奉仕化するに従って財団への寄附要請はますます増えてゆくだろう。寄附は強制ではない、と言うもののそれは建前であって、近年のやり方はむしろガバナーに対する脅迫でさえある。それは国の税制と同じで悪法もまた法だからなんとか適当に折合をつけるしがあるまい。然しこれが過ぎれば行きつく先は見えている。結局墓穴を掘ることになるだろう—

—2008・9・16 於石洞山房—



17:35 本会議第1日目閉会・点鐘



片山主水ガバナー



本会議会場風景

18:00 R.I.会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会 (2F 天守 北)



ホストクラブ 名古屋名東RC会長 松永辰男



特別出席者を紹介する片山主水ガバナー



佐左部貢 R.I.会場代理挨拶



第2760地区と第2830地区(青森県)の
友好クラブ更新協定書調印



江崎柳節バストガバナーによる乾杯の音頭



地区大会 第1日目

晩餐会風景



左から西川博、吉田光一、藤田守彦
(名古屋丸の内RC)



左から吉水正博、熊谷多津旺、伊藤與有三
(名古屋東南RC)



左から山口剛男、成瀬和男、佐久間貞介、宮崎薫、鈴木輝彦、伴禎夫、白木良彦、近藤信之
(地区幹事・副幹事・会計)



左から伴禎夫、下郷卓弥、山本誠一、山口剛男、成瀬和男、佐久間貞介
(地区幹事・副幹事・会計)



左から岩瀬淳一郎、辻村和美、福岡輝夫、松井章悟
(ガバナー補佐)



左から作左部貢、片山主水、片山か乃恵、大澤輝秀



左から大西弘高、ミカエル・カルマノ、久野博淳、深谷友尋
(地区委員長)



左から富田雅則(ローターアクト委員長)、松永辰男(名古屋名東RC会長)中込清周(実行委員長)



左から杉浦壽康(ロータリー未来委員長)、山内登(会員増強リーダー)、岩瀬淳一郎(次期地区幹事)



左から津川聖子(大会副実行委員長)、天野武子(愛知県立芸術大学教授)、藤井伸三(ロータリーの友編集委員)



晩餐会風景

地区大会 第1日目



左から作左部聖子・作左部貢PDG夫妻



左から戸田一誠PDG、佐野康子PDG夫人
田嶋好博ガバナーノミニー



左から小林孝雄PDG、福田良子PDG夫人



左から戸田一誠PDG、佐野康子PDG夫人



左から味戸道雄・味戸孝子PDG夫妻



左から斎藤直美・斎藤雅子PDG夫妻



新田薫PDG、福井初美PDG夫人



左から戸田一誠PDG、佐野康子PDG夫人
田嶋好博ガバナーノミニー、土屋亮平PDG



左から福井正典PDG、仲谷冷子・仲谷純三PDG



大澤輝秀・大澤淑子GE夫妻



左から國分孝雄、近藤雄亮、安藤公爾

(ガバナー補佐)



松永辰男ホスト名古屋名東RC会長





地区大会 第2日目

第2日目 11月16日(日)

会場準備、前風景



宮崎薫 地区幹事(中央)



足マッサージ 豊島徳三バスターガバナー(左) ホストクラブ名古屋名東RC事務局



宮崎薫 地区幹事(左から2人目)

受付



受付風景

展示



尾張旭RC(左)、RYLA委員会(右)



青少年交換委員会

9:30 R.I.会長代理ご夫妻入場



9:35 〈アトラクション〉

愛知県立芸術大学 弦楽八重奏団 輝(き)

曲 目 F.メンデルスゾーン 弦楽八重奏作品20より第一楽章 他



9:50 点鐘



国歌「君が代」



指揮 愛知県立芸術大学音楽学部 天野武子教授

ロータリーソング「奉仕の理想」



10:00 物故会員黙祷

2007年

10月 5日 佐藤 澄男(名古屋和合RC)
 10月28日 小谷 彦蔵(刈谷RC)
 10月30日 森 孝子(名古屋西南RC)
 11月16日 池山 辰巳(名古屋中RC)
 11月29日 加古 弘光(東海RC)
 11月30日 鈴木 茂(春日井RC)
 12月16日 高木 旭(大山RC)

2008年

1月 7日 平野 照二(豊橋南RC)
 1月 9日 権田 敏秀(新城RC)
 1月11日 蜂谷 弘道(名古屋和合RC)
 1月16日 小川 修次(名古屋南RC)
 1月18日 今井 金次(名古屋名駅RC)
 2月 6日 大矢 金陸(豊田RC)
 2月 8日 梅田 章次(岡崎RC)
 2月24日 山田 弘(瀬戸北RC)

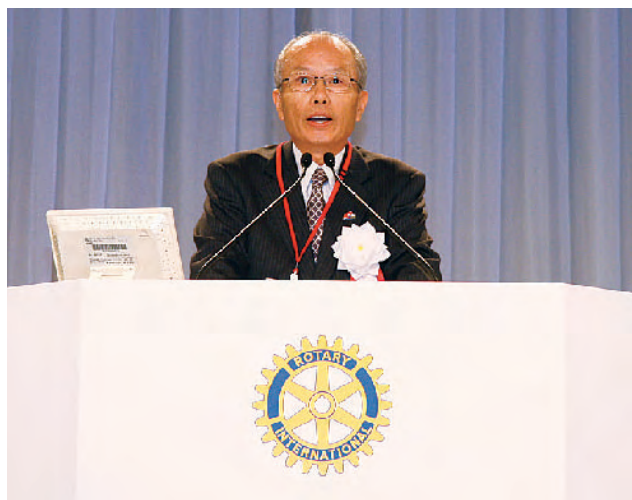
3月28日 藤田 孝雄(名古屋北RC)
 3月31日 山内 清八(豊田東RC)
 4月 3日 丸山 忠吉(蒲郡RC)
 4月 5日 杉浦 勝一(名古屋昭和RC)
 4月 8日 西川 公一(豊橋北RC)
 4月21日 永坂 隆一(碧南RC)
 5月23日 山田 武司(名古屋名東RC)
 5月27日 関戸 佳基(名古屋RC)
 5月29日 白石 信喜(名古屋RC)

6月21日 山田 貫彌(一色RC)
 7月 5日 中野 英二(常滑RC)
 7月10日 大場 善男(蒲郡RC)
 7月11日 鈴木 孝(豊橋南RC)
 7月12日 林 成樹(田原RC)
 7月24日 藤田 敬三(名古屋みなとRC)
 8月26日 中根 豊(岡崎RC)
 9月14日 笹田 博茂(尾張旭RC)



2日日本会議 開会のことば

大会実行委員長 中込 清周



10:15 来賓・特別出席者紹介 2日目

地区幹事 宮崎 薫



味戸道雄バストガバナー



小林孝雄バストガバナー



堀川浩バストガバナー



仲谷純三バストガバナー夫妻

GSE、ロータリー財団奨学生、青少年交換学生、米山奨学生、米山学友会、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ 紹介

GSE

●研究グループ交換(受入)
第6600地区(アメリカ オハイオ州)

チームリーダー
ロン・ストナー (Bowling Green RC)
チームメンバー
ケヴィン・A・ランタネン
(Perrysburg RC)
サマー・レイ・バーテル
(Vermilion RC)
ステファニー・マックギア・ワイズ
(Bowling Green RC)
クリストファー・フレイ
(Bowling Green RC)

●研究グループ交換(派遣)

チームリーダー
小早川 慶光 (名古屋東山 RC)
チームメンバー
小林 玲奈 (豊橋南 RC)
伊藤 一豊 (豊川 RC)
松岡 美代子 (豊田西 RC)
高柳 安佐子 (名古屋北 RC)

奨学生・交換学生

●ロータリー財団奨学生(派遣)

高野 麻衣子 カナダ (一宮 RC)
川口 なを イギリス (豊田 RC)
森 仁志 アメリカ
(名古屋中 RC)
宮地 邦樹 アメリカ
(名古屋千種 RC)

●ロータリー財団奨学生(学友)

鮎澤 多俊 カナダ (瀬戸 RC)
川瀬 麻規子 ドイツ (名古屋 RC)
亀島 深里 アメリカ (安城 RC)

●青少年交換留学生(帰国)

片野 友里 フィンランド
(名古屋大須 RC)
名倉 由季 アメリカ合衆国
(高浜 RC)

櫻井 優子 フランス
(名古屋名駅 RC)
塚本 洋子 ブラジル
(名古屋東 RC)
藤川 ともみ オーストラリア
(名古屋清須 RC)
藤田 有咲美 カナダ
(名古屋大須 RC)
澤 真美子 ドイツ (岡崎南 RC)

●青少年交換留学生(受入)

Laura Francesca SCHIFFER
ドイツ (名古屋大須 RC)
Rafael Telles CARVALHO
ブラジル (名古屋北 RC)
Chun-Hsuan, SU 台湾
(あま RC)
Maria Daisy Dolores NIEMITALO
フィンランド (瀬戸北 RC)
Anne-Charlotte LERAY
フランス (名古屋中 RC)
Cordelia Elaine BREWSTER
アメリカ合衆国 (瀬戸 RC)

●米山奨学生

王 琦 中国 (豊田 RC)
周 夏 中国 (瀬戸北 RC)
嚴 愛 英 中国 (西尾 RC)
崔 允 静 韓国 (名古屋東 RC)
イスマイル インドネシア (瀬戸 RC)
陶 静 中国 (名古屋瑞穂 RC)
刘 強 中国 (尾張中央 RC)
グエン・ハイ・ヴァン
ベトナム (豊川宝飯 RC)
ニョンジョ、ムザファル
ウガンダ (豊橋 RC)
白 承 岐 韓国 (豊橋東 RC)
ファン・ゴック・ヴィン
ベトナム (新城 RC)
ルウン・グエン・ヴィエト・タン
ベトナム (岡崎南 RC)
木特列夫 古力努尔
中国 (名古屋中 RC)
牟 萍 中国 (一宮 RC)
ベルベレスク、フロリン

ルーマニア (豊田中 RC)
謝 平 中国 (名古屋北 RC)
鄭 玉 琪 台湾 (名古屋名駅 RC)
徐 冬 梅 中国 (名古屋大須 RC)
高 娟 淑 韓国 (名古屋北 RC)
ブイ・ホアン・フィ
ベトナム (名古屋清須 RC)
鄭 漸 化 韓国 (豊田東 RC)
トラン・フック・ホン
ベトナム (名古屋城北 RC)
崔 青 林 中国 (名古屋守山 RC)
呉 傑 中国 (名古屋空港 RC)
朴 東 錫 韓国 (常滑 RC)
張 楠 中国 (常滑 RC)
グエン・スワン・ティ
ベトナム (名古屋千種 RC)
黄 敏 中国 (東海 RC)
リトル、アーロン・コーナー
アメリカ (江南 RC)
劉 傑 中国 (半田 RC)
ウィ、ビン・ライン
ミャンマー (一宮中央 RC)
スリ、クンチョロ
インドネシア (刈谷 RC)
ファイサル、アシフ・オマル
バングラデシュ (蒲郡 RC)
ジャワンマルディ、タヘレ
イラン (豊橋北 RC)
チャン・コック・チュン
ベトナム (豊川 RC)
武 小 燕 中国 (春日井 RC)
董 宇 中国 (津島 RC)
チャン・ティ・ハー・ニー
ベトナム (名古屋南 RC)

●米山学友

ウーラ・ドヨープ
王 愛 玲
王 克 光
ジラルンランチャイ、ゲンティダ
李 明
ベ ジュンホ
常 紅
藩 龍
王 岩

鄭 丞 媛

インターアクトクラブ

豊川高等学校 (豊川 RC)
豊田工業高等専門学校
(豊田 RC)
豊橋商業高等学校 (豊橋 RC)
岡崎城西高等学校
(岡崎南 RC)
名古屋 (名古屋 RC)
人間環境大学岡崎学園高等学校
(岡崎 RC)
安城学園高等学校 (安城 RC)
清林館高等学校 (津島 RC)
修文女子高等学校
(一宮北・一宮・尾西・一宮中央 RC)
光ヶ丘女子高等学校
(岡崎東 RC)
阿久比高等学校 (東知多 RC)
千種高等学校
(名古屋名東 RC)
桜花学園高等学校
(名古屋東・名古屋千種・名古屋昭和 RC)
尾関学園高等学校 (小牧 RC)
春日丘高等学校
(春日井・名古屋空港・名古屋城北 RC)

ローターアクトクラブ

地区ローターアクト
岡崎ローターアクトクラブ
豊橋ローターアクトクラブ
田原ローターアクトクラブ
名古屋みなとローターアクトクラブ
江南ローターアクトクラブ
一宮ローターアクトクラブ
名古屋熱田ローターアクトクラブ
名古屋名城ローターアクトクラブ
豊田広域ローターアクトクラブ



地区大会 第2日目

10:30 ガバナー挨拶並びに現況報告(20分) ガバナー 片山 主水

皆様、昨日に続き作左部RI会長代理ご夫妻をお迎えして…

ようこそ地区大会において下さいまして有り難うございます。今日は天に抜けるような秋晴れではありませんが、余分なことを考えず、ロータリー筋に打ち込んでいただけるロータリー日和であります

ロータリーの創立は1905年ですが、その年、アインシュタインは自然物理界の理解の法則・相対性の理論を発表しこの理論は現在に至るまで宇宙を理解する大法則として君臨しています。

ロータリーは一口に100年、100万と言うことができますと思いますが、同年、人間精神界の活動の法則・奉仕の理想の旗を挙げたのであります。この奉仕の理想の思想も現在まで大河となって存続しています。

この奇遇もさることながら、社会的意義を示しつつ100万人という実体を伴って100年存続している事実には驚嘆せずにはおられません。ロータリーを越えるこのような集団がかつてあったでしょうか。

さて一体、ロータリーをここまでに繁栄させた原動力は何でしたでしょうか。これは、公式訪問において、我々はロータリーに如何に向き合い、いかに付き合っていくといいかを問い、そのためには、ロータリーの心・姿かたちを浮き彫りにさせ理解しなければならないとしたことと軌を一にしています。

ロータリーの姿は三我の奉仕、すなわち、思いやりの心・助け合いの心による「超我の奉仕」の理念に基づく社会奉仕と、最良奉仕の最多果報の実践原理に基づく職業奉仕と、これに加えて、修身育家の大原則に基づく人間向上を目指す自己奉仕の三奉仕の下に、この奉仕とロータリーの2本柱・車の前後の両輪に比すべき親睦が基礎土台の如く存在している。親睦と奉仕の関係は、奉仕はロータリーを目的に導きロータリーの存在価値に関わり、親睦はエンジンに直結しロータ

リーをあと押しロータリーの存立基礎である。そして更にその下に岩盤のごとき例会出席・行事参加が必須の構造として組み込まれている。このような心と姿ではないかと思われまます。

また、以上のほかに方法論に関連して、ロータリーに入る、入っているという意識・認識は、ロータリーの理解を甘くしている。言うならば、ロータリー人生を狂わせる。自分が先に在ってロータリーはあとに在ります。主体性を持ってロータリーを観察する。ロータリーに入るな、自分の心にロータリーを入れよ。そういう意味も含めて、「ロータリーに心を ロータリーを心に ロータリーの心を」のサブテーマを挙げさせていただいているものです。ロータリーに関心を寄せ、ロータリーに心を開き、ロータリーをあなたの心に取り入れて下さい。あなたとロータリーの間関係を強いものにして下さい。そして心のバランスシートに減価償却しない確固とした資産として登載するようにして下さい。そうして、ロータリーの心を掴んで下さい。あなたが輝けばロータリーが輝きます。あなたが魅力的であればロータリーも魅力的になります。こんな意味を含んでいるサブです。

さて、冒頭の原動力は、結局、親睦を楽しみ奉仕を喜び、ロータリーを生涯の一ページを飾る重要なエピソードとする調和のとれた奉仕と親睦以外にはないと思われまます。このことをもう一度かみしめていただくことがロータリーの持続可能な前進の一步ではないでしょうか。

ロータリーの夢をじっくり実現いたしましょう。

ご静聴を感謝します。

片山 主水

10:30 RI会長メッセージ並びに現況報告(20分) RI会長代理 作左部 貢

RI会長メッセージ

2008～2009年度国際ロータリー会長 李 東建

ロータリアンおよびゲストの皆さま

ロータリアンとしての私たちの責務は、最善を尽くすことです。

一人の力が及ぶ範囲は、ささやかな形で細々とした変化をもたらし、せいぜい数人、あるいは数十人の人々を助けることです。しかし、結束すれば、私たちの力は強まります。力を合わせれば、地球規模で長期的な変化をもたらすことが可能になります。私たちが一体となると、成し得ないことなど何もありません。

水、識字率向上、保健と飢餓救済、これらは、ここ数年にわたって永らえてきたロータリー奉仕の分野です。その理由は、これらの分野が、地域のロータリー・クラブが個々に、あるいはほかのクラブと協同でプロジェクトを行うのに最適なものであるからです。また、これらの分野に関して、私たちにはこれまで蓄積してきた豊富な経験と専門知識があります。従って、ロータリーが投資するに賢明な分野であると言えます。つまり、既にあるリソースを最大限に生かすことのできる分野なのです。

毎日、世界のどこかで、予防できるはずの要因で子供たちが亡くなっています。5歳未満の子供たちが1日に3万人も死亡しています。これらの子供たちは、水、保健と飢餓救済、識字率向上の分野のニーズ

が満たされていないがゆえに、命を失っています。シートベルトや煙探知機がないばかりに、子供たちが死んでいます。安全な遊び場がないために、死亡する子供もいます。医療サービスを受けられないほどの貧しさゆえに、死ぬ子供もいます。誰も助けられないから死ぬのではなく、誰も助けられないから死ぬというケースのなんと多いことでしょうか。しかし、ロータリアンである皆さんと私にとって、助けることは得意分野です。世界中どの地区においても、地元で子供の命を救うためのクラブ・プロジェクトを実施できるはずで

私たちは、地域社会にきれいな水を供給することで、「夢をかたちに」することができます。環境を整え、保健医療のサービスを受けられるようにすれば、子供たちは健康を得るチャンスを手にできます。これも「夢をかたちに」するに等しいのです。一人でも多くの子供が学校へ通えるよう助けることによって、私たちは彼らの「夢をかたちに」します。命をも奪うほどの赤貧の連鎖を断ち切る方法は、教育をとおしてほかにありません。将来への希望とチャンスをお子たちに与えることによって、彼らの「夢をかたちに」していくのです。

私たちの仕事はシンプルです。心と知恵と魂を注ぎ、命を救うことです。私たちの仕事は、「夢をかたちに」することなのです。

D. K. Lee

11:15 委員会活動報告

RYLA委員会 RYLA委員長 牧野 正高(西三河中分区 岡崎城南RC)



感激のRYLAセミナー

第17回RYLAセミナーが、2008年11月8日(土)、9日(日)の2日間、岡崎市の愛知県青年の家において、受講生124名、ロータリアン134名

の参加を得て、岡崎城南ロータリークラブのホストにより開催されました。テーマは「絆」です。

1日目昼食の後、午後1時より開講式。片山ガバナーの点鐘、あいさつに続き、基調講演に替わる、映画「心の絆」を鑑賞。母親の死をきっかけに心を閉ざしてしまった少女優希が、和歌山県の雑賀崎という港町で暮らすうちに周りの人々の温かい思いやりに触れ、次第に人と人との心の絆の大切さに気付いていくというストーリー。

3回にわたるグループワークでは、「心の絆」を共通の材料にして、家族との絆、友人との絆、そして社会との絆について考え、討論しました。見ず知らずの若者同士が出会って26時間余り、一緒に食事や入浴をし、濃密な時間を共有する中で、彼らの間にもいつしか新しい絆が出来上がっていきます。

2日目午後2時過ぎ、閉会の鐘が鳴らされ、すべてのプログラムが終了したときには、晴々とした受講生たちの顔、顔、顔。私たちロータリアンにとっても、忘れられない感動の2日間となりました。

青少年交換委員会 青少年交換委員長 安藤 隆利(西名古屋分区 名古屋名駅RC)



ドイツでの1年間 2007-08年度派遣帰国生 澤 真美子

派遣国：ドイツ

派遣先地区：第1940地区(Brandenburg) 都市：Wittstock

派遣期間：2007年8月20日～2008年7月21日

2007年～2008年度に2760地区からドイツの1940地区へ派遣させていただいた澤 真美子です。

派遣先はWittstockというベルリンの北に位置する小さな街でした。行った当初は雨ばかりで夏なのに寒く、冬は過ごせるのだろうか。と心配していましたが、屋内は半袖で過ごせる程に暖房が効いていたので、意外と過ごしやすかったです。

私には、ホストファミリーが3つありました。3ファミリー共 Wittstockの街の中でした。どの家にも歩いて10分くらいで行くことができたので、ホストチェンジした後でも、よく遊びに行っていました。どのホストとも日本のことや学校のことなどについてたくさん話をし、一緒に旅行にも行きました。たった3.4ヶ月間でドイツの学校は早く終わるということもあり、ホストと過ごす時間を多くもつことができたので、とても仲良くなれました。

また3つのホストは、それぞれ本当にユニークで様々なドイツの生活を知り、体験することができました。

例えば食事です。ドイツでは、主に主食がパンやじゃがいもで、それに肉や魚がついている。という感じでした。豚肉が主でしたが、鯊をするホストのところではイノシシも出ました。

また、ドイツの魚屋さんやスーパーで売っている魚には、全て頭が付いていませんでした。何故かという、ドイツの人達は、目がついている

と食べているのを見られているように感じるそうです。

他には食事面では、いろいろと口に合わないものがあり、出発の前の「ドイツの食事はあまりおいしくない」という助言を身をもって体験することができました。しかし、5月が旬の『ホワイトアスパラ』は、おいしかったです。

次に学校生活です。はじめ、私が自己紹介をしてもみんなまるで無反応で全く興味などなく、誰かが話してくれることも全くありませんでした。みんなと仲良くなりたいのであれば、自分から積極的に話かけるなど行動を起こしていかなければならないということを学ぶことができました。友達ができてから、学校が楽しくなりました。

続いて、私のある1日を紹介します。平日は朝6:30に起きて学校へ行き13:00まで授業を受け、昼食をとります。その後18:00頃まで友達と遊びに街へ行き19:00から夕食、23:00頃までホストと話をし、寝るという生活でした。休日は12:00頃に起きて、夏はホストとボートへ行き19:00頃に帰ってきて夕食を食べて寝ていました。

日本に帰って来て感じたことは、人と接する時間の長さです。ドイツでは、一日中、常に誰かと話をしていました。しかし今では机に向かう時間が大半を占め、人と関わる時間が短く感じました。

最後に留学中の旅行で特に有意義だったのは、ロータリーの地区の人たちと行った17日間のヨーロッパ旅行でした。

44人の留学生と一緒にチェコ、オーストリア、イタリア、バチカン市国へ行きました。みんなとたくさん話をし、ドイツ語という共通語を通じて、たくさん異文化に触れることはできましたが、その中でひとごとだと思っていた「差別」というものを少しだけ実感しました。

しかし、日本文化や日本語にすごく興味を持っている人達もいました。

みんながよく知っていた意外な日本語はなんと『うわばき』でした。ハリウッド映画で覚えたのです。

ドイツで過ごした1年間は、私の未来にかけがえのない時間となりました。

このような経験のチャンスを与えて下さったことにとても感謝しています。

本当にありがとうございました。



地区大会 第2日目

11:35 記念事業発表・目録贈呈・感謝状拝受 ガバナー 片山 主水

愛知県公立学校法人
理事長 清水哲太

松原名古屋市長
本丸御殿再建について
壁画建物の図面が残っている
ので再建が可能である。ご協力
をお願いしたい。

来賓祝辞

愛知県知事代理 副知事 稲垣 隆司

このたび、国際ロータリー第2760地区年次大会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

皆様方におかれましては、地域社会での奉仕活動から世界中の子供たちに目を向けた国際的な支援に至るまで、日頃から幅広い活動を積み重ねておられます。

こうした活動は、それぞれの地域の連帯感を強め、地域社会の発展に繋がっております。皆様方のご尽力に対しましてあらためて敬意を表する次第であります。

さて、愛知県は、社会経済の急速な変化に対応し、未来に向けてさらに発展していくために、様々な取組を進めております。

交通安全対策や地震、風水害などの防災対策、治安対策など県民の皆様方の安心安全の確保に最優先で取組むとともに、2010年を地域づくりのマイルストーンと位置づけ、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)や国際芸術祭を開催いたします。これらの取組を通じて、この地域を真に豊かで魅力溢れる地域としてまいりたいと考えております。

こうした取組を進めていくうえで、長年地域のリーダーとして活躍してこられ、その経験やネットワークを地域社会、さらには国際社会への貢献に活かしておられるロータリークラブの皆様方の存在は欠かすことができません。どうか皆様方におかれましては、引き続きご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、ロータリークラブの皆様方がこの大会を契機に、今後ますます結束を固められ、さらなる発展をされますことを心から祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

名古屋市長 松原 武久

このたび、国際ロータリー第2760地区2008～2009年度地区大会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

国際ロータリーの皆様におかれましては、平素から社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクトなどの活発な奉仕活動を通じて、地域社会の発展と、名古屋市のめざす「誇りと愛着の持てるまち・名古屋」の実現に多大なご貢献をいただいていることに、心より敬意と感謝を申し上げます。

また、このたびは名古屋城本丸御殿の復元に深いご理解を寄せられ、格別のご支援を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

名古屋市は「ものづくりの技と心、自然環境の大切さ」を後世に伝える一大文化事業として、市民の皆様のお力添えをいただきながら、いよいよ今年度、本丸御殿の復元工事に着手いたします。そして名古屋開府400年にあたる2010年には、玄関の一部を市民の皆様にご公開したいと考えております。本丸御殿が、名古屋の誇り高きシンボルとして復元できますよう、今後とも一層のご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

最後になりましたが、国際ロータリー第2760地区の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

11:35 前年度ホストクラブへの感謝状 ガバナー 片山 主水

前年度地区大会ホストクラブ江南RC伊藤鶴吉 大会実行委員長に片山ガバナーより感謝状が贈呈された。

片山主水ガバナー(左)、
江南RC伊藤鶴吉
大会実行委員長(右)

本地区大会に関する表彰 司会者 松原 敬生

前年度地区大会ホストクラブ	江南RC				
最多人数登録クラブ	豊橋RC				
最高登録率100%クラブ	江南RC	小牧RC	愛知長久手RC	名古屋東南RC	名古屋和合RC
	豊橋RC	豊川RC	名古屋名東RC		

11:55 2007-2008年度に関する表彰(午前の部)

R.I.意義ある業績賞	豊橋RC				
RI広報賞	瀬戸RC				
RI対外広報協同プロジェクト最高賞	半田RC	小牧RC	名古屋北RC		
R.I.会長賞	半田RC	常滑RC	東海RC	一宮RC	あまRC
	一宮中央RC	小牧RC	瀬戸北RC	名古屋城北RC	名古屋RC
	名古屋南RC	名古屋東南RC	名古屋大須RC	名古屋栄RC	名古屋名駅RC
	名古屋丸の内RC	名古屋千種RC	豊橋ゴールデンRC	豊田西RC	
R.I.会員増強推進計画	小牧RC	(退会防止)	知多RC	(会員候補者の勧誘)	
R.I.会員増強・拡大賞					
全般的な増加	名古屋東南RC				
	名古屋東南RC				
退会防止	知多RC	大府RC	岩倉RC	名古屋城北RC	名古屋東RC
	名古屋北RC	名古屋錦RC	名古屋東山RC	名古屋葵RC	高浜RC
R.I.ローターアクト会長賞	名古屋熱田ローターアクトクラブ				
ガバナー推進クラブ賞	一宮北RC	常滑RC	あまRC	春日井RC	名古屋中RC
	名古屋守山RC	豊橋東RC	岡崎RC	知立RC	
ガバナー推進特別賞	江南RC	名古屋東山RC	豊田東RC		
	東海RC	名古屋清須RC	瀬戸RC	犬山RC	江南RC
ガバナー賞	小牧RC	尾張旭RC	名古屋空港RC	瀬戸北RC	名古屋西RC
	名古屋みなとRC	名古屋東南RC	名古屋中RC	名古屋瑞穂RC	名古屋大須RC
	名古屋栄RC	名古屋南RC	名古屋名駅RC	名古屋北RC	新城RC
	豊田RC	岡崎南RC	豊田西RC	豊田東RC	豊田中RC
	刈谷RC	西尾RC	碧南RC	一色RC	知立RC
	西尾KIRARARC	岩倉RC	名古屋城北RC	愛知長久手RC	

R.I.意義ある業績賞
石川 百代(豊橋RC)R.I.会員増強・拡大賞
熊谷 多津旺会長(名古屋東南RC)ガバナー賞 小笠原 喜好会長
(新城RC)



ガバナー特別ローターアクト賞	名古屋港ローターアクトクラブ	名古屋名城ローターアクトクラブ			
	名古屋熱田ローターアクトクラブ				
地区特別功労賞	地区クラブ奉仕委員会委員長	岡本伊三雄氏			
	地区会員増強委員会委員長	菊岡深智子氏			
	地区社会奉仕委員会委員長	伊藤 秀雄氏			
	地区新世代委員会委員長	加藤 康治氏			
	地区IT委員会委員長	坂本 晃氏			
チャレンジクラブ賞	東海RC	名古屋城北RC	豊橋東RC	小牧RC	名古屋大須RC
	豊田東RC	春日井RC	名古屋栄RC	名古屋空港RC	名古屋北RC
2007-2008年度	小牧RC	江崎 柳節氏			
ロータリー財団大口寄付者	名古屋北RC	岩月 忠和氏			
	豊田西RC	小幡 輝雄氏			

12:05 昼食 友愛の広場風景 (1F ブローニュ・シャンポール・2F 青雲・金・銀・3F 松・竹)



13:15 ガバナーエレクト紹介 ガバナー 片山 主水

ガバナーエレクト挨拶 大澤 輝秀 (豊川RC)



ロータリーライフに感謝!!!

ロータリーのガバナー (ノミニ、エレクト、ガバナー年度) を引き受けることを決心し、健康のチェックをして、一年後にはまたペースメーカーをいれることとなったのはガバナーという仕事の重みなのでしょうか? 私にはそれほどの大きなプレッシャーがあったのでしょうか?

間違いなく軽い仕事ではないことは肝に銘じておりますが、今後も健

康には大いに注意を払い、2009-2010年度を全うしたいと存じます。

また、ロータリーのこのような役目を引き受けなかったら、予兆を見過ぎ、何とかなさ、と軽く考え、倒れて初めて気がつくという失態を招くことになったかも? と考えると改めて、ロータリーに感謝する毎日です。

ロータリーの原点を見つめなおし、奉仕と親睦をバランスよく各クラブが運営されるようロータリー学校の校長先生を努め、ガバナー年度を全うしたいと存じますので皆様方のご協力をお願い申し上げます。

国際ロータリー第2760地区 ガバナーエレクト 大澤 輝秀 プロフィール

■ 生年月日 1938年2月3日生まれ
■ 所 属 豊川ロータリークラブ
■ 事業所名 田嶋・水谷法律事務所
■ 役 職 名 弁護士

ロータリー歴
1975年7月 …… 入会
1998～99年 …… クラブ会長

1999～00年 …… 東三河分区分IM実行委員長
2007～08年 …… ガバナーノミニ
2008～09年 …… ガバナーエレクト
クラブ創立50周年実行委員長
※マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
※米山功労者
学 歴
1961年 …… 早稲田大学商学部卒

職歴及び公歴
1961年 …… オーエスジー株式会社
1968年 …… OSG Tap and Die, Inc. 取締役社長
1977年 …… オーエスジー販売株式会社取締役社長
1992年 …… オーエスジー株式会社代表取締役社長
2007年 …… オーエスジー株式会社代表取締役会長兼CEO
公 職
豊川市国際交流協会 会長

財団法人 三豊科学技術振興会 理事
豊川市体育協会 会長
財団法人 大澤科学技術振興財団 理事長
愛知県立時習館高等学校同窓会 会長
東海カントリークラブ 理事長
豊川商工会議所 会頭

ガバナーノミニ紹介 ガバナー 片山 主水

ガバナーノミニ挨拶 田嶋 好博 (名古屋北RC)



ガバナーノミニに選任され、その責任の重さに身の引き締まる思いが致します。私は人生の半分以上の35年余りをロータリアンとして過ごしましたが、その間奉仕についての取り組み方、倫理についての考え方、ホスピタリティーなど多くのことを学んで参りました。微力な私ですが、皆様

のご協力を得てロータリーの発展に少しでもお役に立つことができれば幸いです。皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

<挨拶文は事前に頂いたものです。>

国際ロータリー第2760地区 ガバナーノミニ 田嶋 好博 プロフィール

■ 生年月日 1939年3月1日生まれ
■ 所 属 名古屋北ロータリークラブ
■ 事業所名 田嶋・水谷法律事務所
■ 役 職 名 弁護士

ロータリー歴
1972年10月 …… 名古屋北ロータリークラブ入会

1989年～90年 …… クラブ幹事
1998年～99年 …… クラブ会長
2005年～06年 …… 東名古屋分区分ガバナー補佐
学 歴
1961年 …… 中央大学法学部卒業
職歴及び公歴
1962年 …… 最高裁判所司法修習生

1964年 …… 弁護士登録
1987年～88年 …… 愛知県弁護士会副会長
1988年～ …… 名古屋地方簡易裁判所調停委員
1990年～ …… 名古屋地方裁判所鑑定委員
1999年～01年 …… 愛知県地方労働委員会会長
2004年～ …… 愛知県個人情報保護審議会会長

寄附状況
※第3回米山功労者 (1997年12月)
※ベネファクター (1998年9月)
※第1回マルチプル・ボール・ハリス・フェロー (1997年11月)
※第3回マルチプル・ボール・ハリス・フェロー (2006年11月)
趣 味
ゴルフ、俳句



地区大会 第2日目

13:45 活動報告(地域)

◆名古屋地域 RCC活動について

地区RCC委員会副委員長・クラブRCC委員長 松崎美都子



守山RCが支援している守山RCCでは1,000人以上がボランティア活動をしています。

守山RCC、守山ボランティア連絡協議会の発足は13年前で、守山RCからの支援を有効に使い、会員は年々増えています。

18グループが活動していますが、そのうちの一部を紹介します。

●老人給食ボランティア(464名)

一人暮らしのお年寄りの安否と地域のふれあいを目的に、昼食の宅配をしています。宅配者は守山RCの寄贈、宅配のお弁当は守山RC会員の会社がお値打ちな価格で提供しています。

●割り箸リサイクル(19名)

使用済みの割り箸を回収、選別します。乾燥させたものを王子製紙に持っていきます。ティッシュペーパー1箱を作るのに5Kgの割り箸と5Kgのチップが必要だそうです。王子製紙もボランティアとして受けてくださっているそうです。

◆三河地域 ブラジルを知ろう

豊橋ロータリークラブ 柴田宏巳



豊橋地区には、ブラジル人が13000名住んでいる。これは同地区の3%に当たる。ブラジル人のこどもは当然日本語が分からない。学校へも行かなくなる。非行の温床となる。近い未来に犯罪が多くなるかもしれない。そこで、日本、ブラジルの親交を深める手段を考えた。フットサル(サッカーに似ている)で親善試合を行えるようにした。

SAMOS AMIGOS(友達になろう)

13:55 感謝状及び記念品贈呈 ガバナー 片山 主水

R.I.会長代理 感謝状及び記念品贈呈

R.I.会長代理 作左部 貢【ガバナーからR.I.会長代理へ贈呈】



2007-2008年度ガバナー 感謝状及び記念品贈呈

パストガバナー 江崎 柳節【ガバナーからパストガバナーへ贈呈】



2007-2008年度に関する表彰(午後の部)

R.I. 財団功労賞	福田 清成(江南R.C.)				
ロータリー財団大口寄付者	江崎 柳節(小牧RC)				
	岩月 忠和(名古屋北RC)				
	小幡 輝雄(豊田西RC)				
ロータリー財団年次寄付優秀クラブ(総額 上位5RC)	名古屋RC	名古屋北RC	刈谷RC	豊田西RC	あまRC
ロータリー財団年次寄付優秀クラブ(会員一人当たり 上位5RC)	小牧RC	刈谷RC	名古屋北RC	名古屋みなとRC	西尾RC
米山寄付優秀クラブ(米山普通+特別寄付、総額 上位5RC)	名古屋南RC	名古屋中RC	瀬戸北RC	名古屋東南RC	名古屋名駅RC
米山寄付優秀クラブ(米山普通+特別寄付、会員一人当たり 上位5RC)	名古屋名東RC	瀬戸北RC	名古屋東南RC	半田RC	一宮北RC
米山寄付達成クラブ(米山普通+特別寄付、合計累計額)	渥美RC 1千万	三河安城RC 1千万	東知多RC 2千万	豊橋北RC 4千万	
クラブ創立記念 米山記念奨学会特別寄付	45周年	一宮北RC	一色RC		
	40周年	小牧RC			
	35周年	岡崎東RC			
	30周年	名古屋名東RC			
	20周年	知多RC			



R.I.財団功労賞 福田清成(江南RC)



ロータリー財団年次寄付優秀クラブ 五藤隆夫会長(小牧RC)



米山寄付優秀クラブ 奥山清介会長(名古屋南RC)

2008-2009年度に関する表彰 ガバナー 片山 主水

ロータリークラブ創立50周年表彰	豊川RC(1959年3月12日・・・R.I.加盟承認日)
	碧南RC(1959年4月8日・・・R.I.加盟承認日)
	名古屋北RC(1959年6月17日・・・R.I.加盟承認日)
	名古屋東RC(1959年6月30日・・・R.I.加盟承認日)
	杉浦 義夫(西尾RC・1958年5月6日入会)
ロータリー50年在籍表彰	盛田 慶吉(名古屋RC・1958年10月21日入会)
	山中 寛三(碧南RC・1959年4月8日入会)
	古居 信平(安城RC・1959年5月1日入会)
	阿部 鋼一(名古屋RC・1959年6月入会)
	古川 博三郎(名古屋東RC・1959年6月30日入会)
	古川 善次郎(名古屋東RC・1959年6月30日入会)
	伊藤 寛(名古屋東RC・1959年6月30日入会)
	西川 一男(名古屋東RC・1959年6月30日入会)
	尾関 重雄(名古屋東RC・1959年6月30日入会)



ロータリークラブ創立50周年表彰 平岩統一郎会長(碧南RC)



ロータリー50年在籍表彰 古川善次郎(名古屋東RC)



14:10
記念講演
(2F 天守の間)

「日本の進路」



講師 小泉 純一郎氏

挨拶、講師紹介

おく よし ずみ
奥 佳澄大会実行委員
(名古屋名東RC)

1942年1月8日生

衆議院議員 神奈川11区 当選12回 元内閣総理大臣

略 歴

1988年 厚生大臣(竹下内閣)

1992年 郵政大臣(宮澤内閣)

1996年 厚生大臣(第二次橋本内閣)

2001年 第87代・88代・89代 内閣総理大臣

(第一次小泉内閣) 平成13年4月26日～平成15年11月19日

(第二次小泉内閣) 平成15年11月19日～平成17年9月21日

(第三次小泉内閣) 平成17年9月21日～平成18年9月26日

講師：衆議院議員 元内閣総理大臣 小泉 純一郎 氏

『日本の進路』



皆さん、こんにちは。

私を紹介していただいた奥佳澄さんとは、歌舞伎を通じての友人です。奥さんの髪型は私のと似ていますが、奥さんの頭は爆発していますというか変わっていますね（笑）。また小沢一彦RI理事（江崎年度地区大会RI会長代理、横須賀RC）は、私の選挙対策委員長で、私が総理などで留守にしても、彼がしっかり選挙区を守ってくれています。そういうご縁で今回、愛知県、名古屋のロータリークラブ大会にやってきました。

私も内閣総理大臣を辞職して二年ほどが経ち、ようやく変人から脱皮して普通人になったようです。縁あって、幾度かロータリーの会合にも参加させていただきましたが、これほど盛大な会は初めてで、多少緊張しています。

私は学生時代、先生などから「人間というのは、公私、相半ばするのが一人前だ」と学びました。そして社会に出て、公私相半ばするというのが、公の部分と自分を向上させる部分、そして同時に時間があつたら

人のために何かできることをすることだと実感しました。

「公私相半ばする人間」、という言葉は今でもいい言葉だなと思っています。そう考えると、ロータリーの会員の皆様は自分の持てる力を、人のために、社会のためにという活動を実際にされている方々です。今日はそのような皆様の前で、日本にとってこれから大事だと思うことについて、内閣総理大臣の経験を踏まえながら、一時間ほどお話をさせていただきたいと思います。

日本の良さを積極的に発信していく

実は昨夜、予定されていた会合が急遽キャンセルになったため、関ヶ原古戦場跡に行ってきました。岐阜県の羽島駅を降りてバスに乗り、4時間ほどかかったでしょうか。天下分け目の関が原の戦いは何度となく本で読んでいたものの、実際に見たのは初めてのこと。これからますます戦国時代の本を読むのが楽しくなりそうです。“百聞は一見にしかず”というのはこういうことを言うのでしょうか。関ヶ原古戦場跡は単に歴史



好きな人のみならず、愛知県、岐阜県また日本の観光名所としてもっと発信してもいいのではと感じました。

現在、外国からの訪問者を増やそうと各地域で力を入れています。私が総理に就任した当時、日本を訪れる外国の方の数は年間で約500万人でした。ところが、フランスのパリでは年間5000万人の外国人が訪れているとのこと。これではいけないと、それから積極的に日本の良さをPRし、その活動によって現段階で2010年には年間1000万人の方が訪れてくれるだろうと予想されています。このように地域を活性化し、日本人もまた日本の良さを改めて知ることによって、国際交流の輪も広がり、世界の中の日本としての活躍も広がるのではないかと考えています。

日本における格差

内閣時代、国会の本会議で民主党の小沢代

表が「日本は世界で最も格差が大きい国になった」と発言しましたが、これは率直に言って、現実を直視していないと思います。アメリカと日本どちらが格差が大きいのですか?初めて黒人の大統領がアメリカに誕生しました。しかし社会保障ひとつ見ても、日本のように介護保険制度もない。そういうことを踏まえて、アメリカの富裕層と日本の貧困層を比べてみてください。どちらが格差が大きいのでしょうか。アメリカの社長・幹部クラスの年収を調べてみたところ、日本の10倍、100倍にも相当するそうです。日本の社長が年間3億、5億もらうだけでも取りすぎといわれますが、アメリカは100億、200億という額なのです。では、日本と中国、どちらが格差があると思いますか?日本とインド、カースト制度のあるインドと日本ではどちらが格差が大きいのでしょうか。これらを見ても、日本が最も格差が大きくなったというのは間違いであります。政治というの

**地区大会** 第2日目

は、現実を直視しないといけません。現にこれから社会保障制度をどのように自立させ、充実させていくかは、どの政党にとっても、政治家にとっても大事なことです。

日本の社会保障対策

名古屋でもホームレスの方を見かけると思います。ホームレスの方が、屋根があって風呂があって食事も3食提供されるところで生活したいと思ったら、全国どここの役所でも対応してくれます。また、希望があれば就職の相談に応じますし、住居も提供します。しかし、日本は自由ですから、どうしても野原で暮らしたいという人を止めることはしない。強制的に役所がすすめる部屋に住まわせることはできない。あるいは職もない、仕事に就けない、生活ができない。そういう方の生活に対しても、整備されているのです。

そして、もう少し進めたいと思っていることは、私が総理時代、刑務所を視察したときのこと。刑務所ではさまざまな職業訓練の場が用意されているのですが、農作業をする刑務所がひとつもないということに気付いたのです。今や都会に住んでいる人でも土地を借りて、野菜などを育てたりと土いじりを楽しんでいる。しかも、その土地を抽選で選ばなくてはならないほど応募数は多いのです。そこで、希望すれば花や野菜を育てたり、ニワトリ、ウシや豚の世話をしたり、一定期間農作業をしながら職を探せる施設が全国に何箇所かあってもいいのではないかと考えています。

現在、刑務所で一定期間、刑を終えれば、後はそれでおしまい。出所した人は自分たちでやりなさいといっても、実際の社会は冷たい。就職したくても、前科がある人を雇いたいという企業は多くありません。今は刑務所に入る人も、刑期を終えて出所する人も高齢者が増えているといわれています。出所してから、就職もできない、住居もないとなると、刑務所に

戻った方がいいと思ってしまう人が実際にはいるんです。高齢者ならなおさらです。刑務所では3食支給されますし、そういう人が多くなっているのが現状なんです。そう考えると、これからはそのような人たちに関して、社会保障が整備されることが大事だと思っています。総理の時代から、これは法務省だけの問題、警察庁の問題、厚生労働省の問題だけじゃない。ホームレスの方、刑期を終えた方も含め全体で、役所で一定の相談体制ができるようにしたい。ようやくこの体制を進めていこうという準備が今なされているところですよ。

これらによって日本の社会保障対策は、世界でも誇るべきものになっていくと思います。能力のある人を妬んだり、足を引っ張ったりしても、その人が能力を失うわけではありません。ですから、人に頼らなくても、あるいは区役所から面倒を見てもらわなくても、自分でやっていけるという人が増えることを願っています。そういう人が多いほど、自分の力だけではどうしても生活できない人に支援の手を差し伸べることができると思っています。決して農作業が簡単だと言っているわけではありません。太陽の光を浴びて、土をいじって、野菜を育てる、動物の世話をする。そういうことから精神的に豊かになっていく。このような施設が全国各地にあれば、「俺は生涯孤独ではない」という気持ちになってもらえると思うのです。

日本が世界を先導する

世界が今最も大きな関心を持っていることについて、日本が先導的な主導的な役目を果たすことができる分野は、環境保護と経済発展の両立だと思います。地球温暖化防止について、国際社会で積極的なことになること。日本は環境保護と経済発展についてどういことをやっていくかというのを世界にも見習ってもらおう。

私は1972年に初当選し、その翌年に中東戦争が

起こりました。今でも鮮烈に覚えています。イスラエルとアラブの中東戦争は、日本に大変な混乱を引き起こしました。1973年あたりから、1バレルあたり2ドル前後だった原油の値段が、10ドル前後に跳ね上がりました。それまでは石炭よりも安い石油に頼っていましたが、中東戦争によって高騰し、いわば狂乱。さらには買い占め、売り惜しみなどが出てきました。当時の国会の議論で大きな話題となったのが、売り惜しみ防止法案、買い占め防止法案です。今から考えると、油の値段が5倍近く上がって、どうしてトイレトペーパーや洗剤が買い占められるのか。当時はそういう供給能力が不足していました。当時は今のようなデフレ時代とは違って、物価は5%、6%、7%と上がるのが当たり前。当時の政府はいかに物価を抑えるか、インフレを抑えるかというのが大きな話題でした。私は原因が政治家にいる間、物価が下がる時代、デフレの時代が来るなんて想像できませんでした。物価というのは、年とともに上がるものそういう時代でした。

当時、外国の著名な学者が「ジャパン・アズ・ナンバーワン」という本を書き、ベストセラーとなるほど、高度成長が続き、日本は自信を持っていた。そういう時代で一気に石油の値段が上がり、不況へ。この石油危機は日本が一番打撃を受けているだろうと、日本国民も世界各国も思っていました。そして昭和51年、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアの6カ国が、この石油危機にどう対応すべきかについて、パリのランブイエで話し合ったのが最初のサミットでした。

石油危機の経験を生かして

かつての二度の石油危機を克服し、当初は日本が一番打撃を受けたけれども石油危機を最も巧みに克服したというに評価が出ています。当時なぜ狂乱が起こったか、これを反省し日本は3つの策を立てました。混乱の最大の原因は、金さえあれば買えると

いう考えから備蓄をしてなかったこと。石油に代わるエネルギーへの転換について、石油が安かったために太陽光、風力などの代替エネルギーの開発をコスト面の問題から進めていなかったこと。さらに資源は有限であるとし、効率的に使う、いわば省エネ技術に対しても熱心でなかったことが挙げられます。この石油危機は、これで終わりとは限りません。今後起きる可能性は十分あります。その時のために、二度の石油危機以来、備蓄体制に加え、代替エネルギー開発、省エネ技術を積極的に進めているのです。現について最近まで、原油の値段が1バレル20ドル前後から100ドルを超え、昭和49年代と同じ約5倍に跳ね上がりましたが、当時のような混乱は起きていません。それはあの教訓が生きているからなんです。

日本のクルマはアメリカよりも高いですが、日本車の方が燃費が良い。しかも環境にやさしい。このような評価が定着しています。これもかなりの学習効果が





地区大会 第2日目

出てきていると思います。これからの日本で大事なことは、世界で最も進んだ「脱石油社会」にしていこうこと。石油依存度をできるだけ下げていくことによって、最も石油に頼っている日本が、石油依存を下げることでもっと経済的に強くなる。環境保護の分野においても、世界で主導的な役割を持つことができると思います。

昭和48年頃、日本のエネルギー分野の石油依存は70%を超えています。それが今は40%にまで落ちています。自動車にしても、いかに石油に依存しないかで鎬を削っています。来年には日本でもアメリカでも、一般家庭で電気と石油の両方を使える車をどちらが早く実用化するか競争しています。家庭で電源を差し込み充電するだけで、100キロ以上も走ることができる。そして石油も両方使える車の開発も大変努力しているのです。

そのほか、日本には資源がないと言われますが、最近のリサイクル技術が非常にすぐれています。今やミネラルウォーターを誰でも飲む時代。おそらく皆さんもペットボトルの水を飲む機会が多いのではないのでしょうか。水が豊富な国である日本でも、多くの人がペットボトルを購入しているのです。しかも、このミネラルウォーターはガソリンよりも高い。それを平気で買っているのです。

最近、開発が進められているのは、携帯電話、家電、洗濯機、テレビなど、さまざまな工業製品を分解し、中の部品からさまざまなものを抽出する技術です。確かに外国から輸入すべき資源は多いけれども、私たちが使っている電気製品、工業製品を分解して、中から金なり希少金属を抽出する技術が確立されれば、日本は資源大国になりうる。民間の企業が進めていますよ。

私はサミットの会議でも地球温暖化防止について幾度となく発言してきました。日本がかつて高度成長のときに、環境への投資をすれば、製品が高くなってそんなものは売れない。環境都市などをやっている余裕はないという風潮であったために、水俣病とか

ぜんそくなど大変な被害が出た。日本の経済成長という成功パターンは学んでもいいけど、負の公害の部分は起こさないように見習ってほしいということを皆さんに知ってほしいのです。そしてかつての大量生産、大量消費、大量破棄をなくして、できるだけゴミを減らしていく。そして、ゴミを再利用、再使用していく。循環可能な製品を捨てない。リデュース（減らす）、リユース（再使用）、リサイクル（再利用）を世界に提唱していくわけであります。これは日本のみならず、世界各国で大事な課題になってくると思います。

環境と食の密接な関係

環境は、日本が今後活躍できる分野であると同時に食とも密接に結びついています。土壌を汚染されたら、良い食物は生まれません。“健康に勝る財産はない”と昔から言いますが、健康の基本は「医食同源」。医者も薬も大事ですが、基本は暴飲暴食をせず、バランスの良い食事を摂ること。現代では、親子と一緒に食事をしないことも増えているそうです。子どもは食べ方を知らず、何が健康にいいのかも分からない。それではいけないと、食に対する教育、つまり食育を推進しています。医食同源はこれからも変わることはありません。今でこそ偽装食品などさまざまな食の法律違反が外国だけでなく、日本でも出ています。そういう中でも日本の食は安全、信頼できると評価は高い。これは今後もぜひ生かしていくべきだと思います。

医食同源について、明治時代に森鷗外と慈恵医科大学病院の創設者、高木兼寛のおもしろい論争があります。作家として有名な森鷗外ですが同時に陸軍の軍医でした。一方、高木兼寛は権威のある医者。明治時代、陸軍兵士で脚気になる患者が実に多く、森鷗外はその原因が細菌による感染症との説を主張しました。対して高木兼寛は、イギリス海軍兵士に脚気患者がいなかったために原因は食物ではない



かと考え、両者で大変な論争が行われたのです。高木兼寛は海軍であり、イギリス海軍兵士が食べている物を考えると、肉も野菜もパンも与えられている。しかし、陸軍はお米が主食。陸軍と海軍兵士の食事が全く違ったために栄養素の欠乏が原因ではないかと主張し、イギリス海軍兵士の食事を日本の海軍兵士に与えて実験を行ったのです。結果、食物によって脚気患者は大幅に減りました。しかし、バランスの良い食事をすれば脚気にはならないと分かったのは、両者が亡くなってから。結果的に高木兼寛の勝利ですが、当時は海軍よりも陸軍の方が地位が上であり、正確な理論よりも権威の影響が大きかったようです。いずれにしても、「食」がいかに大切かお分かりいただけたでしょうか。

私はFTA（自由貿易協定）が大事だと総理時代もよく言ってきましたが、メキシコとの協議で問題になったのは、メキシコは何としても日本にもっと安い果

物を輸出したい。しかし、日本は工業製品をもっと輸出したいとお互いに折り合いがつかなかった。結局、メキシコのマンゴーを輸入することにしました。当時、こんなに安いマンゴーを売られては宮崎も沖縄も大変だと言われましたが、国産のものは高くても売れるんです。リンゴも同じ。しかも、北京では青森リンゴが1個2000円で売れ、上海では日本のイチゴが1粒300円で売られている。高いリンゴをつくっている社長と先日話したのですが、日本でリンゴが売れないためイギリスへ輸出したが、日本人の好みに合わせたリンゴはあまり売れなかった。ところが偶然、台湾と中国の人が日本のリンゴを食べて、美味しさに感動し、中国産のリンゴよりも10倍も20倍も高い日本のリンゴを買う人が増えてきて、売れるようになったと。今は日本の牛肉も、“ワギユウ”で通じますよ。ブランドというのは恐ろしいですね。

地区大会 第2日目

ピンチをチャンスに変える

日本は工業製品だけでなく、農産物にしても輸出を考える必要があります。環境を大事にし、資源がないのを悲観する必要はありません。ピンチはチャンスだと思います。戦後何もなかった時代に、誰がアメリカ人が日本車を買うと思ったでしょうか。あの戦後の貧しいときに研究をしていたからこそ、いまや本場よりも日本のクルマが高い評価を得ているのです。

また寿司もそうです。欧米人は生の魚は食べない、パン食だからお米は食べないと思いがちですが、今ではニューヨークでもパリでもブラジルでも世界中で「スシ」が食べられている。しかも、今でこそペットボトルのお茶が売り出されましたが、日本はお茶がタダで飲めるのです。しかし、今はタダで飲めるお茶ではなく、お金を出してコーヒーを飲んでいる。あの努力を日本人は見習うべきだと思います。また、焼酎、ウイスキーともに蒸留酒なのに、ウイスキーの関税は高くして日本に入れない。当時、鹿児島や宮崎の焼酎業界は大爆発しました。もし、ウイスキーが税率を下げられたら、ウイスキーがどっと入ってきてしまう。スコットランドでのウイスキー正式大会でサントリーとニッカは1位、2位をとっています。総理時代に、ドイツの首相を鉄板焼に誘いました。ドイツだから白ワインがいいだろうと用意していました。首相は白ワインを一杯のんで、小声で『焼酎はないか?』と聞くのです。またフランスの首相と食事をした時も、フランスだからボルドーワインだろうということでやはり用意していました。首相はワインを少し飲んでまた小声で言うのです。『熱燗はないか?』。焼酎にしろ、日本酒にしろ良いものであれば、日本人も外国人も買う。そういう時代なのです。そういう想いを忘れてはいけません。あらゆるピンチはあらゆるチャンスなのです。

今までは学校の成績が良い人は一流だ。成績がよければ全て良いと言われてきましたが、決してそう

じゃありません。さまざまな持ち味をどういかしていくかが大事なのです。隠された能力について、アメリカ野球のスコアラーが言っていました。「一流だったら3割打てば十分」分子が一年間のヒットの数、分母が打席数。それで3割というわけです。野球の天才といわれる人は10本のうち、3本打てば一流だ。これがプロ野球の打者の能力を評価する一番の指針だったのを、スコアラーに基づいて、分子を一年間のヒットの数とプラス、フォアボールの数、プラス盗塁の数と変えるわけです。これだと、打つのもいいし、選球もいいし、足も速いというわけです。今までと違った基準です。評価はひとつじゃないのです。一人ひとり得手不得手があるのは当然。ひとつ良いことを見つけて、活躍の場を与える。人生いろいろですが、才能もいろいろ。だからこそ、できるだけ多くの皆さんに活躍してもらえる社会をつくりたいものです。





片山主水ガバナーから小泉純一郎元総理へ「お礼の言葉」

「日本の進路」について、お話を聞かせていただきました。ロータリーも今、大きな転換点にさしかかっています。どの方向へ進路を向けるか、持続可能な前進とは、ということを話題にしています。

① いいものはいい、というお話から、ロータリーの職業奉仕という考え方を思い浮かべました。最善、最良品質の奉仕をすれば、その職業は繁盛します。倫理水準を維持してサービスを提供していこうというロー

タリーにとってまたとないお話を伺いました。

② 本大会でロータリアンに、人間性を向上させていただきたいと話しました。総理のお話に似ていて、心強く感じました。

③ そして、違った観点、基準でものを見るということもお話しになりました。多様性に対応していこうというロータリーの進路を説いていただきました。

ありがとうございました。



地区大会

地区大会を終えて 地区大会実行委員長 中込 清周



渾身の力で燃えつくす紅葉に染められた名古屋城を正面に仰ぎ見るウエスティンナゴヤキャッスルを会場に11月15日、16日、2776名のご参加を頂き第2760地区大会は、片山ガバナーの点鐘で開幕しました。安堵感とこれから始まる2日間の不安と緊張で身が震える思いでした。

R.I 会長代理佐左部貢様から伝えられた R.I メッセージ、片山ガバナーの今年度の地区方針「持続可能な前進」と3項目からなるサブテーマ、具体的に示された4つの重点事項は十分に伝わり認識が深められ今後のクラブ活動の大きな活力となると思いました。R.I 会長を囲む昼食会に片山ガバナーは高齢者をご招待したいと強く望まれ「ロータリー愛知81」にちなんで81才以上の会員に声を掛け56名のご参加を頂き、ねぎらいと親睦を深め、先輩会員を思い遣る温かい心にふれた感動のひと時でした。

ロータリーミーティングは佐藤千壽様の原稿で土屋亮平様によって講演して頂きました。多くのロータリア

ンから感銘を受けたと声を掛けられ講演原稿の請求依頼を受けております。佐藤千壽様の講演はすでに2年前から片山ガバナーの強い思いで進められておりました。大会直前の10月23日フランクフルトでお亡くなりになったと訃報を受けた時はどうしても信じられず、打ち合わせにお伺いした時の元気な姿が目に残り続けられた大先輩の急なご逝去に心が痛みますが今は只ご冥福をお祈り申し上げる次第です。

愛知県立芸術大生の熱演、ガバナーエレクト大澤輝秀様の命懸けのご決意を感じるご挨拶や片山ガバナーから江崎パストガバナーに感謝を込めた記念品の贈呈式等ロータリアンの友情を感じ心を熱くしたシーンでした。

大会決議案は全て原案通り決議され、2日目最後に予定しておりました小泉純一郎様の記念講演は関心度が高く地区大会を大きく盛り上げる一助であったように思いました。

片山ガバナーが画かれた地区大会が目的を果たし、思いを充分に実現できたであろうかと自問する時、反省点は多さんありますがこれからの問題として受け止めて頂ければ幸いです。

名古屋名東ロータリークラブが心をひとつにして協力した力はとても大きく、ガバナー事務局、宮崎地区幹事をはじめ多くの方々、地区81クラブ5026名の心温かいご支援で無事大会を終了することができました。心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。



名古屋名東RC大会実行委員会打ち合わせ風景



大会事務局



スタッフの皆さま



左から松永辰男 名古屋名東RC会長、宮崎薫 地区幹事(名古屋東南RC)、中込清周 大会実行委員長(名古屋名東RC)



片山主水ガバナー夫人、津川聖子 大会副実行委員長(名古屋名東RC)



津川聖子 大会副実行委員長(名古屋名東RC)



会場委員会 真野幸明(名古屋名東RC)



地区スタッフ 尾本和弘(名古屋東南RC)



ガバナー事務所 川口小百合(左)、名古屋名東RC事務所 神戸佐代子(右)



地区スタッフ 江口博寿(名古屋南RC)



出席・登録委員会 中村公彦(名古屋名東RC)

地区副幹事メッセージ

地区副幹事 名古屋東南RC 水野 恒平

健康第一

2008～2009年度片山ガバナーの下、地区副幹事を担当させていただきます水野恒平でございます。地区副幹事として福岡輝夫ガバナー補佐率いる西三河中分区、委員会としては、ロータリー財団委員会、年次寄付委員会、恒久基金委員会、ポリオプラス委員会、補助金委員会、財団奨学委員会、研究グループ交換委員会（GSE委員会）、ロータリー世界平和フェローシップを担当させていただいております。西三河中分区に於きましては、福岡輝夫ガバナー補佐に同行して6クラブ訪問させていただきましたが、昨年度クラブ幹事を経験した自分にとって、組織（CLP）運営、定款細則、予算の作成、など大変勉強させ

ていただきました。また委員会におきましても、ロータリー財団についてロータリー運動の原点がそこにあり、もっと理解しなければならぬと課題が残っております。

そんな私ですが、9月22日から内臓疾患で某市大病院に入院し10月21日に手術の運びとなっております。手術を三日後に控え、地区報（奉仕の理想）で地区副幹事メッセージを皆さんが笑って読めますよう、無事生還してまいりたいと思います。その間、ロータリーの関係各位におかれましてはご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご了承お願い申し上げます。



手前左から、矢内三夫さん（元名古屋東南RC・元名古屋名南RC）、林隆二（名古屋名南RC）夫人。奥左から、片山主水ガバナー、水野恒平

メッセージ

水野恒平様

この前貴殿の顔を見て、元気そうなので安心しました。お腹のチューブはもう抜けたと思います。またこの地区報12月号が出る頃は退院しているかもね。早く元気になって、少し休んでそして早くロータリークラブへ戻って来てください。地区大会も無事終わり、今地区報の編集に大忙しです。会える日を楽しみにしています。

地区報担当 地区副幹事 下郷卓弥

ガバナー補佐メッセージ



南尾張分区 ガバナー補佐

むら かみ しげ と
村上 茂登 (知多RC)

ガバナー補佐の仕事のひとつに、ガバナー公式訪問の前にガバナー補佐が訪問し、その報告書をガバナーに提出することが決められております。

8月7日半田ロータリークラブを皮切りに、9月30日半田南ロータリークラブ訪問で、分区内7クラブの補佐訪問も無事に終了する事が出来ました。

会長・幹事懇親会、卓話、クラブ協議会では、各事業計画について色々質問させていただきました。にもかかわらず、大変懇切丁寧にお答えいただき、一応クラブ協議会としての型は出来たかと思えます。

ご協力いただきました各委員長さんには、改めて感謝しております。

ロータリークラブもそれぞれ歴史も地域性もあり、奉仕活動もプログラムもあらゆる点で工夫されて行っておられ、特色もあり大変感動しました。

このクラブ訪問を通じ、ロータリーに関する考え方も色々であると勉強させられました。

9月15日には、7クラブ親睦ゴルフコンペが行われた。ホストの東海ロータリークラブさんにはご苦勞様でした。

10月3日には、第2回会長・幹事会を開催しました。

最後に、温かく迎えていただきました会長・幹事さんをはじめ、会員の皆様方に感謝申し上げます。又ご同行いただきました成瀬地区副幹事さん、財津分区幹事さんに心よりお礼申し上げます。



東尾張分区 ガバナー補佐

あん どう こう じ
安藤 公爾 (尾張旭RC)

ガバナー補佐訪問も後半を迎え平成20年9月16日から同年10月14日まで6クラブを訪問した。

1. 瀬戸北RCは、本年創立30周年を迎え、クラブテーマを「30周年を成功させよう!!未来への新たな一歩のために・・・」とし、30周年事業を中心に活動していた。10月26日に創立30周年記念式典が名古屋観光ホテルで開催され、これまでにロータリー財団と米山奨学会へ多額の寄付がなされていたことは特筆に値するものであった。祝賀会では08～09

年に製作された瀬戸北RCの歌「心をひとつに」が披露された。

2. 尾張旭RCは、CLPを採用した組織作りがなされていた。現在の会員数は29名であるが過去最大の会員数は70名であり、会員増強を本年度の重点事業の1つと位置づけ活動をしていた。

3. 愛知長久手RCは、正会員22名、名誉会員1名のクラブで、組織図が無く、必ずしもCLPを採用していたとは言えない組織構成となっている。関連する委員会の統廃合をすることにより効率のよい運営が

ガバナー補佐メッセージ

なされることが望まれる。現会長を中心にロータリーを理解する機会を設け活動されていた。

4. 犬山RCは、創立48年を迎える。その間、クラブ例会出席率は、毎回100%を続けている。今年度は「環境問題」に焦点を当て、事業活動を展開している。犬山市と扶桑町内の小中学校から「こどもエコ壁新聞」の募集をし、同市町内の7施設で巡回展示が始まっている。クラブ独自に「ロータリー要覧」を作成、会員及び入会予定者などに対する便益が図られていた。
5. 江南RCは、本年度、会員増強を最重要課題とし、ビジター招待例会を設け会員増強に取り組み、例会を楽しく有意義なものとし、クラブの活動や行事に積極的に参加することを会員に求め、クラブ運営がなされていた。環境問題については、木曽川流域クラブと共同で環境保全活動に協力・実施するとのことであった。
6. 岩倉RCは、本年度になり2名が入会し会員数21名となった。現在、CLPは採用していないが、今後、25名以上の会員数となった時にはCLPの導入を考えるとのこと。
7. 岩倉RC創立30周年記念講演会

9月6日(土) 岩倉市総合体育文化センターに於いて、演題「日本のこれから 日本人のこれから」、講師藤原正彦氏(お茶の水女子大学教授、理学博士)により、子育て、規制緩和の問題点等について講演があった。

8. 春日井RC40周年記念講演

10月4日(土) 春日井市民会館に於いて第一部春日井市交響楽団演奏会、第二部記念講演会「誰でもリーダーになれる」講師平尾誠二氏の構成で盛大に開催された。



西名古屋分区 ガバナー補佐

こん どう ゆう すけ
近藤 雄亮 (名古屋瑞穂RC)

8月・9月に行いましたガバナー補佐訪問を無事終えることができました。どのクラブも例会前に行いました「会長・幹事懇談会」において、ざっくばらんな話し合いをすることができ、緊張がほぐれるとともに各クラブのCLP、特にクラブ運営に対する考え方をよく理解することができました。また30分頂いた私の卓話ではRI会長およびテーマについて、また片山ガバナーの地区方針について私なりの表現でお話をさせて頂きましたが、皆さん熱心に耳を傾けて頂き大変嬉しく思いました。

西名古屋分区における私の新発見は、12RC中7RCがクラブソングを持っているということです。皆さん誇りをもって歌っている様子が窺われました。

次に周年記念ですが、名古屋東RCの50周年記念式典と名古屋大須RCの25周年記念行事に出席させて頂きました。名古屋大須RCの記念行事は大須観音境内で新能を行いました。社会奉仕・国際奉仕事業として、小学生を含めた地域の人達や、米山奨学生を含めた外国の人達に参加をしてもらい、能という日本の伝統文化を紹介し、大変良かったと思えました。

10月19日、江南ローターアクトクラブホストの第19回アクトーズミーティングに参加しました。ロータリアン73名、アクトー81名の会議で元気な若者達とふれ合う事ができ、楽しい一日を過ごすことができました。



ポリオプラス委員会



ポリオプラス委員会委員長

なり た こう た ろ う

成田 幸太郎

西尾張分区 稲沢RC

昨年度ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団よりポリオ撲滅のための1億ドルの補助金に対し、ロータリーが同額の補助金を寄付することとなりました。

RIよりは各クラブ、毎年1000ドルを3年間続けての

寄付の要請がありましたが、当地区では公平さを考慮し、全会員に1年に1,000円を3年間に亘りご寄付をお願いすることとなりました。それによって合計243,000ドルを搬出することとなりました。クラブと地区の搬出率はおおよそ6:4となります。1日1000人年間35万人を苦しめ続けたポリオを、あと4カ国のみの発生までにしたポリオ撲滅キャンペーンを、今後もRIは最優先事業としWHO、ユニセフ、アメリカ疾病対策センター（CCD）と共に民間団体として最大の協力を惜しまずポリオ撲滅に向って活動しております。今後もポリオプラス委員会は地区の全会員にご理解を頂くようPR活動を推進していく所存です。

地区補助金委員会



地区補助金委員会委員長

たか やま みつ お

高山 光雄

東尾張分区 名古屋空港RC

地区補助金は、2003年～2004年度からロータリー財団に設けられた新しい制度です。当地区には、毎年約5万ドルが配分されますが、それは我々の年次寄付金（1人100ドル）の10パーセントですので、各クラブ年次寄付金が、1人100ドルに達するようにしましょう。

6年目を迎え各分区各クラブに相当浸透してきました。

補助金の対象となるプロジェクトは、地域ニーズを把握し地域振興や恵まれない人々に役立ち、ロータリークラブ及びロータリアンが積極的に且つ主体的に関わっている人道的事業です。単なる寄付や飲食費は対象となりません。今年度は22のクラブが奉仕プロジェクトを実施します。

特に三河の3分区が頑張りました。

プロジェクトとしては、
各種施設の子供たちとのふれ合い
環境問題、外国人の子供達との交流
植樹、都市部と山間部との農業交流
外国人支援等です

事業資金の半分が地区から支給されます。



記念式典

名古屋大須RC 創立25周年

西名古屋分区

●名古屋大須RC

「大須観音薪能」

広報委員長 杉本 英夫

名古屋大須ロータリークラブは創立25周年記念事業として「大須観音薪能」を開催しました。



大須観音寶生院 開場設営風景

平成20年10月4日(土)夕刻より、大須観音境内に特設会場を設営し薪能を開催しました。ロータリークラブが支援する青少年交換学生や奨学生、地元の大須小学校の生徒などを招待し、又外国人が大勢行き交うこの大須の地での、日本古来の芸能である狂言と能の鑑賞会です。

名古屋大須ロータリークラブ会長小澤幸男からの開催の挨拶、当クラブ会員でパストガバナーの岡部快圓大須観音宝生院貫主の挨拶につづき、近藤雄亮ガバナー補佐からのご祝辞をいただきました。岡部貫主による火



貫主 岡部快圓パストガバナー 挨拶

入れ式が行われると篝火が赤々と映え、大須観音本殿を背景とした雄大かつ神秘的な幽玄の世界へと入って行きます。

和泉流狂言「附子(ぶす)」そして観世流能「羽衣」が演じられました。「羽衣」は三保の松原の天女のお話です。学校狂言の代表作「附子」と合わせて、来賓、ゲストを含め700名を超える来場者が狂言と幽玄な能の舞台を堪能しました。

名古屋大須ロータリークラブは、大須地区を中心に奉仕活動を行って来ました。創立20周年の時には「大須観音鬼の嫁取り物語」と題して、大須観音の寺宝である「鬼面」に「女面」の嫁取りを行ない、嫁取り道中として大須地区を練り歩きました。今回の能舞台『羽衣』での天女の面は、その時にクラブより寄贈した「女面」で演じていただき、5年ぶりのお披露目と成りました。

最後に吉田隆彦実行委員長より25周年記念事業「大須観音薪能」が天気にも恵まれ、大成功の内に終えることができたことへのお礼と、今後共大須地区の発展を祈念した挨拶で閉会となりました。

大きな爽快感、達成感の中、楽しい時間を共有し、会員一同、次の創立30周年へ向けての更なる飛躍と活動を誓い合いました。



薪能 観世流「羽衣」彩色之伝

名古屋東RC 創立50周年

東名古屋分区

●名古屋東RC

名古屋東ロータリークラブ
創立50周年記念式典報告

本多 満

2008年10月6日(月)ウェスティンナゴヤキャッスルにて記念式典、祝宴が開催されました。昭和34年(1959年)6月30日、名古屋ロータリークラブをスポンサーに2760地区18番目のロータリークラブとして誕生しました。今日まで50年間、社会奉仕等さまざまな奉仕活動をロータリークラブとして行ってきました。

50周年記念事業としてのコンセプト『過去に感謝、現在に喜び、未来に夢』をかねて2009年6月までに会員数100名を目指し、それまでの1年間を50周年記念イヤーとし様々な行事を計画し、式典を最初の行事としてスタートしました。

当日の式典は、来賓として神田愛知県知事、松原名古屋市長、ロータリー関係者は、片山ガバナーを初めとして、パストガバナー、地区役員、名古屋市内22ロータリークラブ会長、幹事、物故会員ご夫人、移籍会員の皆様を迎え開催しました。

梅村実行委員長、宇佐美会長挨拶の後、記念事業が発表されました。2010年に生物多様性終結国会議が名古屋で行われる事にちなみ、愛知県には都市緑化基金に寄付、名古屋市には東山の森(里山再生事業)に日時計、及び名古屋城本丸御殿積立基金に寄付、米山記念奨学会へは特別寄付を行いました。

RI会長特別表彰としてクラブに50年国際ロータリー会員栄誉賞、また5名のチャーターメンバー古川博三郎君、古川善次郎君、伊藤寛君、西川一男君、尾関重雄君に50年在籍会員賞が片山ガバナーより授与されました。

そのあと神田知事、松原市長、片山ガバナーより祝辞を頂きました。

祝宴のオープニングは三河万歳で始まり、宇佐美会長の挨拶、盛田パストガバナーの乾杯の音頭のあとK-WESTの音楽演奏で50年の歴史を振り返る思い出の曲にて楽しい祝宴の一時を楽しみました。



宇佐美嘉重弼会長 挨拶



創立会員表彰 左から、尾関重雄、古川博三郎、古川善次郎、西川一男、(枠内)伊藤寛



清水恭一記念事業担当委員長 記念事業発表

記念式典

碧南RC 創立50周年

西三河分区

●碧南RC

碧南ロータリークラブ
創立50周年を迎えて

50周年誌委員会 井上 達

平成20年9月27日(土)午後2時から衣浦グランドホテルで碧南ロータリークラブ創立五十周年式典並びに祝宴が開催された。

碧南ロータリークラブがRIによって承認されたのは昭和34年4月8日のことで、承認ということを用いるなら4月8日が正式になるのであるが、今回敢えて9月27日に式典の日として決定されたのは、碧南ロータリークラブのRIからの認証状(チャーター)がガバナーから伝達されて、周囲のクラブも招待して正式に披露する認証状伝達式(チャーターナイト)を昭和34年9月27日に予定していたところ、あの伊勢湾台風の為に何もかも目茶苦茶になり、認証状だけは辛うじて伝達されたものの、まともな形の認証状伝達式を行うことが出来なかったという経緯があったからである。

認証状伝達式はそのクラブで一回しか行われぬ式典であるので、永年それが残念に思われて来た。その認証状伝達式の準備に苦労しながらうまく挙行出来なかった無念を知るチャーターメンバーも少なくなられた。

創立50年を迎える年度の9月27日に式典が計画されたのは、その時の残念さを払い除け、その後の会員には改めて認証状というものの意義を考えて貰いたいという意味があった。ロータリークラブにおいて認証状伝達式というものは、そのクラブにとってきわめて重要視されている事業だということは案外に知られていない。

一年半前の平成19年3月に第一回の準備委員会が開催された。新美孝実行委員長、長田徳雄・森田英治両副実行委員長、杉浦健次幹事、岡田越勇・鈴木敏弘両副幹事が決定されて、その下に各担当委員長並びに副委員長・委員が置かれた。全会員が何らかの役割を担当した。平岩慶一初代会長・名誉会員と山中寛三チャーターメンバーとが顧問として万事の相談に与られた。20回にわたる準備委員会が開催されて、諸事にわたって活発に検討された。

当日は幸い好天に恵まれて、片山主水ガバナー、瀬田政信市長を始めとする多数のご来賓の臨席を得た。

この日を迎えるにあたって、準備委員会の冒頭に新美孝委員長が宣言された「式典は厳粛に、祝宴は盛大に華やかに」のモットーを全会員がよく体されて、式典と祝宴を無事に挙行出来たことは全会員の喜びとしているところである。



平岩統一郎 碧南RC会長 挨拶



分区のページ

西尾張分区

●一宮北RC

「一宮モーニング博覧会」と名利 妙興寺

幹事 大河合 圭一

★「一宮モーニング」の起源はガチャマン景気に沸いた昭和30年代前半。繊維業を営む、いわゆる「はたやさん」は昼夜を問わず頻繁に喫茶店を訪れていました。そこで人の良いマスターが朝のサービスとしてトーストやゆで卵をコーヒーにつけたのがはじまりです。半世紀経った今でも日曜日の朝には家族揃って喫茶店へモーニングを食べに行ったりする光景が多く見られます。(一宮商工会議所青年部主催開催当日配布された「一宮モーニングMAP」リーフレットより一部抜粋転記)

喫茶店の祭典「一宮モーニング博覧会」は今年で2回目となります(2008年10月26日開催)。一宮北・一宮・尾西・一宮中央RCが提唱している修文女子高等学校インターアクトクラブもボランティアとして参加しています。

★妙興寺は、臨済宗妙心寺派の名利。境内地は県指定史跡であり、重要文化財・古文書が多く、勅使門は国指定の重要文化財です。当RCは、こちらで8月に持ち出し例会を行い、大変お世話になりました。



妙興寺での例会風景

西名古屋分区



●名古屋大須RC

「我がクラブのDNA」

社会奉仕委員長 横井 衛

私ども名古屋大須ロータリークラブは、つい先日創立25周年の記念事業を終えたばかりの比較的新しいクラブです。しかしながら諸事業に対して、いち早く

素直に取り組むという貴重なDNAを持っているのではないかと考えております。

これは自分勝手に分析をいたしますとメンバーの皆さんの真摯にロータリーを考える真面目な心と、チームを組んで何かを成し遂げた時の達成感を皆で楽しむ気持ちがあるそんなクラブの雰囲気を作り出しているのではないかと考えられるのです。そんな例をいくつかご紹介申しあげますと、

1. 2002年～03年度のガバナーの輩出
2. 地区の「意義ある業績賞」の複数回受賞



分区分のページ

3. CLPを最初に導入したクラブ

4. 青少年交換学生の実績

等々があります。

さて、先程の「我がクラブのDNA」は一体どうして生まれたのだろうか、と考えた時に思い当たるのは、理解ある先輩格ロータリアンが後輩ロータリアンの意見を尊重し、その上でアドバイスすることで、お互いを認め合いながら一つ一つの事業をまとめ上げていく、そして

その結果を素直に反省し、次の事業に生かしていくことがサイクルとして定着してくる。これなんじゃないでしょうか。

ここまでの文章は、ただひたすら我がクラブの良いことだけを述べてしまいましたが、未だ足らざるころは多岐にわたっています。皆々様に今後ともアドバイスをお願い申し上げます。



「分かちあいの心と、安心・安全な町づくり」をテーマに大須商店街をパレードいたしました。(2008年1月)



「日本の伝統話芸を楽しむ会」、大須演芸場、(社)落語芸術協会の協力を得て市立大須小学校の児童に寄席の楽しさを味わってもらいました。(2009年9月)

西名古屋分区分



●名古屋栄RC

「ランの館と栄ロータリー」

広報委員長 上坂 寛

わが栄RCが活動拠点とする中区は明治41年に誕生し、今年度区政100周年を迎える歴史ある地域である。また、名古屋市内でもっとも中心に位置し、商業ゾーンとして昼夜問わず栄え、愛知県でもっとも都会的な場所といえる。そんな都会のオアシスとして、当RCもゆかりがある「ランの館」をご紹介します。

ランの館は、平成10年5月に、ラン生産日本一の愛

知県を背景に一年を通じてランを中心とした草花で彩り、おしゃれ感覚にあふれた、ゆっくりと花を楽しめる施設としてオープン。欧州のある国のラン好きの外交官アジョナ・オーキド氏の邸宅で、ランが盛んな愛知県の中心・名古屋に屋敷を構えたという想定で作られている。「夢」「楽しさ」「ロマンティック」をキーワードに、アンティークなヨーロッパ風の邸宅を、ランの宝庫である東南アジア諸国の文化で染め上げたミニテーマパークである。1.6haを誇る館内には、洋ランを中心に、年間約250種、2万株のランをガーデン風にディスプレイしたアトリウム（大展示室）をはじめ、噴水や池をあしらった大小さまざまな庭園が広がり、ゆったりと時間が流れる様は、まさに都心にいるのを忘れてしまいそうである。また、同施設の池の南側に、豊かな緑と調和する1体のブロンズ像がある。これは、当栄RCが平成12年4月に栄RC創立10周年記念事業の一環として、



画面一番手前が「ランの館」

ロータリーの目的である奉仕の精神を具体的に市民の方々に伝えたいとの目的で、テリトリー内

でもっとも名古屋市民に愛されている同施設に寄贈したものである。愛知県の彫刻家亀谷政代司氏作「草上の詩」。古代ハーブを弾き語る2女性の姿は、優雅で、そしてまた時の流れを止め、遙か星座の世界に引き込まれるかのようなようである。まさに、同施設の静寂さ、優雅さ、そしてランの香りあふれる空間に溶け込んでいる。栄RCにとっても誇れる作品といえる。さて、手前味噌はこれくらいにして、ランの館では、常設だ



亀谷政代司氏作「草上の詩」



分区のページ

けでなく、四季折々のイベントも随時開催され、常に訪れる人たちを楽しませている。まだ一度も来られていない方も、そうでない方も、お近くにお立ち寄りの際は、是非お立ち寄りを。池の散策もお忘れなく。そして、こちらで優雅なひとときの後には、わが栄RCの夜間例会（毎週月曜 18:00～19:00 於）名古屋クレストンホテル9F（名古屋パルク西館）へ是非どうぞ。美味しい夕食と共に、親睦を深め合いましょう！ 栄RC会員一同お待ちしております。



「ランの館」

話題の会員

各クラブから、名物会員、長寿会員、褒賞・米寿・各種表彰会員等のご紹介

◆名古屋和合RC(東名古屋分区)

ゴルフクラブチャンピオン



安井 信之

安井 信之(やすい のぶゆき)

1989年1月25日 入会
1994～95年度 会長
2000～01年度 地区大会実行委員長
(株) ジイ・アンド・ジイ 代表取締役
職業分類：経営コンサルタント



榎野 智之

榎野 智之(まきの さとし)

2005年10月19日 入会
マキノチェーン(株) 代表取締役
職業分類：不動産賃貸業



夏目 稔

夏目 稔(なつめ みのもる)

1976年9月9日 入会
1999～2000年度 幹事
2003～03年度 副会長
2006～07年度 創立35周年
実行委員会副委員長
(株) レッツ 代表取締役
職業分類：スポーツジム

当クラブには、実に多士済々、多芸多才の人達が揃っています。

その一つゴルフについては、嘗てはハンディが0から9までシングルハンディの方が一気通貫で揃った時もありました。中でも安井信之氏、夏目稔氏、榎野智之氏の3名はクラブチャンピオンを制したつわものでその合計回数は24回に上り、これからも更に増え続けることでしょう。

紹介者 会長 谷 喜久郎



ロータリー愛知81 地区報新会員 掲載人数

ロータリー愛知81 地区報新会員掲載人数 12月号掲載分まで

		8月号	9月号	10月号	11月号	12月号	計	2	4	6	8	10	12	14人
西名古屋分区	名古屋RC		4		7	3	14							
西名古屋分区	名古屋東南RC	6	1	4		1	12							
西尾張分区	一宮RC	5	1				6							
西名古屋分区	名古屋西RC		1	4		1	6							
西名古屋分区	名古屋栄RC				6		6							
西名古屋分区	名古屋名駅RC		6				6							
西三河中分区	豊田西RC		5			1	6							
西三河中分区	豊田中RC				6		6							
西三河分区	豊田RC			6			6							
西尾張分区	稲沢RC	5					5							
東名古屋分区	名古屋東RC		5				5							
西三河分区	安城RC				5		5							
東名古屋分区	名古屋和合RC					4	4							
西名古屋分区	名古屋大須RC		2			1	3							
東名古屋分区	名古屋錦RC		1			2	3							
東名古屋分区	名古屋東山RC		3				3							
東三河分区	豊橋RC				2	1	3							
西三河中分区	岡崎RC	2			1		3							
西三河中分区	豊田東RC		3				3							
西三河分区	碧南RC		3				3							
南尾張分区	知多RC				2		2							
西尾張分区	津島RC			2			2							
西尾張分区	一宮北RC		2				2							
西尾張分区	あまRC			2			2							
東尾張分区	犬山RC		2				2							
東尾張分区	名古屋城北RC		1			1	2							
西名古屋分区	名古屋南RC				2		2							
西名古屋分区	名古屋中RC		1			1	2							
東名古屋分区	名古屋北RC		2				2							
東名古屋分区	名古屋名東RC		2				2							
西三河中分区	岡崎東RC					2	2							
西三河分区	刈谷RC					2	2							
西三河分区	知立RC					2	2							
南尾張分区	半田南RC				1		1							
西尾張分区	一宮中央RC					1	1							
東尾張分区	名古屋空港RC					1	1							
東尾張分区	愛知長久手RC				1		1							
西名古屋分区	名古屋瑞穂RC		1				1							
西名古屋分区	名古屋名南RC			1			1							
西名古屋分区	名古屋丸の内RC	1					1							
東名古屋分区	名古屋守山RC		1				1							
東名古屋分区	名古屋名北RC		1				1							
東三河分区	蒲郡RC		1				1							
東三河分区	豊橋北RC					1	1							
東尾張分区	奥三河RC					1	1							
東三河分区	豊川宝飯RC			1			1							
西三河中分区	岡崎城南RC					1	1							
西三河分区	西尾RC		1				1							
西三河分区	高浜RC			1			1							
西三河分区	三河安城RC					1	1							
合計		19	50	21	33	28	151							

全国地区会員数 ベスト10

2008年9月末

	地区		9月末 会員数		08.7.1 会員数		7月1日-9月末 純増数		会員増強 目 標 数
 ①				内女性	支払い人数	内女性		内女性	
2760	ロータリー愛知81	5,142	152	5,016	140	126	12	316	
2	2650 福井・滋賀・京都・奈良	5,113	114	5,042	113	71	0	290	
3	2750 東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ	4,896	366	4,784	349	103	13	90	
4	2660 大阪北部	4,082	202	4,024	198	58	4	199	
5	2630 岐阜・三重	3,490	90	3,430	89	60	1	157	
6	2710 広島・山口	3,436	89	3,350	85	86	4	173	
7	2580 東京・沖縄	3,434	112	3,377	105	57	7	264	
8	2620 静岡・山梨	3,396	137	3,317	124	79	13	81	
9	2690 岡山・鳥取・島根	3,311	144	3,278	144	33	0	67	
10	2500 北海道東部	2,415	64	2,358	59	57	5	132	
全国34地区合計		96,391	3,879	94,754	3,723	1,690	141	5,540	



新会員紹介

一宮中央RC(西尾張分区)



氏名 **加藤 恭章** 2008年10月22日 入会
 職業分類 人材派遣
 勤務先 (株)プラスワン
 役職 代表取締役
 生年月日 1948年(昭和23年)5月5日

名古屋城北RC(東尾張分区)



氏名 **早津 剛** 2008年9月16日 入会
 職業分類 電気工事業
 勤務先 (有)早津電設
 役職 代表取締役
 生年月日 1970年(昭和45年)10月21日

名古屋RC(西名古屋分区)



氏名 **瀧 昌之** 2008年10月21日 入会
 職業分類 繊維品販売
 勤務先 瀧定名古屋(株)
 役職 代表取締役社長
 生年月日 1961年(昭和36年)11月4日

名古屋西RC(西名古屋分区)



氏名 **久保園 浩明** 2008年10月2日 入会
 職業分類 電話事業
 勤務先 (株)NTT西日本 ホームテクノ東海
 役職 代表取締役社長
 生年月日 1960年(昭和35年)5月11日

名古屋中RC(西名古屋分区)



氏名 **吉田 治伸** 2008年10月14日 入会
 職業分類 ビルメンテナンス
 勤務先 コニックス(株)
 役職 代表取締役社長
 生年月日 1960年(昭和35年)3月5日

名古屋和合RC(東名古屋分区)



氏名 **浅野 洋** 2008年7月2日 入会
 職業分類 税理士
 勤務先 しんせい総合税理士法人
 役職 代表社員
 生年月日 1948年(昭和23年)8月13日

名古屋和合RC(東名古屋分区)



氏名 **中野 義識** 2008年7月16日 入会
 職業分類 不動産賃貸業
 勤務先 (株)中野
 役職 代表取締役
 生年月日 1952年(昭和27年)8月15日

名古屋空港RC(東尾張分区)



氏名 **岩田 哲也** 2008年10月6日 入会
 職業分類 歯科医
 勤務先 名古屋歯科口腔外科インプラントセンター
 役職 院長
 生年月日 1955年(昭和30年)2月15日

名古屋RC(西名古屋分区)



氏名 **細谷 孝利** 2008年10月21日 入会
 職業分類 商工会議所
 勤務先 名古屋商工会議所
 役職 専務理事
 生年月日 1948年(昭和23年)8月25日

名古屋RC(西名古屋分区)



氏名 **松尾 典男** 2008年10月28日 入会
 職業分類 信託銀行
 勤務先 みずほ信託銀行(株)名古屋支店
 役職 執行役員 支店長
 生年月日 1954年(昭和29年)12月8日

名古屋東南RC(西名古屋分区)



氏名 **後藤 二郎** 2008年10月8日 入会
 職業分類 総合保険
 勤務先 日本生命保険相互会社 名古屋南支社
 役職 支社長
 生年月日 1961年(昭和36年)7月8日

名古屋大須RC(西名古屋分区)



氏名 **上山 和彦** 2008年10月23日 入会
 職業分類 情報流通サービス
 勤務先 (株)NTTネオメイト
 役職 取締役東海支店長
 生年月日 1955年(昭和30年)10月23日

名古屋和合RC(東名古屋分区)



氏名 **間地 寛** 2008年7月2日 入会
 職業分類 通信システムコンサルティング
 勤務先 (株)アスア
 役職 代表取締役社長
 生年月日 1967年(昭和42年)4月3日

名古屋和合RC(東名古屋分区)



氏名 **加藤 重和** 2008年8月20日 入会
 職業分類 駐車場管理
 勤務先 (株)ジーアイシー
 役職 代表取締役
 生年月日 1951年(昭和26年)12月30日



新会員紹介

名古屋錦RC(東名古屋分区)



氏名 玉木 薫 2008年8月19日 入会
職業分類 カラーコーディネータ
勤務先 サロン ソレイユ
役職 代表
生年月日 1960年(昭和35年)6月1日

名古屋錦RC(東名古屋分区)



氏名 河合 秀樹 2008年9月30日 入会
職業分類 音楽制作
勤務先 (株)ステイトエックス
役職 代表取締役
生年月日 1970年(昭和45年)3月19日

豊橋RC(東三河分区)



氏名 森田 吉彦 2008年10月23日 入会
職業分類 電気事業
勤務先 中部電力(株) 豊橋営業所
役職 所長
生年月日 1957年(昭和32年)4月17日

豊橋北RC(東三河分区)



氏名 山田 良徳 2008年10月28日 入会
職業分類 中小企業金融
勤務先 (株)商工組合中央金庫 豊橋支店
役職 支店長
生年月日 1962年(昭和37年)12月25日

奥三河RC(東三河分区)



氏名 鷺山 俊明 2008年9月24日 入会
職業分類 臨済宗
勤務先 宗教法人 福田寺
役職 住職 代表役員
生年月日 1952年(昭和27年)1月5日

豊田西RC(西三河中分区)



氏名 田中 道郎 2008年8月18日 入会
職業分類 特殊自動車製造
勤務先 トヨタ車体株式会社
役職 常勤監査役
生年月日 1948年(昭和23年)4月1日

岡崎東RC(西三河中分区)



氏名 相山 良三 2008年9月4日 入会
職業分類 合成繊維
勤務先 相山紡織(株)
役職 代表取締役
生年月日 1957年(昭和32年)1月27日

岡崎東RC(西三河中分区)



氏名 小林 健一 2008年10月9日 入会
職業分類 総合建設業
勤務先 大和ハウス工業(株) 岡崎支社
役職 支店長
生年月日 1952年(昭和27年)8月28日

岡崎城南RC(西三河中分区)



氏名 中根 祥雄 2008年7月22日 入会
職業分類 信用金庫
勤務先 岡崎信用金庫 美合支店
役職 岡崎第1ブロック長 兼 美合支店長
生年月日 1951年(昭和26年)4月26日

刈谷RC(西三河分区)



氏名 糟谷 哲生 2008年8月18日 入会
職業分類 商業銀行
勤務先 (株)三菱東京UFJ銀行
役職 刈谷支社長
生年月日 1956年(昭和31年)7月14日

刈谷RC(西三河分区)



氏名 女鹿 晋輔 2008年8月18日 入会
職業分類 証券業
勤務先 三菱UFJ証券(株)
役職 刈谷支店長
生年月日 1961年(昭和36年)2月9日

知立RC(西三河分区)



氏名 石川 克博 2008年10月1日 入会
職業分類 信用金庫
勤務先 碧海信用金庫
役職 専務理事
生年月日 1948年(昭和23年)5月18日

知立RC(西三河分区)



氏名 酒井 敏行 2008年10月29日 入会
職業分類 製缶業
勤務先 (株)エル・ジー・シー
役職 取締役営業部長
生年月日 1964年(昭和39年)6月1日

三河安城RC(西三河分区)



氏名 角脇 義高 2008年10月8日 入会
職業分類 証券
勤務先 丸八証券(株) 安城支店
役職 支店長
生年月日 1962年(昭和37年)9月19日



ロータリー愛知 81 会員数および出席率表

2008年10月末

	クラブ名	08年7月1日		08年10月末日		入会		退会		例会数	10月出席率
		会員数	女性会員数	会員数	女性会員数	10月	累計	10月	累計		
南尾張分区	半田	59	3	61	3	0	2	0	0	5	98.28%
	常滑	49	0	48	0	0	1	0	2	4	93.43%
	東海	61	2	61	2	0	0	0	0	5	96.14%
	東知多	23	1	25	1	0	2	0	0	4	78.00%
	半田南	46	1	47	1	0	1	0	0	4	98.38%
	知多	24	0	26	0	0	2	0	0	3	92.31%
	大府	21	1	20	1	0	0	0	1	4	88.00%
	7RC	283	8	288	8	0	8	0	3		92.08%
西尾張分区	一宮	79	0	84	0	0	6	0	1	4	98.24%
	津島	74	3	75	3	0	1	0	0	4	92.57%
	尾西	24	0	24	0	0	0	0	0	3	95.83%
	一宮北	43	0	45	0	0	2	0	0	4	90.73%
	稲沢	53	0	58	0	0	5	0	0	5	90.86%
	あま	88	0	89	0	0	2	0	1	3	96.34%
	名古屋清須	38	1	39	2	1	1	0	0	4	93.75%
	尾張中央	39	0	42	0	2	3	0	0	5	88.30%
	一宮中央	51	5	51	5	1	1	0	1	4	92.46%
	9RC	489	9	507	10	4	21	0	3		93.23%
東尾張分区	瀬戸	78	3	80	3	3	3	0	1	4	100.00%
	犬山	76	0	78	0	0	2	0	0	4	100.00%
	江南	53	1	53	1	0	0	0	0	5	94.14%
	小牧	40	3	40	2	0	0	0	0	4	86.88%
	春日井	59	3	58	3	1	1	1	2	5	98.60%
	尾張旭	29	0	29	0	0	1	0	1	5	99.31%
	名古屋空港	57	2	57	2	1	1	0	1	3	98.69%
	瀬戸北	71	6	71	6	0	0	0	0	4	100.00%
	岩倉	19	1	21	2	0	2	0	0	4	94.04%
	名古屋城北	22	3	24	3	0	2	0	0	4	100.00%
	愛知長久手	22	3	23	3	0	1	0	0	3	95.65%
	11RC	526	25	534	25	5	13	1	5		97.03%
西名古屋分区	名古屋	181	0	193	0	3	14	0	2	4	93.10%
	名古屋西	100	0	105	0	1	6	0	1	4	88.08%
	名古屋南	120	0	122	0	0	2	0	0	5	89.63%
	名古屋みなと	73	1	72	1	0	0	0	1	4	91.78%
	名古屋東南	84	8	95	10	1	12	0	1	5	77.11%
	名古屋中	133	0	135	0	1	2	0	0	3	96.22%
	名古屋瑞穂	71	0	73	0	1	2	0	0	4	95.80%
	名古屋大須	65	3	68	4	1	3	0	0	5	93.66%
	名古屋栄	69	0	75	0	1	7	0	1	3	97.48%
	名古屋名南	69	12	70	12	0	1	0	0	4	93.33%
	名古屋名駅	83	3	88	3	0	6	0	1	4	96.54%
	名古屋丸の内	53	7	54	7	0	1	0	0	5	95.92%
	12RC	1,101	34	1,150	37	9	56	0	7		92.39%



会員数および出席率表

	クラブ名	08年7月1日		08年10月末日		入会		退会		例会数	10月出席率
		会員数	女性会員数	会員数	女性会員数	10月	累計	10月	累計		
東名古屋分区分	名古屋北	91	0	93	0	0	2	0	0	4	97.28%
	名古屋東	91	0	96	0	0	5	0	0	3	94.21%
	名古屋守山	62	7	62	7	0	1	1	1	4	86.58%
	名古屋和合	94	0	101	0	0	7	0	0	4	83.21%
	名古屋名東	57	7	59	7	0	2	0	0	4	100.00%
	名古屋名北	47	6	48	6	0	1	0	0	4	93.38%
	名古屋千種	56	0	55	0	0	0	1	1	4	96.69%
	名古屋昭和	55	0	55	0	0	0	0	0	3	91.19%
	名古屋錦	34	6	37	8	0	3	0	0	4	88.81%
	名古屋東山	48	2	51	2	0	3	0	0	5	94.34%
	名古屋葵	29	0	29	0	0	0	0	0	4	87.07%
	11RC	664	28	686	30	0	24	2	2		92.07%
東三河分区分	豊橋	117	4	119	4	1	3	1	1	5	92.57%
	蒲郡	55	0	58	0	0	5	0	2	5	93.85%
	豊橋北	86	2	86	2	1	1	0	1	4	99.03%
	豊川	68	0	67	0	0	0	1	1	5	95.41%
	田原	55	1	53	1	0	0	0	2	5	92.14%
	豊橋南	61	0	61	0	0	1	0	1	3	95.58%
	新城	50	0	50	0	0	0	0	0	4	94.00%
	渥美	35	0	35	0	0	0	0	0	5	90.97%
	奥三河	18	3	18	3	0	1	1	1	5	91.30%
	豊川宝飯	53	2	53	2	0	1	1	1	4	98.90%
	豊橋ゴールデン	58	0	58	0	0	0	0	0	5	92.55%
	田原パシフィック	65	1	64	1	0	0	0	1	4	90.71%
	豊橋東	40	0	40	0	0	0	0	0	5	95.97%
	13RC	761	13	762	13	2	12	4	11		94.08%
西三河中分区分	岡崎	92	1	94	1	0	3	0	1	5	100.00%
	豊田	79	0	86	1	1	7	0	0	4	100.00%
	岡崎南	93	2	94	2	1	2	0	1	4	99.71%
	豊田西	97	0	101	0	0	5	0	1	3	98.59%
	岡崎東	60	0	62	0	1	2	0	0	5	95.79%
	豊田東	78	0	81	0	0	3	0	0	4	97.17%
	岡崎城南	76	0	77	0	0	1	0	0	4	96.75%
	豊田三好	21	2	22	2	0	1	0	0	3	87.30%
	豊田中	47	5	53	6	0	6	0	0	4	97.50%
	9RC	643	10	670	12	3	30	0	3		96.98%
西三河分区分	刈谷	93	4	94	4	0	2	0	1	3	100.00%
	安城	57	1	61	3	0	5	1	1	4	89.39%
	西尾	76	2	77	2	0	1	0	0	4	97.28%
	碧南	77	0	79	0	0	3	1	1	4	94.84%
	一色	27	0	28	0	1	1	0	0	5	100.00%
	高浜	40	2	41	2	0	1	0	0	3	100.00%
	知立	65	0	67	0	2	2	0	0	5	99.68%
	西尾KIRARA	56	0	56	0	0	0	0	0	5	100.00%
	三河安城	58	7	60	7	1	2	0	0	4	95.81%
	9RC	549	16	563	18	4	17	2	3		97.44%

	クラブ	平均
平均出席率	81	94.41%

●10月1日～10月末

地区内クラブ数 81RC	2008年7月1日会員数	5,016名 内女性143名
	10月末会員数	5,160名 内女性153名
	当月平均出席率	94.41%

増加会員数(累計)	181名
減少会員数(累計)	37名
差引純増会員数(累計)	144名

入会	27名
退会	9名
今月純増	18名



文庫通信(254号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

◎「私の考える経営」 伊藤 謙介
2008年 8p (D.2690)

◎「構造改革とこれからの日本経済」 竹中 平蔵
2008年 8p (D.2660)

◎「日本のこれから、日本人のこれから」 藤原 正彦
2008年 8p (D.2580)

◎「津波が変えた私の人生」 道下 俊一
2008年 10p (D.2780)

◎「命を地球で支えるあたたかな人と人のつながりをつくろう」
鎌田 実 2007年 15p (D.2550)

◎「未知への挑戦～箱根駅伝・アテネオリンピックなどを振り返り」
澤木 啓祐 2008年 13p (D.2510)

◎「メジャーリーグに学ぶ経営戦略～日本人の知らない
メジャーの常識と人づくり」 タック 川本 2008年 20p (D.2790)

◎「薩摩の郷中教育と薩摩焼」 西郷 隆文
2008年 16p (D.2690)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー／PDF)]

◎「ロータリーモザイク」 ハロルド T.トーマス 著 松本 兼二郎 訳 2006年 329p

…50年間のロータリーライフに基づき、一人のロータリアン(元RI会長)が綴った1905～1970年までのロータリーの思想・方針とプログラム、そしてロータリアンのそれぞれの進化の物語です。彼は「ロータリーはロータリアンすべての参加によって初めて出来たものである」と述べています。本書を一読することにより、全てのロータリアンに与えられているロータリー運動への参加の機会と可能性と期待とがはっきり認識できるでしょう。

[申込先：ロータリー文庫 領価1500円]

ロータリー文庫 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

インターネット速報(No.354)

『友』インターネット速報 2008年10月14日

●RI事務総長がアメリカの金融危機の影響について説明(抜粋)

ここ数週間のアメリカ金融市場の悪化に関するニュースを受け、この状況が国際ロータリー(RI)とロータリー財団に与える影響について、RIからの説明がありました。

◇ロータリー財団とRIの投資ポートフォリオは、米国政府の買取りの対象となった企業(ファニー・メイ、フレディ・マック、AIG)、ほかの金融企業に買収された企業(メリルリンチとWaMu)、会社更生法を申請した企業(リーマン)とは、ほとんど関わりがありません。

◇RIはAIG保険に一部加入していますが、同社の保険業務は州と連邦当局に厳密に規制された別個の法人として運営されているため、安全です。

◇ポリオ・プラス基金の全資金はアメリカ国債に投資されており、これは最も安全な投資先です。

◇RIと財団は、ともに、損失の際に投資債権を売らずに運営していけるだけの予備金を備えています。

ロータリー財団投資諮問委員会は、ロータリーの独立投資コンサルタントおよび複数の資金運用会社の担当者と会合し、RI理事会とロータリー財団が定めた現在の投資方針が、長期的には今後もふさわしいものであることに改めて同意しました。

RI事務総長 エド・フタ(布田)

全文はRIホームページをご覧ください。

http://www.rotary.org/ja/Contribute/ContributeNow/Pages/080929_announce_RIgslettercrisis.aspx



ガバナー事務局だより

地区スタッフ 名古屋南RC

えぐち ひろひさ
江口 博寿

地区報・奉仕の理想は、早いものでもう12月号となります。名古屋南RCより、地区スタッフとして出向し、地区報の編集に携わっており、とにかく何も出来ないにしても、可能な限り会議に参加するという事でやっております。東南RCの地区役員の方々は、コール・ロータリーEXPOの練習で顔見知りの方々が多く、初めての出向ではありますが、快適に参加しております。編集会議の都度、下郷地区副幹事の地区報に対する強い思い入れと迅速な決断、横井事務長、尾本地区スタッフの、それぞれの分野での深い見識、そして事務局川口さんの溢れかえっていくメール等の処理スピードにいつも感服しております。現在総務委員として、ガバナー分室内書庫の整理の任務があり、6月までに、なにがしかの結果を出すよう努めます。皆様の地区報に対するご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



2008年10月 長久手町文化の家・風のホールにて

月刊 2760地区報『奉仕の理想』

第6巻12月号(片山ガバナー年度2008～2009)
2008年12月1日発行

●奉仕の理想編集委員会

ガバナー	片山 主水	(名古屋東南)
地区幹事	宮崎 薫	(名古屋東南)
地区副幹事	下郷 卓弥	(名古屋東南)
地区スタッフ	江口 博寿	(名古屋南)
地区スタッフ	尾本 和弘	(名古屋東南)
	(地区ホームページ担当)	
事務長	横井 信司	
事務局	川口 小百合	

・分区担当委員(ガバナー補佐)

南尾張分区	村上 茂登	(知多)
西尾張分区	安藤 銃悟	(尾張中央)
東尾張分区	安藤 公爾	(尾張旭)
西名古屋分区	近藤 雄亮	(名古屋瑞穂)
東名古屋分区	國分 孝雄	(名古屋和合)
東三河分区	松井 章悟	(豊橋)
西三河中分区	福岡 輝夫	(豊田中)
西三河分区	辻村 和美	(西尾 KIRARA)

奉仕の理想編集室：ガバナー事務所

住所：〒450-6002 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号
名古屋マリオットアソシアホテル2226号室

TEL：052-583-1950 FAX：052-583-1960

E-mail：governor08-09@rotary2760.org ホームページ：http://www.rotary2760.org/

印刷：竹田印刷(株) 河合

デザイン：(株)光風企画 岩月・森内



善語座石

栄RC 直前会長 八神 基

2007年11月に『ミシユランガイド東京2008』が発行され、良くも悪くもあれこれと評判を呼びました。2009年版も発刊されるようです。ミシユラン本にはレストランガイドとは別に、星の数でランキングした観光地のガイドブックがあります。『ミシユラン・ボワイヤジェ・プラティック・ジャボン』という日本の観光ガイドブックもあるようですが、フランス語版だけの由。その紹介記事で知った次第ですが、最高の三つ星は京都・奈良・高山・松島・日光・姫路城、そしてもちろん富士山。その富士山と共に挙がっているのが高尾山。高尾山でどこ？の声が出たそうです。この高尾山は東京都八王子にあり、大都會の中心部から約50kmの近郊にもかかわらず、豊かな自然に溢れていることが決め手だった由。

高尾山には古刹があります。薬王院有喜寺です。奈良時代の開基と言われ、成田山新勝寺と川崎大師平間寺と併せ関東三大本山とされています。この薬王院には「十か条の教え」が掲げられていることで有名です。この教えはもともと山陰の古寺にあったらしいのですが、この薬王院から世に出たようです。

高いつもりで低いのは教養
低いつもりで高いのは気位
深いつもりで浅いのは知識
浅いつもりで深いのは欲
厚いつもりで薄いのは人情
薄いつもりで厚いのは面の皮
強いつもりで弱いのは根性
弱いつもりで強いのは我
多いつもりで少ないのは分別
少いつもりで多いのは無駄

この「つもり十か条」を見て、思わず赤面することはありませんか？ロータリアンの「奉仕の心」への礎は、この十か条に照らして自らを振り返る謙虚さにあるのではないかなと思います。人は他人の過度の謙譲振りにはちょっと嫌味を感じるものですが、少し遠慮がちな恥ずかしげな風情は男女問わず好ましく映るものですね。

市井に生きる私たちは、偉ぶることなくロータリアンが備える好ましい品格・品性を充分に発揮して、気持ち良く生きられる社会を作っていく任務を負っているのではないのでしょうか。「それでこそロータリー」です。

投稿要領

- 1 提言、苦情、話題、問答、意見など
- 2 ロータリー文芸
 - (1) 随筆
 - (2) 俳句・短歌・川柳ほか
 - (3) 善語座右・四字熟語（座右の銘・大衆人語的な文・モットーなど）
- 3 ロータリー会員相互の親睦を深めるもの
- 4 同好会、趣味の会など
- 5 クラブの催しなど
- 6 クラブの奉仕活動など

- 原稿量……概ね400字程度以内でお願いします。
- 宛先……ガバナー事務所、『奉仕の理想』編集室宛 64ページ参照
写真があれば添えてください。
- 形態……投稿者のクラブでの肩書、お名前を明記してください。
- 締切……Eメール governor08-09@rotary2760.org
発行の2ヶ月前を締め切りとします。
(例 2月号の締め切り…12月末)



ガバナー 月信

その前に答れあらんよりは、その後ろに誹りなきにいずれぞ
その身に楽しみあらんよりは、その心に憂いなきにいずれぞ

公式訪問で会員の皆さんに、ロータリーが目的とする奉仕は「分かち合
いの心」「超我の奉仕」の理念に導かれるいわゆる社会奉仕と「最良奉仕の
最多果報」の実践的な奉仕理論により導かれる職業奉仕の二つだけでは
なく、もう一つ、修身齊家治國平天下の「大原則」に導かれる各人自身の人
間向上を目的とする自己奉仕という分野を、明確な目的意識を持って付
け加えるべきであると吹聴しています。「超我の奉仕」「彼我の奉仕」と、
我のほかすべて我が師と謙虚に仰ぎ自分自身を磨く自己奉仕、「唯我の奉
仕」です。併せて「三我の奉仕」と仮に名付けさせていただきました。

冒頭の掲句は、その自己奉仕の部類に属する座右の善語です。
称賛をあびて気分がいいというよりも、称賛はなくても
死後に陰口を叩かれることがない方がいいように思われま
すが、さあ、あなたはどうか考えますか。

○その前に答れあらんよりは、その後ろに誹りなきにいずれぞ。
楽しみが多くあるよりも心配事が一つでもない方がいいと
思われますが、あなたはどちらをとりますか。

○その身に楽しみあらんよりは、その心に憂いなきにいずれぞ。

両方とも良い言葉です。唐宋八大家の一人に数えられる中唐の文学者
韓愈の文の一節だそうです。

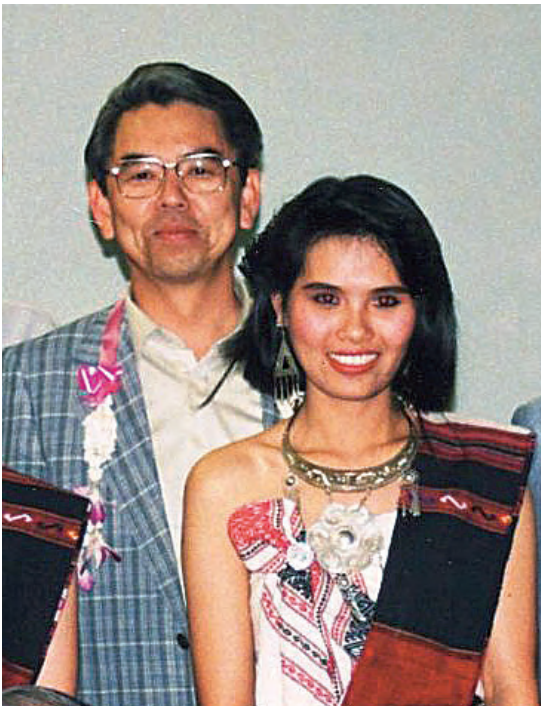
良いのは、文の内容ばかりではなく、日本の文章にはない、漢文独特の
読み下し文の格調と、構成・対比の妙があります。

皆さん、また倣って自分自身の座右の善語を作ってみませんか。三つ
の反対語の組合せから成っています。試作を次ぎに掲げます。

この世に生まれた以上、積極的に苦勞を厭わず生き甲斐を求めて生き
るのと、荒波を立てず欲を滅却しまた少欲にして一生を過ごすのと、あな
たならどちらを採りますか。

○進みて生き甲斐を求めんよりは、座して六根を捨てんにいずれぞ。
もう一句。

○若きに資産あらんよりは、老いて負債なきにいずれぞ



1990年 WCS フィリピンにて



根」であるイネには生育や豊凶を左右する稲魂が宿るとされ、イネを食することで霊力を頂き活力を得ると信じられてきた。米作りの作業は一年の暦であつたように、日本人の生活は稲作を中心に営みがなされ、稲の豊凶はそのまま生活の浮沈に繋がっていたと言える。

四季を通じて全国各地で執り行われる祭りや年中行事、そこで演じられる芸能神事等は幾十百世代に亘り、豊作を願う幸せな生活を築こうとした祈りの結晶である。まさに日本の文化は米文化と謂われる所以であろう。

ところが昨今事故米とか汚染米という耳馴れぬ言葉が新聞紙上を賑わしている。学校や病院の給食、コンビニのおにぎり迄この汚染された米が混入されていたと報道されており、その無節操には驚きと怒りを禁じ得ない。

自然の恵みに感謝をし、伝統文化を大切に守り伝えてきた先人の尊い精神は崩壊の危機に瀕している。今まさに国民全てがこの現実を直視し、道徳・倫理の欠如を猛省し厳しく問い質す秋である。

川柳

●名古屋和合RC(東名古屋分区)

必要を越えた便利さ 不必要

環境保全委員長 鷲塚貞長

愛知県公募の、エコライフ川柳 大募集に入選しました。

『必要を越えた便利さ 不必要』

応募総数 四〇〇〇句余…入選は五句だそうです。二〇句余を応募しましたが、平凡なのが入選しました。もっと良いのがあるのになあ。

平成二〇年十月十五日

必要を越えた便利さ 不必要

あなたはパソコンの機能をどれくらい使いこなしていますか。

初老の女優の小じわまで見えるのに、もっときれいに見えるテレビを勧められ、困惑していませんか。毛穴まで見ようてのかな。

終戦時の人口七〇〇〇万、その倍の人口の今、耕地面積は当時より狭いのです。

耕地を放棄・荒廃させ、その上バカな減反までしているのに、何が遺伝子組み換え作物か…。

●愛知長久手RC(東尾張分区)

老々で庇い合つて 渡る橋

内部から不正を暴く 社会面

現代を生きること 嫁から学ぶ

吉田一子

●豊田三好RC(西三河中分区)

温暖化サント困って 宅配で

08-09年度ロータリー情報委員長 永井光彦



親睦 ●豊田西RC(西三河中分区) 更なる親睦を深めよう

豊田西ロータリークラブでは、親睦一泊旅行を9月28日・29日に行ないました。参加者38名で早朝のセントレアを飛び立ち、雄大な北海道へ

できないことをたくさん与えていただいております。ありがとうございます。



向かいました。今回の旅行には、三つの目的がありました。

- 1、洞爺湖サミット会場を見学し、サミットを直接肌で感じる
- 2、商都小樽の歴史を知り、独特な町並みの見学
- 3、夜のすすき野でジンギスカンをつつきながら、親睦と活力ある街の散策

豪華客船をイメージする国際第一級リゾートホテル…ザ・ウインザーホテル洞爺は大理石を敷き詰めた重厚な豪華なホテル、ここで8カ国の首脳が集まり地球温暖化対

策をはじめとする諸問題を討議されたのかと想像し食事を頂きました。

サッポロビールファクトリーで例会後、夕食は乾杯の音頭と共にジンギスカン、寿司、蟹を味わいました。その後お互いが楽しく語りあい、すすき野の華やかな街を探索してホテルへ戻りました。翌朝は誰一人として出発に遅れることなく、ネオンの消えた肌寒い早朝のバスに乗り込み小樽へと出発しました。

小樽は国際貿易港、商都として発展し、大正12年に完成の小樽運河は石造りの倉庫群が印象的でした。

広大な北海道を2日間で廻ったがここに言い表せないハプニングも多々あり楽しい親睦旅行となりました。

私とロータリー

●一宮中央RC(西尾張分区) 例会セレモニー活用術?

森眞

例会の冒頭に「清き? 歌声」が流れるクラブが大多数ではないでしょうか。私たちもリズムをソング

リーダーの指揮に合わせるつもりで、音階はピアノに沿うつもりで熱唱しております。

毎月第一例会には国歌「君が代」を斉唱しますが、これが私にとって健康のバロメーターといえます。正式な息継ぎ箇所は存じあげませんが、「千代に八千代に」、「さざれ石の」の部分がともすると息が続かない月があります。

そんな時にわが私生活を振り返りますと、決まって行きつくのが「運動不足」の四文字。深く反省して、足の遠のいていたスポーツジムで汗をかくてくる次第です。「息」に関しては、特に水泳が効果的です。

いささか不謹慎ではありますが、例会セレモニーのこんな活用のしかたも、中高年にはよろしいのではないのでしょうか。

提言

●犬山RC(東尾張分区)

牧野武彦(大縣神社宮司)

古来より我国は「豊原瑞穂国」と称され、稲作を中心とする農耕生活とは密接な関係にあった。「命の



メンバーの藤井邸で行われます。数名は、料理を一生懸命に習っていますが、ほとんど大多数のメンバーは料理が出来上がる頃を見計らってやってきます。魚を中心とした料理が多いです。

先回は、もどりかつおとさばと松茸がメインでした。

おいしい料理を囲み、またおいしい酒を酌み交わし、夜のふけるのも忘れて飲んで食べてです。話題もつきません。いつも藤井さんの奥様には、自宅の台所とお部屋を開放していただき感謝の念にたえません。



さばをさばく 川村勝廣

先回の献立

- 1、はもとかつおのお造り
- 2、ローストビーフのオレンジ包み
- 3、鮭と松茸と野菜のアルミホイル蒸し
- 4、松茸とえびのすりみのフライ
- 5、さばの棒寿司

プロの料理人を招いての教室だけに、なかなかの逸品ぞろい。

ただ、後日、ご家庭で復習して、参加員の奥様が大変喜ばれたという話がまだ聞かれないのが、今後の課題です。



左から、石田貞彰、遠藤泰昭、宇治嘉造(元会員)、坪井義之、小室健次郎、深澤良介

●岡崎RC(西三河中分区) ホールインワン

クラブ会報委員長 柴田泰伸

岡崎ロータリークラブも多くのロータリーと同じように基本的に毎月RCGゴルフコンペを和気あいあいと開催しています。

私は今年の1月からの新入会員なのですが入会前の少し不安な気持ちもすぐに吹き飛んで伝統と格式の中にやさしさと清廉な風を感じさせてくれる岡崎ロータリーが大好きになりました。先輩の皆さんと例会とは違う交流を持てるRCGは毎回楽しみにしています。



左から、小原 睦、柴田芳孝、南部 淳、笹川 剛

そんな私が5月18日開催のRCGで生涯初のホールインワンを達成してしまいました。びっくりすると同時にうれしさとこれは大変なことになったぞという気持ちが入り混じっておりまして。本当に多くの方に祝福され何かお返しができないかと考えていたところお勧めもありベネファクターにもさせていただきました。

9月15日にはRCGとホールインワンコンペを同時開催していただきました。岡崎ロータリーからたくさんの方がご参加くださって一生の思い出を作っていたきました。入ったばかりの私が短い間で岡崎ロータリークラブでしか体験



表彰式における乾杯の最前列で杯をあげているのが、柴田泰伸



訪問

●津島RC(西尾張分区) 台北滬尾RC公式訪問

雑誌委員長 服部 貴

います。青少年が大人の社会で活躍するための本当の社会教育は、大人が担っている。大人社会での道徳的価値観を我々がしっかり認識すること、これから青少年への確かなアドバイスが出来るのではないのでしょうかなど、いろいろな貴重な意見が聞け有意義なものでした。

今年6月1日に開催された津島RC創立55周年記念例会に、姉妹提携している台北滬尾扶輪社から総勢22人が参加して花を添えてくださいました。その返礼として、10月9日から12日にかけて津島RC宅見会長をはじめとする14人で台湾を訪問しました。

まず高雄に入国、1泊後、新しく開通した新幹線で台北に向かいました。到着した駅では台北滬尾RCのメンバーが迎えに来てくださり、女性には花束のプレゼントなど、最初から大歓迎の雰囲気。ホテル到着



会員の夫人たちも和気藹々



宅見会長挨拶

後、さっそく開かれた歓迎には、林健明会長夫妻をはじめ多くの会員が出席され、どのテーブルも「乾杯」「乾杯」の祝杯が上がり、友好の輪が

広がりました。台湾料理を十分に味わい、最後にはホテルまで送っていただきました。

私はその時メガネのフレームが壊れてしまい困っていると、会員の1人がそれを持って退席し、1時間後には修理して持ってきてくださいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

翌朝はホテルまで迎えに来てくれ、観光組とゴルフ組に分かれ、それぞれのドライバーや案内役を勤めてくださいました。

そしてその夜、台北滬尾RCの定例会では、国歌斉唱、会長挨拶と続き、最後にプレゼント交換し、晚餐会と移りました。前夜と同様に「乾杯」「乾杯」の世界に入り、本当に充実した1日となりました。

最終日には空港へ見送りに来てくださって、たくさんのお土産までいただき、本当に感謝、感謝の毎日でした。謝謝！

同好会

●名古屋名駅RC(西名古屋分区) 男の料理教室

田中 修

現在、名古屋名駅ロータリークラブには、11の同好会があります。今回は、その一つ「男の料理教室」をご紹介します。

料理教室は、1カ月おきぐらいに、割烹ふくやの大将をお招きし、





続いていくことを願っております。

●豊橋ゴールデンRC(東三河分区) クラブ創立20周年を迎えて

副幹事 白井正樹

今年、豊橋ゴールデンRCは創立20周年を迎えます。そこで我がクラブでは今年度「20周年記念実行委員会」を設け記念式典と共に記念事業を計画しております。テーマは「全員参加で地域社会に文化の芽を育て、未来のゴールデンを創造しよう」です。

事業内容は大きく分けて二つあります。

そのひとつは「対外事業担当委員会」、これはこの地に芽生えかけた文化の香り高い市民オペラを開催します。オペラの内容は「カルメン」です。現在着々とその準備が進められています。そして二つめは「対内事業担当委員会」、これは我がクラブが今後どの方向へ進んで行けば良いかといった将来の方向性について考え検討する。こちらも会員のアンケート調査を実施しこれから進むべき道を見出します。以上のように20周年を期に豊橋ゴールド

ンRCも大きく成長していきたいと考えます。

●豊橋ゴールデンRC(東三河分区) 8月～9月の活動

新世代委員長 村田 悟

・8月6日および7日に豊橋聾学校にて遊具のペンキ塗りに会長以下社会奉仕委員長、RC委員長と私とで行ってきました。毎年この時期に遊具のペンキ塗りをされるそうで、職員のみなさんと一緒になって有意義な半日を過ごすことが出来ました。



豊橋聾学校校長 松井 茂先生

・8月8日(金)に地区新世代委員会委員長の遠山堯郎様より「新世代育成の必要性」の卓話訪問をいただき会員一同深く感銘しました。

・9月12日(金)の例会には豊橋聾学校校長松井茂先生より「心優しきチャレンジドたち」と題して、内容は①聾学校で学ぶ0歳から高校生までの様子の紹介②聞こえないことの諸問題について卓話していただきました。その内容は以下のようです。豊橋聾学校には八十数名の「心優しき」チャレンジドが学んでいます。チャレンジドとは『神からチャレンジすべき課題や才能を与えられた人』を指します。障害をマ



聾学校へ目録贈呈

イナスやネガティブにとらえず、障害があるからこそできる体験を社会のために生かしているという思いが込められています。豊橋聾学校では、小学部での豊少年太鼓、中学部での器楽合奏、高等部での国際交流など特色ある活動に取り組む中で、地域へ聴覚障害者の情報を発信しています。中でも特に国際交流には力を入れています。これまでの交流でも韓国や台湾では日本とよく似た手話を使っているため、生徒同士はおしゃべりを楽しんでいました。タイの聾学校に向いたときには、使っている手話は日本とは全然違うのに、生徒たちは手話を使って引率教員よりものびのびと会話を楽しんでいました。このとき私は「生徒たちはチャレンジドなのだ」と確信しました。人間はやがて誰しも障害者になる身です。今後生徒たちが地域に優しさをもたらすチャレンジドとして成長していくよう、豊橋聾学校はこれからも全力を尽くしてまいります。

・9月26日(金)のフォーラムでは「青少年育成の必要性」についての討論会を行いました。青少年の育成には学校教育は不可欠ですが、それだけでは十分だとはいえないと思



訪問合同例会が開催され、その席にアクト研鑽の場としてアクターの参加を企画し、豊田広域ロータリーアクトクラブ（豊田RC・豊田西RC・豊田東RC・豊田三好RC・豊田中RC提唱）のメンバー8名が参加し、片山ガバナーのお話に真剣に耳を傾けてくれました。

合同例会終了後、アクターからは『3クラブの合同によるガバナー公式訪問という大きな例会に参加さ



せていただき、ロータリーとアクトとの違いや例会の雰囲気・進行など、大変参考になることが多くメンバー一人ひとりにとって大変貴重な体験となりました。また片山ガバナーのお話は大変心に残りました。奉仕と親睦は私たちロータリーアクトクラブにとってもテーマであり、本日のお話をクラブに持ち帰り、今後の活動につなげていきたいと思っています。』との感想が聞かれました。今回の試みにより、ロータリーアクトクラブがさらに充実し飛躍してくれることを願ってやみません。

活動

●名古屋名東RC（東名古屋分区）

音楽会協賛

新世代委員長 藤野 直子

さる9月16日（火）、愛知厚生年金会館の大ホールにて開催されました、「名東区小中学校連合音楽会」を協賛致しました。主催は名古屋市教育局委員会と名東区教育振興会です。昭和62年度から協賛を始め、今年で21回目となりました。今年も、名東



生徒さんたちの熱唱

区内27校の小中学校の生徒さん達が、素晴らしい演奏をご披露下さいました。合唱・合奏はもちろんのこと、三味線や箏や和太鼓など、様々な音楽に取り組む生き生きとしたステージが繰り広げられました。息を合わせ、心を合わせての演奏は、どれほど練習を積み重ねてきたのだらうと感動致しました。

また、毎年、招待演奏としてプロの演奏を聴いて頂いております。本年度は津軽三味線の弾き語りとパーカッション・シンセサイザーのコラボレーションをされる「やゆ

Fish」さんをお呼びし、迫力のある演奏で、会場を盛り上げて頂きました。

教育振興会の先生方からは、「本格的な大ホールの舞台に立てる喜びと緊張は、生徒達にとって、素晴らしい経験になりますし、生でプロの演奏を聴ける招待演奏は、大きな励みになります。」とお言葉を頂き、こうした活動の意義を再認識し、身の引き締まる思いが致しました。

毎年会場となっていた愛知厚生年金会館は本年度で閉鎖されてしまいましたが、来年度からは、会場を移して、開催の予定です。また会場が一体となって、心に残る音楽会が



招待演奏「やゆFish」の迫力のステージ



例会

●一宮RC(西尾張分区) 職場例会

職業奉仕委員会委員長 高木道久

本年度の職場例会として、10月23日に名古屋地方裁判所見学を開催しました。午前10時から第603号法廷にて非現住建造物放火罪で、第702号法廷にて支払用カード電磁的記録不正作罪等で、それぞれ起訴された被告人についての実際の公判手続を傍聴した後、同45分から第903号法廷にて裁判員裁判用のIT法廷の見学と現職の裁判官による裁判員裁判制度に関する概要説明と質疑応答を行いました。裁判官からは、愛知県内では名古屋地方裁判所本庁(名古屋市、尾張地区及び知多半島地区)と同裁判所岡崎支部(三河地区)において裁判員裁判が実施されることや愛知県内では本庁管内で約18000人の、岡崎支部管内では約56000人の、それぞれ有権者が裁判員候補者名簿に登録される予定であること等の裁判員の選任に関する事項から6名の裁判員は裁判官と対等の立場で審理や評議に臨む等の裁判員



IT法廷を見学する一宮RC会員、奥の立っている女性2人は、説明をする弁護士

の任務やと裁判官の関係等の裁判員制度の内容に至るまで幅広い内容の説明がされました。その後の質疑応答でも分かり易い応答がされ、裁判所の裁判員裁判の実施に関する熱意を感じることができました。

裁判所見学の後は、弁護士会館にて案内担当の2名の弁護士との間で裁判員裁判制度や弁護士による刑事弁護の具体的方法等に関して活発且つ率直な意見交換も行なった後で、東区内の春田鉄次郎邸へ場所を移して例会と昼食及び見学を行いました。

●田原パシフィックRC(東三河分区) 知的障害者及びその家族と会員と 会員家族との合同例会

小川喜一

知的障害を持った「あの人達、あちら側」障害の無い「私達、こちら側」と無意識の中に有る「あちら」と「こちら」と心にあるバリエーションを取り払った心豊かな我が町、田原市を田原パシフィックロータリークラブが率先して皆で作ろうと考え、昨年の秋の交通安全週間には田原市にある知的障害者入所施設「蔵王の杜」

と「田原授産所」の皆さんとその家族を前面に出し、会員が補佐をしながら街角に立ち交通安全をドライバーに呼びかけ、その後アトラクションに綱引き大会をして親睦を計り、本年8月の納涼例会には市内の公園で同じ皆さん達180名をご招待し、クラブは会員とお孫さんを含めた家族160名と一緒に大勢でマス釣大会、うなぎ300匹と鮎のつかみ取り大会をしました。メンバーにはうなぎやさん、料理屋さん、うどん屋さん、大工さん、肉牛の牧場主、ガス屋さん等本職に恵まれ捕まえた鰻等全て会員手作りである井、流しそうめん、焼き蕎麦、焼肉のバーベキューで和気あいあい、バリヤフリーの納涼例会が出来ました。

●豊田西RC(西三河分区) ガバナー公式訪問合同例会に ローターアクトメンバー参加

新世代委員長 鈴木宏行

九月二十二日、片山主水ガバナーをお迎えし、岡崎城南ロータリークラブ・豊田三好ロータリークラブ・当クラブ合同によるガバナー公式



【表紙・①ページ写真/阿寺川】

撮影 東名古屋分区 名古屋和合RC 環境保全委員会委員長 鷲塚 貞長



“秋雨を、集めて速し、阿寺川”（最上川ではありません）

豪雨の後の阿寺川です。一点の濁りもありません。広葉樹林の豊富な腐葉土でろ過された雨水は、清流となり、魚介類の成育に有用な、植物性プランクトンやフルボ酸などを供給します。



“地球には、優しいなどと、生ぬるい、そんな程度で、守れぬ今日”

花が咲き、実がなり、冬には落葉により木々の根本には柔らかい陽光が注ぎ、鳥や動物達が豊に生息します。それが広葉樹林です。針葉樹林は一年中真っ暗で、冷蔵庫のようです。



2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区ガバナー 片山主水

地区報
2008～2009

08年度(平成20年度)ロータリー愛知81

家族月間

特集..地区大会

奉仕の理想

12月

2008年12月1日

目次

例会		②
活動		③
訪問		⑤
同好会		⑤
親睦		⑦
私とロータリー		⑦
提言		⑦
川柳		⑧
善語座右		
片山主水		⑨
八神基		⑩
投稿要領		⑩



【表紙・①ページ写真／阿寺川】

撮影 東名古屋分区 名古屋和合RC 環境保全委員会委員長 鷺塚 貞長

“ダムよりも、堰よりもなお優れたる、山の保水は、広葉樹林”

一昔前は、川には豊かな清水が、とうとうと流れていました。今はなぜ、清流は濁流に、豊富な水量は湯水に、転じてしまったのでしょうか。